

幼兒教育学科

2020 年 6 月 10 日 更新

2020 年 4 月 1 日 更新

科 目 名	日 本 国 憲 法		単 位 数	2	実務経験	担当教員	わたなべ のぶひさ 渡 辺 演 久
ナンバリングコード	PUL12101		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	憲法はなぜ存在するのかを歴史的経緯から明らかにし、憲法は国家権力を縛ることによって、人権を保障していることを説明していく。また教育基本法や子どもの権利条約などの国際法との関連性についても講義していく。最終的には子どもにまつわる憲法上の諸問題について考えられる講義とする方針である。						
到 達 目 標	1. 憲法の制定目的について理解している。 2. 立憲主義について説明できる。 3. 子どもの人権について理解している 4. 子どもの最善の利益について考え行動する力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（１、４、５）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、憲法はなぜあるのか（立憲主義）	予習	憲法の前文を読む		
				復習	憲法の目的を理解する		
	第 2 回	内容	憲法は素晴らしいが、何の役に立つのだろう？（憲法は誰に遵守義務があるのか）	予習	憲法は誰を縛っているのか調べる		
				復習	憲法尊重擁護義務について理解する		
	第 3 回	内容	戦後の日本はへそによって作られた（日本国憲法の制定過程）	予習	民間の憲法案を調べる		
				復習	民間の憲法案がどう反映されたかを理解する		
	第 4 回	内容	天皇の給料はお仕事にみあっているか（象徴天皇制）	予習	女性宮家ついて調べる		
				復習	現在の皇室をとりまく状況を理解する		
	第 5 回	内容	ウルトラマンは地球を守るために戦う？（平和主義と自衛隊）	予習	平和のための戦いはありうるのか考える		
				復習	平和主義について理解する		
	第 6 回	内容	自由が先か、平等が先か（法の下での平等）	予習	一票の格差とは何か調べる		
				復習	選挙制度について理解する		
	第 7 回	内容	大岡政談にみる黙秘権と無罪の推定（刑事司法における人権保障）	予習	事件報道について調べる		
				復習	無罪推定の意義について理解する		
	第 8 回	内容	言論の自由は「言いたいことを言う権利」ではない（言論の自由）	予習	民主政治には何が必要か調べる		
				復習	言論の自由の意義を理解する		
	第 9 回	内容	教育の主体は国家？それとも国民？（教育を受ける権利）	予習	学校教育の誕生について調べる		
				復習	教育を受ける権利について理解する		
	第 10 回	内容	幸福追求権の中身と自己決定（幸福追求権）	予習	学校のおかしな校則について調べる		
				復習	幸福追求権が人権の源になりうることを理解する		
	第 11 回	内容	参政権があるだけでは民主主義とはいえない（参政権と民意）	予習	自分の選挙区の選挙結果を調べる		
				復習	多数が民意とは限らないことを理解する		
	第 12 回	内容	統治機構は人権を守る手段である（法の支配）	予習	国家を支配しているのは誰か考える		
				復習	法の支配について理解する		
	第 13 回	内容	国会と国会議員の実像（立法機関）	予習	国権とは何か調べる		
				復習	三権分立について理解する		
	第 14 回	内容	内閣と議員内閣制の不思議（内閣）	予習	憲法の行政について読んでおく		
				復習	行政権の範囲について理解する		
	第 15 回	内容	まとめとレポート作成	予習	憲法にまつわる新聞記事を調べる		
				復習	憲法の視点から政治問題を考える		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	課題に関して授業で復習を行う					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 90％）、授業態度（ 10％）					
	教科書	『憲法のおもしろさ（第3版）』（山本聡・渡辺演久著、北樹出版）					
	参考文献	授業内で適宜紹介する					
	注意事項	新聞記事等を通じて子どもをとりまく人権状況を取り上げるので、新聞などの報道に興味をもってほしい。					

科 目 名	体育実技		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおさき きたほら きたはら かい 塩 崎 ・ 北 洞 ・ 北 原 ・ 笠 井
ナバ`リング`コート`	DMB12101		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	本講義では、生涯にわたって運動・スポーツと親しむための基礎的技能の習得、正しい知識、実践方法について学ぶとともに、運動・スポーツを通して他者との関り方について考えることをねらいとする。また、将来幼児教育者として必要な幼児の運動あそびに関する知識、技能、さらに子どもの指導や援助の技術について理解を深めることを目的としている。						
到 達 目 標	1. 運動・ダンス・スポーツに親しむための基礎的技能を習得している。 2. 自己の身体に関心を持ち、健康の維持・向上を実践していく知識・方法を習得している。 3. 運動・ダンス・スポーツを通して協調性・社会性を身に付けている。 4. 幼児教育者として必要な幼児の運動遊びに関する基本的な知識と技能を習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ １・３・７ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	次にあげる３つのコースから選択できる。（第 10 時限までは共通） ① 平常コース ② 野外実習（9 月初旬から 3 泊 4 日） ③ スキー実習（3 月下旬 3 日間） （②③に係る費用は全額学生負担。） 履修方法、受講上の注意事項等について説明	予習	シラバス読み、本授業のねらい、内容について把握する。		
				復習	授業をもとに履修方法を決める		
	第 2 回	内容	いろいろなウォーミングアップの実践と検討 幼児の体操・フォークダンス・ステップ	予習	幼児期の体操について 1 つ以上調べてくる		
				復習	本時の内容をノートに記入する		
	第 3 回	内容	鬼ごっこについて考えよう	予習	鬼ごっこについて 3 つ以上あげ、ルールを記入してくる		
				復習	鬼ごっこの意義についてまとめる		
	第 4 回	内容	米袋を使った遊び	予習	米袋を作成してくる		
				復習	米袋の遊びをまとめ、一つ新しい遊びを考えてくる		
	第 5 回	内容	身近なものを使った遊び ①しんぶんし	予習	しんぶんし遊びについて一つ以上あげてくる		
				復習	本時の内容をもとに、年齢ごとに遊びをまとめる		
	第 6 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」① いろいろなステップ	予習	幼児期のダンスの意義について教科書を読みまとめる		
				復習	本時のステップをノートにまとめる		
	第 7 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」② 友達と関わって	予習	童謡の曲について調べてくる		
				復習	本時の内容を、意義とステップ、感想にまとめる		
	第 8 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」③ 動きの発見	予習	好きな題材の一つ教科書から選んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第 9 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」④ 作品を創る	予習	創作したい曲を選び、構成を考えてくる		
				復習	本時の活動内容をまとめ、動きの練習をしてくる		
	第 10 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」⑤ 発表会	予習	動きの練習をする		
				復習	幼児期のダンスの意義について考察する		
	第 11 回	内容	縄を使った遊び	予習	縄遊びの箇所の教科書を読み、1 つ以上遊びを選んでくる		
				復習	本時の内容を、年齢ごとに遊びを分ける		
	第 12 回	内容	マットを使った遊び	予習	マット遊びの箇所の教科書を読み、安全面の配慮についてまとめる		
				復習	本時の内容をもとに予習の箇所を見直す		
	第 13 回	内容	巧技台を使った遊び	予習	巧技台の歴史について調べてくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第 14 回	内容	跳び箱を使った遊び	予習	幼児期の跳び箱遊びについて調べる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第 15 回	内容	フープを使った遊び	予習	フープの特性についてまとめる		
				復習	本時の内容を年齢ごとに遊びを分ける		
	第 16 回	内容	サーキット遊び ①いろいろな用具を活用して実践してみよう	予習	サーキット遊びについて調べ、まとめる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第 17 回	内容	サーキット遊び ②オリジナルサーキットを作ってみよう	予習	オリジナルサーキットをノートに記入する		
				復習	仲間のサーキットで気に入ったものをノートにまとめる		
	第 18 回	内容	ボールを使った遊び①幼児期の遊び	予習	幼児期のボール遊びの意義について調べる		
				復習	本時の活動内容をまとめる		

	第 19 回	内容	ボールを使った遊び②ルールのある遊び	予習	ドッジボールの成り立ちについて調べる
				復習	ルールのあるボール遊びについてまとめる
	第 20 回	内容	運動遊びの指導法 準備体操を考えて指導実践してみよう	予習	指導法の箇所の教科書を読み、留意点について確認する
				復習	幼児期の準備体操についてまとめる
	第 21 回	内容	運動遊びの指導法 ボール遊びの指導実践をしてみよう	予習	ボール遊びの指導法について調べる
				復習	実践した感想、反省点を記入する
	第 22 回	内容	行事について考える 運動会、お遊戯会の企画について考えてみよう	予習	園で行われる行事について書き出す
				復習	行事の意義についてそれぞれまとめる
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	ノートやレポート課題の提出の際、コメントを記入して返却する。 発表の際は、講評をする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度（30%）				
教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身につける理論と実例』（宮下恭子編著、大学図書出版）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）				
注意事項	実技の際は、指定のジャージを着用のこと。出席と意欲的な態度を評価の参考とする。 2）3）の野外環境教育実習（夏・冬）に参加する際に係る各諸費用については、全額学生負担となる。				

科 目 名	体 育 講 義		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおざき きたはら かさい 塩 崎 ・ 北 原 ・ 笠 井	
ナソバ°リング°コート°	DMB12102		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	健康や運動に関する情報があふれている現代社会。それらに対応していく力をつけることが望まれる。よって、本講義では健康・運動・体力について正しい知識を学び、自ら健康の維持増進の方法を考え、実践していく力を養うことがねらいである。							
到 達 目 標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付けている。 2. 各年齢に適した食事や休息、運動実践の方法について理解している。 3. 幼児教育者としての自己の健康管理、子どもたちの健康・運動の援助指導を適切に実践できる基礎的知識を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 4、5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	受講上の留意事項について 現代社会と健康	予習	教科書 1 を読んでくる			
				復習	p. 10 について調べてまとめる			
	第 2 回	内容	食事と健康 食事について討議しよう	予習	教科書 2 を読んでくる。前日の食事内容をメモしておく。			
				復習	p. 20 について調べまとめる			
	第 3 回	内容	心の健康 運動との関わりについても考えてみよう	予習	教科書 3 を読んでくる			
				復習	運動の及ぼす効果についてまとめる			
	第 4 回	内容	青年期と性 感染症について知ろう	予習	教科書 4 を読んでくる 感染症について調べてくる			
				復習	p. 34 について調べ、まとめる			
	第 5 回	内容	運動と健康、体力について	予習	教科書 5 を読んでくる			
				復習	教科書 6 について読み、本時の内容と照合しまとめる			
	第 6 回	内容	トレーニングの理論と実践	予習	教科書 7 を読み、トレーニングの目的を考えてくる			
				復習	トレーニングメニューを考え、実践しそれについての考察をまとめる			
	第 7 回	内容	応急処置について	予習	教科書 8 を読み、熱中症についてまとめる			
				復習	p. 64 について調べまとめる			
	第 8 回	内容	生涯にわたる健康、運動について討議しよう	予習	教科書 9、10 を読んでくる			
				復習	8 回目までの内容を振り返り、考察する			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	毎時の復習問題について解説する 質問に関しては、コメントすると同時に授業内にて説明をする						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度（20%）						
教科書	『大学生のための体育講義 今日つくる未来・今日を生きる知恵』（若井香保里編著、推敲舎）							
参考文献	『健康づくりのための運動科学』（鵜木秀夫編、化学同人）、『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会編、道和書院）							
注意事項	授業は 11 月頃より開始（詳細は掲示にて知らせる） 毎回教科書を持参し、復習問題を提出すること							

科 目 名	キャリアデザインⅠ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	にしま　ほりうち　のぶた 西 山 ・ 堀 内 ・ 信 田	
ナンバリングコード	SEM12105		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものであり、授業を通して女性の「身体」と「生命」についての理解を深めること、および社会生活を送るうえでの「常識」を身につけていく。 保育者は子どもに生命の大切さを教え、子どもたちの生活や行動の模範となることが求められる仕事である。 そのためには、まず自分自身の身体や生命を大切に、美しい立ち居振る舞いや言葉遣いで日常生活を送るよう努める必要がある。このことを真剣に受け止めたうえで受講して欲しい。							
到 達 目 標	１．若い女性としての自分の身体や生命についての理解している。 ２．社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（　①③　）地域保育学科（　　　　　）文化表現学科（　　　　　）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業内容や評価方法等のガイダンス・「教養」とは何かを考える	予習				
				復習				
	第 2 回	内容	人間の体のづくり（アンケート）	予習	自分の健康・日常生活について考えてみる			
				復習	自分の健康生活環境について振り返りをする			
	第 3 回	内容	女性ライフサイクルと体の変化	予習	人間（自分）の一生を想像してみる			
				復習	女性の体の変化を振り返り人生計画を立ててみる			
	第 4 回	内容	月経について（小テスト）	予習	自分の生理周期の確認をする			
				復習	自分の月経障害に対して対策を立て対処する			
	第 5 回	内容	妊娠・分娩について	予習	生命の誕生について調べてみる			
				復習	自分なりに生と死について考えてみる			
	第 6 回	内容	性行為感染症・避妊について（小テスト）	予習	性行為感染症について調べる			
				復習	資料を見直し、感染予防について理解を深める			
	第 7 回	内容	女性特有の病気について	予習	女性特有の病気を調べる			
				復習	資料を見直し、自己管理能力を高める			
	第 8 回	内容	総括：命を守ること・レポート	予習	生命の誕生から死までを考えてみる			
				復習	健康、命の大切さについて振り返りそれらを守るためにはどうしたら良いのか考えをまとめる			
	第 9 回	内容	社会人としてのマナー①：立ち居振る舞いの基本・応対の基本姿勢	予習	社会人として大切な事は何か考えてみる			
				復習	日常生活で活用してみる			
	第 10 回	内容	社会人としてのマナー②：職場のルールとマナー・来客対応の基本・箸等のマナー	予習	働くという事を想像し大切な事や疑問を考える			
				復習	授業で学んだ事への理解を深め身につける			
	第 11 回	内容	コミュニケーションの基本・電話のかけ方受け方	予習	コミュニケーションを良くするために気を付ける事を考える			
				復習	日常生活で活用してみる			
	第 12 回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー① 社会の変化と女性の活躍（グループワーク）	予習	自分の仕事観・人生観について考える			
				復習	女性が社会で働くことの意義を理解する			
	第 13 回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー② ワーク・ライフ・バランスをめぐる問題（グループワーク）	予習	性別役割分業の実態について調べる			
				復習	女性の多様な働き方について理解する			
	第 14 回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー③ 自分の未来をデザインしよう（グループワーク、発表）	予習	行政・企業・NPOの女性支援について調べる			
				復習	自己のキャリアプランをノートにまとめる			
	第 15 回	内容	総括：レポート・小テスト（合同）	予習	全 6 回の授業内容を振り返る			
				復習	社会人としての足りない基礎力を自覚し身につける			
	予習に要する学習時間：概ね　30 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね　30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	次回の授業にて、小テストの解答を示し復習・指導する。 演習時に模範解答を示し説明指導する。レポートは赤ラインを引いて返却し、添削指導する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（　　）する／（○）しない 成績評価の方法：第 2 回から第 8 回：小テスト・レポート（　50%）、授業態度（　50%） 第 9 回から第 15 回：小テスト・レポート（　50%）、実技・授業態度（　50%）　※この二つの評価を合計して最終的な評価を行う。						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 未定							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）							
注意事項	１．授業は第 2 週～第 8 週（担当：西山）、第 9 週～第 1 5 週（担当：信田・堀内）とシラスごと行う。（豊泉 2 ・ 三好 2 ） ２．卒業および資格取得のための必須科目なので、全員が履修すること。							

科 目 名	キャリアデザインⅡ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	きたざわ あきこ 北 澤 明子
ナンバリングコード	SEM12106	授業形態	講義			
授 業 の 内 容	本授業では、受講者一人ひとりが、自分自身の価値観やこれまでの生き方、長所や短所などを把握し、これからの学生生活や生き方、働き方を考えていくための授業である。このような生き方や働き方を考えていく理論と方法であるキャリアデザインの基本を理解した上で、現在社会人として活躍している多様なキャリアについて聞き、2年次に始まる就職活動に向け、自分自身の職業生活についてイメージしていく。また、就職活動の流れや履歴書の書き方、自己PRなど就職活動の際に必要な技術についても具体的に学んでいく。					
到 達 目 標	1. キャリアデザインの基本と方法について理解している 2. 現代を取り巻く平均的なライフサイクルの現状について理解している 3. 授業を通して自分の長所や短所、生活や行動のスタイル、価値観等について自己理解を深めようとする姿勢が身についている 4. 先輩や卒業生、外部講師の方の人生やキャリア、働き方等を参考に、自分のキャリアについて考えることができる					
学位授与方針	幼児教育学科（１・３・５・７）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・キャリアデザインとは 就活までの道のり・心構え・これからすべきこと	予習	シラバスを読んでくる	
				復習	キャリアデザインノートや配布資料を読み返す	
	第 2 回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格を生かした多様な仕事について	予習	キャリアデザインノートの保育所・幼稚園・認定こども園の比較表に目を通してくる	
				復習	授業内容の振り返りをまとめ自分自身のキャリアについて考える	
	第 3 回	内容	キャリアデザインのための自己理解 —偏愛マップ・自己史チェックシート・相互インタビュー—	予習	自分の好きなことについて箇条書きにしてくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 4 回	内容	幼・保・施フェアに参加し、幼稚園・保育所・施設の方の話を聞く	予習	フェアに参加するために必要なマナーや服装について自分なりに考え準備をする	
				復習	参加して聞いた話をまとめる	
	第 5 回	内容	働く意義・現代を取り巻く平均的なライフサイクルの現状について	予習	自分のライフプランについて考える	
				復習	配布資料を読み返す	
	第 6 回	内容	秋草ＯＢから聞く保育の仕事①幼稚園	予習	幼稚園についての質問を考えてくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 7 回	内容	秋草ＯＢから聞く保育の仕事②保育所／認定こども園	予習	保育所・認定こども園についての質問を考えてくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 8 回	内容	秋草ＯＢから聞く保育の仕事③施設／企業	予習	施設・企業についての質問を考えてくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 9 回	内容	多様なキャリアについて知り・考える	予習	キャリアデザインノートを読んでくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 10 回	内容	履歴書の書き方・社会人基礎力としてのマナー	予習	キャリアデザインノート「履歴書の書き方」「就職活動のマナー」のページを読んでくる	
				復習	履歴書の書き方の復習を行う	
	第 11 回	内容	キャリアデザインのための自己理解②自己PR・自己紹介	予習	キャリアデザインノートの自己PR、自己紹介書のページを読んでくる	
				復習	自己PRのエピソード収集をする	
	第 12 回	内容	模擬就職試験 グループワーク	予習	キャリアデザインノート「面接試験」「作文・小論文対策」を読んでくる	
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる	
	第 13 回	内容	公立保育士について知ろう スケジュール・合格した先輩からの話	予習	キャリアデザインノート「就職活動の流れ」を見返してくる	
				復習	授業内容を振り返りまとめる	
	第 14 回	内容	先輩の就職体験記（2年生）	予習	先輩への質問を考えてくる	
				復習	授業内容を振り返りまとめる	
	第 15 回	内容	自分のキャリアをデザインしてみる	予習	自分のキャリアデザインを考えてくる	
				復習	15回を振り返り感想をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートを返却し、どのような視点で採点したのかについてフィードバックする時間を設ける。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 80 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ 20 ）					
教科書	『キャリアデザインノート』（秋草学園短期大学 キャリアセンター）					
参考文献	『キャリアデザイン講座』（大宮登、日経BP）					

注意事項	・配布資料は適宜配布するのでファイルにして持参すること。 ・外部講師の都合等で内容が前後する場合があるため授業内でアナウンスを行う。
------	--

科 目 名	基 礎 演 習Ⅰ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美
ナンバリングコード	SEM12102		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	大学での学習に必要な基礎学力である語彙力や文章表現力、保育に関わる基礎用語や敬語等について学ぶ。これらは、社会人として、さらに幼稚園教諭免許や保育士資格取得のための保育の実践（実習）にて、必要な文章力（例えば実習生調査書や実習日誌、指導案作成）が求められる。そのため、授業を通して基礎学力の向上を目指し、グループワークやA L（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら学習する態度を身につける。						
到 達 目 標	1. 保育分野の基礎的な用語を理解し、正しく書くことができる。 2. 実習日誌や指導案作成など、保育者に必要な基礎的な文章表現力を見につけている。 3. 手紙の書き方を正しく理解している。 4. 敬語など、言葉での表現の仕方を正しく使うことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1. 2. 7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション/短大で学ぶこと/A L補習の説明	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	これから学ぶ内容を理解する		
	第2回	内容	入学前ワークブックの振り返り①1部（グループワーク）	予習	ワークブックを見直す		
				復習	ワークブックの1部を完成させる		
	第3回	内容	入学前ワークブックの振り返り②2部（3）について考える	予習	ワークブック2部（3）を確認する		
				復習	課題を完成させる		
	第4回	内容	4月の漢字/文章表現方法/保育の基礎用語	予習	教科書 p 16-17 を予習する		
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える		
	第5回	内容	5・6月の漢字/敬語での表現	予習	教科書 p 18-21 を予習する		
				復習	間違えた漢字を復習し覚える/敬語を覚える		
	第6回	内容	入学前ワークブックの振り返り③2部（1）（2）	予習	ワークブックを見直す		
				復習	間違えた箇所を復習し覚える		
	第7回	内容	敬語（言葉での表現方法・グループワーク）/9月の漢字/保育の基礎用語	予習	敬語のプリントを見直す/教科書 p 26-27 を予習する		
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える		
	第8回	内容	10月の漢字/手紙の書き方①構成・季語など	予習	教科書 p 28-29 を予習する		
				復習	間違えた漢字を復習し覚える/季語を調べる		
	第9回	内容	手紙の書き方②手紙を書く	予習	手紙の書き方を理解する		
				復習	手紙を完成させる		
	第10回	内容	12・2月の漢字/保育の基礎用語	予習	教科書 p 32-33, 36-37 を予習する		
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える		
	第11回	内容	理想とする保育者像（ワーク/ディスカッション）	予習	保育者の仕事を確認する		
				復習	自分の考えをまとめる		
	第12回	内容	3月の漢字/レポートの書き方	予習	教科書 p 38-39 を予習する		
				復習	レポートの書き方について理解する		
	第13回	内容	保育者になるために①文章表現/保育の基礎用語	予習	保育者に必要な資質を考える		
				復習	課題を完成させる		
	第14回	内容	保育者になるために②作文	予習	保育者に必要な資質を整理する		
				復習	課題を完成させる		
	第15回	内容	文章表現の確認・まとめ/保育の基礎用語	予習	文章表現・基礎用語の確認をする		
				復習	文章表現・基礎用語の振り返りをする		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や確認テストに対し、返却し解説を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（40%）、小テスト（10%）、発表（30%）、授業態度（20%）						
教科書	『保育者になりたい人のためのワークブック～秋草学園短期大学・幼児教育学科の歩き方～』（秋草学園短期大学 幼児教育学科編） 『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）						
参考文献							
注意事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取組み、基礎学力の向上を図ること。A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。						

科 目 名	基 礎 演 習Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ きたざわ あきこ 丸 橋 聡美・北 澤 明子
ナンバリングコード	SEM12103			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	本科目は、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を「基礎演習Ⅰ」からの継続として学修する。保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ。グループワーク等に参加し、ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら、学習する意欲・態度を身につける。							
到 達 目 標	1. 専門科目を理解するための読解力が身についている。 2. 保育分野の基礎的な用語を説明できる。 3. 実習日誌や指導案の作成の基礎となる文章表現力を身につけている。 4. レポートの書き方を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	「基礎演習Ⅰ」の確認テスト/実習に向けてのワーク/ＡＬ補習の説明	予習	「基礎演習Ⅰ」の確認・復習			
				復習	テストを振り返る			
	第 2 回	内容	保育の実践記録の文章表現方法/保育の基礎用語	予習	幼稚園のディリープログラムを確認する			
				復習	課題を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 3 回	内容	保育の実践記録（幼稚園①年少・解説）/保育の基礎用語	予習	課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 4 回	内容	保育の実践記録（幼稚園②年中長・解説）/保育の基礎用語	予習	課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 5 回	内容	保育の実践記録（保育園①乳児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の乳児クラスのディリープログラムを確認する/課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 6 回	内容	保育の実践記録（保育園②幼児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の幼児クラスのディリープログラムを確認する/課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 7 回	内容	部分実習指導案①説明・文章表現/保育の基礎用語	予習	教科書 p 10～13 を読んでおく			
				復習	課題を行う/基礎用語の説明を要約する			
	第 8 回	内容	部分実習指導案②絵本の読解/保育の基礎用語	予習	子どもの発達にあった絵本を選ぶ			
				復習	課題プリントを完成させる/基礎用語の説明を要約する			
	第 9 回	内容	部分実習指導案③指導案作成・文章表現/保育の基礎用語	予習	教科書 p 54～57 を読んでおく			
				復習	指導案を完成させる/基礎用語の説明を要約する			
	第 10 回	内容	部分実習指導案④グループワーク/保育の基礎用語	予習	課題プリントを読んでおく			
				復習	グループワークを元に指導案を修正する/基礎用語の説明を要約する			
	第 11 回	内容	手紙の書き方②お礼状	予習	「基礎演習Ⅰ」手紙の書き方を確認する/実習を振り返る			
				復習	お礼状を完成させる			
	第 12 回	内容	レポートの書き方Ⅱ①文献の調べ方	予習	「基礎演習Ⅰ」レポートの書き方を確認する			
				復習	文献を探す			
	第 13 回	内容	レポートの書き方Ⅱ②調べたことを整理する	予習	文献を読む			
				復習	調べたことを整理し、まとめる			
第 14 回	内容	レポートの書き方Ⅱ③構成・下書き	予習	構成を考える				
			復習	レポートを清書する（提出）				
第 15 回	内容	レポートの振り返り/基礎用語の確認	予習	基礎用語の確認をする				
			復習	「基礎演習Ⅱ」を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	確認テストを返却し、コメントをする。課題作成後、解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30％）、課題（40％）、授業態度（30％）							
教科書	『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）／『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』							
参考文献								
注意事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取組み、基礎学力の向上を図ること。ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。							

科 目 名	基 礎 演 習Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	しみず すみこ 清水 澄子	
ナバリングコート	SEM12103			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	公務員採用試験に向けての知識の習得。まず教養試験についての問題演習やまとめ、専門試験についての問題演習やまとめを行うとともに、作文に出題されそうな時事問題にも日々触れていく。保育士として必要な知識と、採用試験に必要な試験を兼ねての勉強を行う。								
到 達 目 標	1. 中学校、高校で学ぶ勉強についてしっかりと理解できている。 2. 考える力、書く力を身に着けている。 3. 保育士として必要な専門的知識を身に着けている。 4. 保育士という仕事に真剣に取り組む自覚をしっかりと持っている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	ガイダンス内容をもう一度頭に入れる。				
	第 2 回	内容	社会科学復習プリント（毎回 50 問ずつ） 1	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	プリントを見直す。もう一度やってみる。				
	第 3 回	内容	社会科学復習プリント（毎回 50 問ずつ） 2	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	プリントを見直す。苦手な範囲を発見する。				
	第 4 回	内容	社会科学復習プリント（毎回 50 問ずつ） 3	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	プリントを見直す。1～3回分の復習をする。				
	第 5 回	内容	保育原理復習プリント	予習	1年で学んだ本を読みなおす。				
				復習	できなかったところをチェックする。				
	第 6 回	内容	保育原理・保育にかかわる法律復習プリント	予習	保育原理を全体的に思い出す。				
				復習	プリントをもう一度やってみる。				
	第 7 回	内容	こどもの保健と医学復習プリント	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	インターネットで細かい実用面を調べておく。				
	第 8 回	内容	簡単な数的処理復習問題演習 1	予習	特になし。				
				復習	プリントの問題をやってみる。				
	第 9 回	内容	簡単な数的処理復習問題演習 2	予習	自宅で前回の復習をする。				
				復習	プリントをまとめてもう一度やってみる。				
	第 10 回	内容	子どもの食事・栄養に関する復習プリント	予習	1年の時の授業を復習しておく。				
				復習	インターネットで「子どもの食事」についての新しいメニューを調べてみる。				
	第 11 回	内容	保育心理・発達に関する復習プリント 1	予習	自宅で自分のペースで問題集をやる。				
				復習	プリントを見直し、人名は覚えておく。				
	第 12 回	内容	保育心理・発達に関する復習プリント 2	予習	前回の授業に目を通す。				
				復習	プリントを見直し、用語は復習しておく。				
	第 13 回	内容	保育時事に関するプリント	予習	ネットや図書館で保育問題を見ておく。				
				復習	プリントを見直す。				
	第 14 回	内容	採用面接はこうに行われる！	予習	前回のプリントについて考えておく。				
				復習	自宅で鏡を見て、しゃべる練習をしてみよう。				
	第 15 回	内容	まとめ 復習問題（100 題程度）	予習	全体を思い出す。				
				復習	プリントを見直す。もう一度やってみる。				
	予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	プリントで問題演習をする。特に出来が悪いものは 2 度問題演習をする。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 70 %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）							
教科書	なし								
参考文献	自分で選んだ採用試験問題集								
注意事項	本気で勉強するように随時うながすようにする。時々、その時の保育についての話題を提供する。								

科 目 名	情報機器操作		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治	
ナンバリングコード	EDT12101		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	Microsoft Office に含まれる事務処理系ソフトウェア群のうち、文書作成用ソフトウェア（Word）、表計算用ソフトウェア（Excel）およびプレゼンテーション用ソフトウェア（PowerPoint）の基本的な取り扱い方を学ぶ。 授業の後半では、各ソフトウェアの同時利用などの応用課題に取り組む。							
到達目標	1. 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用方法を習得している。 2. パソコン初心者は、「覚えるよりも慣れること」の大切さを理解している。 3. パソコン経験者は、「より賢いパソコン活用の仕方」を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1,3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス インターネットでのメール、Windows の基礎知識、日本語の入力、ソフトウェアの起動終了、その他	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	パソコンの基本操作を確実に行う。			
	第2回	内容	Word の学習① やさしい文書の作成、その他	予習	Word の編集画面の内容を理解する。			
				復習	適当な文章を用いて入力練習をする。			
	第3回	内容	Word の学習② 表の取り扱い、文書の修飾（フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々）、その他	予習	表の取り扱い（Word の場合）について確認する。			
				復習	指定された課題（表付き文書）を作成する。			
	第4回	内容	Word の学習③ 文章の修飾（クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線）、その他	予習	文書の基本的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題（修飾付き文書）を作成する。			
	第5回	内容	Word の学習④ やや高度な文書加工（ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換）、その他	予習	文書の応用的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題（応用修飾付き文書）を作成する。			
	第6回	内容	Excel の学習① 基本的な表（数表）の作成、その他	予習	Excel の編集画面の内容を理解する。			
				復習	表作成を通して Word の操作との違いを理解する。			
	第7回	内容	Excel の学習② 表（数表）の作成（関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々）、その他	予習	資料類にて示された組み込み関数を確認する。			
				復習	指定された課題（計算付き数表）を作成する。			
	第8回	内容	Excel の学習③ より高度なデータ処理（条件判定、セル参照、グラフ）、その他	予習	条件判定の指定方法について確認する。			
				復習	指定された課題（条件付き数表）を作成する。			
	第9回	内容	Excel の学習④ より高度なデータ処理（簡単なデータベース、フィルタリング）、その他	予習	入力値の並べ替え方法について確認する。			
				復習	指定された課題（入力値の抽出処理）を作成する。			
	第10回	内容	PowerPoint の学習① スライド作成の基本（文字入力、スライドの挿入・削除・置換）、その他	予習	PowerPoint の編集画面の内容を理解する。			
				復習	指定された課題（簡単なスライド）を作成する。			
	第11回	内容	PowerPoint の学習② スライド作成の応用（図表・画像の挿入、アニメーション効果）、その他	予習	スライドの応用的な修飾方法について確認する。			
				復習	指定された課題（前回の成果物の改良）を作成する。			
	第12回	内容	Word およびExcel の応用① 長文レポート（鑑賞文など）の作成、その他	予習	Word および Excel の基本操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（両ソフトの同時利用）を作成する。			
	第13回	内容	Word および Excel の応用② 各ソフトウェアの同時使用、Excel を利用した数学問題の解答、その他	予習	Word および Excel の応用操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（数学問題の求解など）を作成する。			
	第14回	内容	PowerPoint の応用 Word および Excel を併用した高度なスライドの作成、その他	予習	PowerPoint の基本操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（授業時に指示する）を作成する。			
	第15回	内容	全体のまとめ 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用方法について、各自の見解をまとめる。	予習	これまでに配布済みの全資料類に目を通しておく。			
				復習	授業時に指定された内容のレポートを作成する。			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出されたレポート・課題については、必要に応じて改訂増補された成果物の再提出を求める。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50％）、授業態度（50％）						
教科書	プリントを随時配布する。							
参考文献	プリントを随時配布するほか、必要に応じて随時紹介する。							
注意事項	1. 幼稚園教諭二種免許を必要とする人は、この科目の単位を修得すること。 2. パソコンの操作はピアノの演奏と同じく、触れる機会が多ければ多いほど早く上達する。 3. 無断欠席、無断遅刻等々、「無断～」な言動は厳禁とする。							

科 目 名	情報機器操作		単 位 数	2	実務経験	担当教員	きむ じゅうく 金 幸 郁
ナンバリングコード	EDT12101		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	教育に関連する文書業務・情報交換・情報収集等は、コンピュータによりその多くが行われていると考えられる。本科目では、幼児教育を行う方法の上での技術として、情報機器を利用するには、どのような考え方でどのような情報機器を用いて行うことが最も適切なのかについて理解を図る。						
到 達 目 標	1. 情報分野の基本的なスキルであるコンピュータリテラシーを身につけ、コンピュータを使いこなすこと。 2. ワープロソフト「Word」の習得によりそれぞれの文書作成に対応できる。 3. プレゼンテーションソフトの習得により卒論に対応できる。 4. 情報処理検定及びワープロ検定試験への資格証取得できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ２・３・４ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	この授業科目に関するガイダンスおよび自己紹介文作成・提出する。	予習	シラバスを読む。		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する。		
	第 2 回	内 容	Windows の基本操作(1)：OS, GUI などを説明し、その課題を行う。	予習	USB メモリチップを用意する。		
				復習	Windows の OS, GUI について纏める。		
	第 3 回	内 容	Windows の基本操作(2)：ファイル管理、種類、文書の保存・読み込みなどを習得し、その課題を行う。	予習	ID、パスワードを用意する。		
				復習	タイピングを練習する。		
	第 4 回	内 容	絵の作成の基礎：絵描きソフト（ペイント）による課題の作成および提出する。	予習	ペイントについて調べる。		
				復習	絵描きソフト（ペイント）を纏める。		
	第 5 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(1)：文書形式、文書のコピー・移動・削除の関連課題の作成、及び提出する。	予習	文書形式について調べる。		
				復習	文書形式、文書のコピー・移動・削除の関連課題を纏める。		
	第 6 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(2)：文字サイズの変更、文字揃えなどの関連課題の作成および提出する。	予習	文字サイズの変更、文字揃えなどを調べる。		
				復習	文字サイズの変更、文字揃えなどを纏める。		
	第 7 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(3)：均等割付・段組、縦書き文字などの関連課題の作成、及び提出する。	予習	均等割付・段組、縦書き文字などを調べる。		
				復習	均等割付・段組、縦書き文字などを纏める。		
	第 8 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(4)：表作成と編集①の関連課題の作成、及び提出する。	予習	表作成、表編集を調べる。		
				復習	表作成、表編集を纏める。		
	第 9 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：表作成と編集②の関連課題の作成、及び提出する。	予習	表デザインを調べる。		
				復習	表デザインを纏める。		
	第 10 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：図形描画の関連課題作成、及び提出する。	予習	図形描画を調べる。		
				復習	図形描画を纏める。		
	第 11 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：段組み、ドロップキャップ、ページ罫線の関連課題作成、及び提出する。	予習	段組み、ドロップキャップ、ページ罫線を調べる。		
				復習	段組み、ドロップキャップ、ページ罫線を纏める。		
	第 12 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」 1：発表の構成の編集などを説明し、その課題を行う。	予習	プレゼンの注意事項を調べる。		
				復習	配布資料を確認する。		
	第 13 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」 2：発表のスライド、オブジェクトの編集などを説明する。その課題を行う。	予習	プレゼンのオブジェクトを調べる。		
				復習	配布資料を纏める。		
	第 14 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」 3：発表の準備などを行う。	予習	発表の準備をする。		
復習				教科書・資料の確認をする。			
第 15 回	内 容	プレゼンテーション発表：グループごとに PowerPoint で 1 つの作品を作り、発表をする。	予習	リハーサルを行う。			
			復習	発表の振り返り			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成した課題にコメントを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（40%）、発表（30%）、授業態度（30%）						
教科書	『文科系学生のための情報活用』（立野貴之、共立出版）						
参考文献	『知りたい操作がすぐわかる Word2013 全機能 Bible』（西上原裕明、技術評論社）						
注意事項	出席時間数が授業時間数の 3 分の 2 以上であり、かつ、課題、最終作品、発表、平常点等の成績を総合して合格と判断された場合、所定の単位が与えられる。						

科 目 名	英 語			単 位 数	2	実務経験	担当教員	なかじま なおき 中 島 尚樹
ナンバリングコード	ENL12101			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	この授業は、実践的な英語力の基礎を身につけるためのものです。日常生活の身近な話題に関して、英語で理解し、表現できるようになることを目指して、基本的な文法と語彙の学習から英作文に至るまで発信型の練習をしていきます。また、英語の歌や月の名前の由来など英語の素朴な疑問や文化的な話題などにも触れたいと思っています。							
到 達 目 標	1．Be 動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 2．一般動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 3．日常生活の出来事を言い表すのに必要な基本的な語彙を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業説明 (年間の授業の流れ、評価方法、履修上の注意点など)	予習	シラバスを読む。			
				復習	1 年間の授業の流れを確認する。			
	第 2 回	内容	Pre-Unit 品詞と語順 (英語の品詞と基本語順)	予習	Pre-Unit の部分を読んで、問題をやる。			
				復習	各品詞の例を自分で考えてみる。			
	第 3 回	内容	文法：名詞と代名詞 (名詞と代名詞の種類、主格の代名詞)	予習	代名詞の分類を試みる。			
				復習	指示に沿って代名詞についてまとめる。			
	第 4 回	内容	文法：Be 動詞の現在形(肯定文) (Be 動詞＋名詞句、Be 動詞＋形容詞句、Be 動詞＋前置詞句)	予習	プリント 1 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	プリント 1 の練習問題の訳をノートに書く。			
	第 5 回	内容	文法：Be 動詞の現在形(否定文と疑問文) (Be 動詞＋名詞句、Be 動詞＋形容詞句、Be 動詞＋前置詞句)	予習	プリント 2 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	プリント 2 の練習問題の訳をノートに書く。			
	第 6 回	内容	文法：Be 動詞の過去形 (肯定文、否定文、疑問文)	予習	プリント 3 の説明部分を読む。			
				復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。			
	第 7 回	内容	Unit 1 First Day of Class (be 動詞の構文)	予習	テキスト U 1 の Grammar Aid の部分を読む。			
				復習	U 1 の Conversation の B を聞いて音読する。			
	第 8 回	内容	文法：There 構文 (人やモノの存在を表す表現)	予習	プリント 4 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	これまで出てきた Be 動詞の構文をまとめる。			
	第 9 回	内容	文法：一般動詞の現在形(肯定文) (主語によって変わる現在形の動詞の形)	予習	プリント 5 の説明部分を読む。			
				復習	プリント 5 の練習問題の訳をノートに書く。			
	第 10 回	内容	文法：一般動詞の現在形(否定文) (don’ t/doesn’ t の区別と使い方)	予習	プリント 6 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	プリント 6 の練習問題の訳をノートに書く。			
	第 11 回	内容	文法：一般動詞の現在形(疑問文) (Do/Does の区別と使い方)	予習	プリント 7 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。			
	第 12 回	内容	Unit 2 I love Bread! (一般動詞の現在形)	予習	テキスト U 2 の Grammar Aid の部分を読む。			
				復習	U 2 の Conversation の B を聞いて音読する。			
	第 13 回	内容	Unit 3 Pizza Time (可算名詞と不可算名詞)	予習	テキスト U 3 の Grammar Aid の部分を読む。			
				復習	U 3 の Conversation の B を聞いて音読する。			
	第 14 回	内容	Unit 4 Not Just a Baker (代名詞：所有格、目的格)	予習	テキスト U 4 の Grammar Aid の部分を読む。			
				復習	U 4 の Conversation の B を聞いて音読する。			
	第 15 回	内容	文法：時点を表す副詞的な表現 (基本的な時間表現と前置詞の有無)	予習	これまで出てきた時間表現を書き出してみる。			
				復習	プリント 8 の時間表現を訳して自分でまとめる。			
	第 16 回	内容	Unit 7 I Feel Healthy Already! (時と場所を表す前置詞)	予習	テキスト U 7 の Grammar Aid の部分を読む。			
				復習	U 7 の Conversation の B を聞いて音読する。			
	第 17 回	内容	まとめ：be 動詞と一般動詞の現在形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	これまで学んだ構文を自分で整理する。			
				復習	これまで出てきた単語を整理し、まとめる。			
	第 18 回	内容	文法：現在と過去の区別(時制) (過去の時点を表す副詞と動詞の形)	予習	プリント 9 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	プリント 9 の練習問題の訳をノートに書く。			
	第 19 回	内容	文法：一般動詞の過去形(肯定文) (規則動詞と不規則動詞)	予習	プリント 10 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	リストにある不規則動詞の過去形を覚える。			
	第 20 回	内容	文法：一般動詞の過去形(疑問文・否定文) (Did … と didn’ t の使い方)	予習	プリント 11 の説明部分を読み、例文を訳す。			
				復習	プリント 11 の練習問題の訳をノートに書く。			

	第 21 回	内容	Unit 5 What' s Wrong with Hitomi? (一般動詞の過去形)	予習	テキストU 5 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U 5 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 22 回	内容	文法：Wh 疑問文 (疑問詞が主語の場合とそれ以外の場合の Wh 疑問文)	予習	知っている疑問詞をまとめる。
				復習	出てきた疑問詞を整理し、例文を作る。
	第 23 回	内容	Unit 13 I' m Meeting a Friend (疑問詞)	予習	テキストU13 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U13 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 24 回	内容	英語で発表：Show and Tell (持参した写真をみんなに見せて、英語で簡単に説明する)	予習	発表用の英語の文章を考えて原稿を書く。
				復習	Show and Tell レポートを作成する。
	第 25 回	内容	Unit 11 Hitomi wants a New Look (接続詞)	予習	テキストU11 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U11 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 26 回	内容	文法：現在進行形 (現在時の動作の進行を表す表現)	予習	現在形と現在進行形の違いについて考える。
				復習	プリント 12 の練習問題の訳をノートに書く。
	第 27 回	内容	文法：過去進行形 (過去のある時点の動作の進行を表す表現)	予習	プリント 13 の説明部分を読む。
				復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。
	第 28 回	内容	Unit 6 It Won' t Hurt (進行形)	予習	テキストU 6 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U 6 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 29 回	内容	Unit 8 Small Talk (未来形)	予習	テキストU 8 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	これまでの語彙と構文を整理して総復習する。
	第 30 回	内容	まとめ：一般動詞の過去形、現在・過去進行形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	これまでの構文を整理して、疑問点をまとめる。
				復習	試験に出る英作文を覚える。
予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	試験は、試験後に解答についての解説をし、達成度に関するコメントを加えます。発表に関しても発表後、内容、英語、話し方について講評します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（8 0 %）、発表（1 0 %）、授業態度（1 0 %）				
教科書	English Aid（Robert Hickling・臼倉美里、金星堂）				
参考文献					
注意事項					

科 目 名	英 語		単 位 数	2	実務経験	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL12101		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	本授業は、英語の基礎学力と、基本的な英語のコミュニケーション能力を身に付けることを目標とします。 幼児教育の現場で使う英会話や、英語の絵本の読み聞かせができ、季節のイベントを英語で説明する力等を身に着けます。 また、幼児教育者の英語資格である「幼保英語検定（幼児教育・保育英語検定）」の対策を行います。						
到 達 目 標	1. 英語の基礎学力（読む・書く・聞く・話す）を体得している。 2. 幼保英語の基礎的な文法を理解したうえで、定型的なフレーズを用いた英語での会話ができる。 3. 海外にルーツをもつ園児や保護者に対して、英語でコミュニケーションを取ることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 5, 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	授業ガイダンス（年間の授業の流れ、評価方法など）	予習	シラバスを読む		
				復習	1年間の授業の流れを確認する		
	第2回	内容	Unit 1: 挨拶・自己紹介	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第3回	内容	Unit 2: 園内の案内、道案内	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第4回	内容	Unit 3: 登園時の会話、体調を聞く	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第5回	内容	幼児教育・保育英語検定①：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する		
				復習	授業で解いた問題を復習する		
	第6回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する①	予習	地域性とシーンの関係性を調べる		
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる		
	第7回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう①：「うさぎとかめ」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく		
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする		
	第8回	内容	Unit 4: 工作時間の会話、英語で「かぐや姫」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第9回	内容	Unit 5: 園外散歩での会話、集団で行う園活動	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第10回	内容	Unit 6: 園庭での会話、英語で「桃太郎」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第11回	内容	幼児教育・保育英語検定②：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する		
				復習	授業で解いた問題を復習する		
	第12回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する②	予習	地域性とシーンの関係性を調べる		
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる		
	第13回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう②：「金の斧 銀の斧」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく		
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする		
	第14回	内容	Unit 7: 保護者からの相談、食材の名前	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第15回	内容	前期授業全体のまとめ	予習	既習項目について、得意・不得意を分析する		
				復習	既習項目について、不得意項目の克服を図る		
	第16回	内容	Unit 8: お昼寝時間の会話、英語のジェスチャー	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第17回	内容	Unit 9: 降園時の会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第18回	内容	Unit 10: 園行事予定についての会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと		
				復習	授業で学んだUnit の語彙と表現を覚える		
	第19回	内容	幼児教育・保育英語検定③：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する		
				復習	授業で解いた問題を復習する		
	第20回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する③	予習	地域性とシーンの関係性を調べる		
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる		

	第 21 回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう③：「ももたろう」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする
	第 22 回	内容	Unit 11: ネイティブとの打ち合わせ	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第 23 回	内容	Unit 12: 体調不良の園児との会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第 24 回	内容	Unit 13: 保護者との電話、英語で「浦島太郎」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第 25 回	内容	幼児教育・保育英語検定④：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する
				復習	授業で解いた問題を復習する
	第 26 回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する④	予習	地域性とシーンの関係性を調べる
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる
	第 27 回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう④：「さるかにかっせん」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする
	第 28 回	内容	Unit 14: 最後の日の会話、お礼の表現	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第 29 回	内容	幼児教育・保育英語検定⑤：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する
				復習	授業で解いた問題を復習する
	第 30 回	内容	後期授業全体のまとめ	予習	既習項目について、得意・不得意を分析する
				復習	既習項目について、不得意項目の克服を図る
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	単元の終了ごとに行う小テスト実施後に、解答についての解説を行います。発表に関しても、英語の発音等について講評します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（30％）、作品・発表（35％）、授業態度（35％） 【注】単元の終了ごとに小テストを実施する。				
教科書	『Happy English for Childcare』（土屋麻衣子、金星堂）				
参考文献	なし（場合によって、プリントなどを配布します。）				
注意事項	辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。				

科 目 名	生活の科学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	きたの まさる なかむら よういち 北野 大 ・ 中 村 陽 一
ナンバリングコード	ECE12101		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	1. 水に関する化学的側面、量的側面、社会的側面などを幅広く学ぶ。 2. 食に関して食料自給率の現状とその理由など食料安全保障について学ぶ。 3. 食の安全性に関して、食品添加物、農薬を例に挙げその役割と使用上の注意について学ぶ。 4. 身近な作物の起源について学ぶ。						
到 達 目 標	1. 食に関する安全性、食料自給率などについて現在のわが国の食糧事情について説明ができる。 2. 食品添加物、農薬など人により新たに開発された化学物質について、その有用性及び使用上の注意事項などを理解している。 3. 身近な作物の起源とその来歴を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	地球の誕生と生命の発生、なぜ地球に生命が発生したのかを学ぶ。	予習	地球での生命の発生についての種々の考え方を、あらかじめ調べておくこと。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 2 回	内容	水とは何か、水の量的及び質的問題について学ぶ。	予習	個人レベルでの水とのかかわり、水に関して困ったことなどをまとめておくこと。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 3 回	内容	食の安全性、食料自給率など、我が国の現状について学ぶ。	予習	諸外国の食糧自給率を調べ、日本の自給率が低い理由を考えておくこと。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 4 回	内容	食と栄養、食がもたらす栄養上の恩恵及び疾病との関係について学ぶ。	予習	日本人と癌の発生について、最新のデータを調べ、その理由を考えておくこと。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 5 回	内容	食品添加物とは何か、添加物の果たしている役割及び使用上の注意について学ぶ。	予習	インスタントラーメンなどの添加物の表示をコピーし、教室に持ってくること。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 6 回	内容	農薬とは何か、農薬の果たしている役割および使用上の注意について学ぶ。	予習	何故、消費者は無農薬、減農薬を志望するのか、思い当たる理由をまとめておくこと。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 7 回	内容	毒性とは何か、新たに開発された食品添加物や農薬の毒性はどのように調べるのかについて学ぶ。	予習	なぜ、人間を動物実験に使ってはいけないのか、動物実験の結果を人間に外挿する方法は正しいのか、などについて友人と議論をしてくること。		
				復習	授業の中で理解できなかったこと、さらに詳しく知りたいことなどをメモにして残し、次回の授業で教員に質問できるようにしておくこと。		
	第 8 回	内容	身近な野菜の起源と伝播①アブラナ科の作物	予習	アブラナ科の作物に関する配布資料を読む。		
				復習	キャベツの起源についてレポートを作成。		
	第 9 回	内容	身近な野菜の起源と伝播②ナス科の作物	予習	ナス科の作物に関する配布資料を読む。		
				復習	ナスの起源についてレポートを作成。		
	第 10 回	内容	身近な野菜の起源と伝播③ウリ科の作物	予習	ウリ科の作物に関する配布資料を読む。		
				復習	キュウリの起源についてレポートを作成。		
	第 11 回	内容	身近な野菜の起源と伝播④根菜類	予習	根菜類に関する配布資料を読む。		
				復習	ジャガイモの起源についてレポートを作成。		
	第 12 回	内容	身近な穀物の起源と伝播①イネ科の作物	予習	イネ科の作物に関する配布資料を読む。		
				復習	イネの起源についてレポートを作成。		
	第 13 回	内容	身近な穀物の起源と伝播②マメ科の作物	予習	マメ科の作物に関する配布資料を読む。		
				復習	ダイズの起源についてレポートを作成する。		
	第 14 回	内容	身近な果物の起源	予習	果物に関する配布資料を読む。		
				復習	バナナの起源についてレポートを作成する。		
	第 15 回	内容	作物の起源と伝播	予習	作物の伝播に関する配布資料を読む。		
				復習	作物の起源と伝播についてレポートを作成する。		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テストを行う場合は、次週に返却し正解を説明する。						

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（0%）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（30%）
教科書	使用しません
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 1. 「人間・環境・安全」（及川紀久雄、北野大、共立出版）
注意事項	1. 授業を通して食の安全について従来以上に関心を持ってほしい。 （北野 8 ・ 中村 8 ）

科 目 名	表現とアート			単 位 数	2	実務経験	担当教員	しおさき おぐち はせがわ 塩 崎 ・ 小 口 ・ 長 谷 川	
ナンバリングコード	ARE12101			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	領域「表現」に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境、造形表現の効果的な使い方について学ぶ。また、総合的な表現を検討・実践することで、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。								
到 達 目 標	1. 見る・聴く・動く・作るなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 3、7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：総合的な表現について理解する。	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる				
				復習	本時の内容についてノートにまとめる				
	第 2 回	内容	発表の方法を理解し、テーマとする童謡を選択する。	予習	テーマとする童謡を調べてくる				
				復習	テーマとした童謡の旋律や歌詞を確認する				
	第 3 回	内容	テーマとする童謡の歌詞が示す表現をもとに発表内容の構成用紙を記入する。	予習	テーマとした童謡の旋律を理解し、歌詞を読み込む				
				復習	授業内の話し合いをふまえ、発表内容の概要をノートにまとめる				
	第 4 回	内容	舞台の使い方や照明効果について理解し、計画する。	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる				
				復習	本時の内容をノートにまとめる				
	第 5 回	内容	音や音楽の表現の効果について理解し、計画する。	予習	第 1 回の授業を確認しておく				
				復習	本時の内容についてノートにまとめ、遊びと音楽の関わりの重要性を理解する				
	第 6 回	内容	大道具、小道具などについての視覚的表現効果について理解し、計画する。	予習	身の回りの音に耳を傾けて音集めをしたり、音の質感について考えたりしてくる				
				復習	保育において音の質感を聞き取ることや音を創作して表現することの意義をノートにまとめる				
	第 7 回	内容	発表内容に合わせ、身体表現や音楽表現、造形表現を工夫し、全体の流れを動画や画像で記録する（ICT の活用）。	予習	発表内容の概要をふまえ、身体表現や音楽表現の案を考えたり、関連する楽曲を調べたりする				
				復習	動画を確認し、身体表現や音楽表現の方法をノートにまとめ、動画を活用しながら練習する（ICT の活用）				
	第 8 回	内容	リハーサル（第 1 回）	予習	発表の内容を確認し、練習する				
				復習	各自で振り返り、修正箇所を考える				
	第 9 回	内容	リハーサル（第 1 回）をふまえ、表現内容の修正点などについて検討する。	予習	発表の修正箇所をまとめる				
				復習	検討した内容をノートにまとめる				
	第 10 回	内容	表現の再検討をふまえ、発表内容をブラッシュアップして最終案を検討する。	予習	練習のスケジュールを考える				
				復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICT の活用）				
	第 11 回	内容	リハーサル（第 2 回）	予習	前時までの内容を確認し、発表の進行について理解を深める				
				復習	表現内容の修正点とその理由をノートにまとめる				
	第 12 回	内容	発表会の準備：発表会の運営について理解し、計画する。	予習	前時までの授業内容を確認し、表現内容の修正案を考える				
				復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICT の活用）				
	第 13 回	内容	発表会	予習	最終案を確認し、自分の役割を覚える				
				復習	発表の振り返りをふまえ、総合的な表現の要点をノートにまとめる				
	第 14 回	内容	振り返り：発表会を振り返り、グループ討議をする。	予習	前時までのノートを確認し、総合的な表現についてまとめておく				
				復習	グループ討議をふまえ、総合的な表現の意義について、ノートにまとめる				
	第 15 回	内容	まとめ：発表会をふまえ、総合表現とは何かを理解する。	予習	前時までのノートを確認し、音楽および身体表現、総合的な表現についてまとめておく				
				復習	総合的な表現の意義について、ノートにまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（30%）							
教科書	後日連絡する								

参考文献	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版
注意事項	出欠も評価の対象とする。音楽表現の授業では、動きやすさや作業しやすさを考慮した服装で出席すること。身体表現の授業の際は、指定のジャージを着用すること。授業内容はノートに記録し、配布資料を貼るなどしてまとめること。 (塩崎 15・長谷川 15・小口 15)

科 目 名	データサイエンス			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	STS12101			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。 また、実在の集計データ（学外事業体が公開提供しているものなど）を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。 本授業は、パソコンやデータに興味関心をもつ学生（科目等履修生を含む）であれば、所属学科を問わず誰でも受講を歓迎する。							
到 達 目 標	1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解できる。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解できる。 3. 今後の社会に必要なとされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 4, 5 ）地域保育学科（ 2, 3, 5 ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。			
			統計学の基本①：統計学の成り立ちと意義	復習	配布プリントを再読し、疑問点を整理する。			
	第 2 回	内容	統計学の基本②：いろいろな統計値の意味	予習	第 1 回授業時の配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 3 回	内容	統計学の基本③：可視化を通して分かるデータの性質	予習	第 2 回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 4 回	内容	統計学の基本④：様々な検定手法	予習	第 3 回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 5 回	内容	第 1 回～第 4 回の授業の総括	予習	第 4 回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された課題Ⅴの準備を始める。			
	第 6 回	内容	統計学演習①：平均値、中央値、標準偏差、分散、順位、偏差値、etc.	予習	第 5 回授業時の配布プリントを再読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題Ⅰを手掛ける。			
	第 7 回	内容	統計学演習②：ABC 分析、相関分析、回帰分析、etc.	予習	第 5 回・第 6 回の配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題Ⅱを手掛ける。			
	第 8 回	内容	統計学演習③：時系列分析、平均値の差の検定、分散の差の検定、etc.	予習	第 5 ～ 7 回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題Ⅲを手掛ける。			
	第 9 回	内容	統計学演習④：独立性の検定、相関の検定、重回帰分析、etc.	予習	第 5 ～ 8 回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題Ⅳを手掛ける			
	第 10 回	内容	第 6 回～第 9 回の授業の総括	予習	第 5 ～ 9 回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	演習問題Ⅰ～Ⅳおよび既出の課題Ⅴを完成する。			
	第 11 回	内容	実際の集計データの処理①：身近なデータ（身長と体重、etc.）の特徴を探る	予習	第 10 回授業時の配布プリントを再読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 12 回	内容	実際の集計データの処理②：自然科学系データ（地震情報、etc.）の数値処理を学ぶ	予習	第 10～11 回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 13 回	内容	実際の集計データの処理③：大規模データ（公共事業関連など）の分析を試みる	予習	第 10～12 回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第 14 回	内容	第 11 回～第 13 回の授業の総括：実際の集計データに係る処理結果の発表と考察	予習	第 11～13 回までの処理結果をまとめておく。			
				復習	発表内容に対する各自のコメントを整理する。			
第 15 回	内容	全授業の総括	予習	これまでの全配布プリントを再度熟読する。				
			復習	授業時に出题された課題Ⅵを仕上げて提出する。				
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業開講期間の後半において、実在の集計データに対する数値分析を履修者が分担して行い、その結果および解釈を互いに論評し合う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、授業態度（25%）							
教科書	プリントを随時配布するほか、必要に応じて紹介する。							
参考文献	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博著、株式会社インプレス刊）、その他必要に応じて紹介する。							
注意事項	1. 本授業で取り上げる統計処理は、いずれも Microsoft Excel の標準搭載機能を利用している。そのため、本授業を受講することによって“統計学の基本知識の習得”および“Microsoft Excel の操作全般に係る総復習”の機会を得ることができる。 2. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 3. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板にて通知する。 4. 他の授業と同じく、無断欠席・無断遅刻・無断発語・無断退出など「無断～」な言動は厳に慎むこと。							

科 目 名	保育原理Ⅰ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	あさい た く や 浅井 拓久也
ナソバ [®] リンク [®] コード [®]	EDU12101		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	保育学や幼児教育学に関する基本的な知識、理論、思想を学ぶことを目的とする。また、保育所実習につながるように、考える、話し合う、作る、演じる、発表するという、受講生の能動的な取り組みを取り入れた授業を行う。						
到 達 目 標	1. 保育学や幼児教育学の基本的な知識、理論、思想を説明できる。 2. 保育所実習に生かせる自分の得意分野を伸ばす。 3. 他者と対話を重ねながら主体的に学ぶ方法を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	保育原理を学ぶ理由とは	予習	シラバス及び教科書の目次を読む		
				復習	保育原理を学ぶ理由を3つ書く		
	第2回	内容	子ども・子育て支援新制度（1）	予習	地域型保育について調べる		
				復習	3施設の違いを理解する		
	第3回	内容	子ども・子育て支援新制度（2）	予習	利用者支援事業について調べる		
				復習	13事業の要点をまとめる		
	第4回	内容	保育士・保育所の専門性とは	予習	保育士に関する新聞記事を読む		
				復習	保育士の専門性を身につける方法を考える		
	第5回	内容	子どもの発達過程の即した保育（1）	予習	発達とは何か調べる		
				復習	月齢別の発達の特徴を理解する		
	第6回	内容	子どもの発達過程に即した保育（2）	予習	発達理論には何があるか調べておく		
				復習	発達に即した保育の事例を調べる		
	第7回	内容	保育の目標と方法	予習	保育所保育指針の第1章（1）を読む		
				復習	自分なりの保育の目標を3つ書く		
	第8回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（1）	予習	倉橋惣三について調べる		
				復習	子どもにとっての生活の意味を考える		
	第9回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（2）	予習	環境を通した学びとは何かを考える		
				復習	環境構成のあり方についてまとめる		
	第10回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（3）	予習	保育所保育指針の第2章を読む		
				復習	5領域とは何かまとめる		
	第11回	内容	保育の計画（全体的な計画・指導計画）	予習	保育所保育指針の第1章（3）を読む		
				復習	保育の計画の役割についてまとめる		
	第12回	内容	保育の計画（保育の記録）	予習	保育の記録には何があるか調べる		
				復習	保育の記録の役割についてまとめる		
	第13回	内容	保育の思想と歴史的変遷（1）	予習	フレーベルについて調べる		
				復習	保育の思想と理論をまとめる		
	第14回	内容	保育の思想と歴史的変遷（2）	予習	レジョエミリアについて調べる		
				復習	プロジェクト活動とは何かまとめる		
	第15回	内容	保育原理での学びを振り返る	予習	第1回から第14回までのノートを見直す		
				復習	保育原理から学んだことを書く		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（80％）、作品・発表（10％）、授業態度（10％）						
教科書	『マンガでわかる！保育所保育指針 2017年告示対応版』（浅井拓久也、中央法規出版）						
参考文献	『保育所保育指針〈平成29年告示〉』（厚生労働省、フレーベル館）						
注意事項	現役保育士によるゲスト講義や、認定こども園の園見学を行う。（予定）						

科 目 名	保育原理Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員 あさい た く や 浅井 拓久也
ナシバ`リンク`コード`	EDU12102		授業形態	講義		
授 業 の 内 容	保育所保育指針や子ども子育て支援新制度等の成立過程や実際の運営状況を通じて、保育の原理や制度、現在の課題を深く理解する。また、保育学の論文を読むことで、保育の理論や研究方法を学ぶ。					
到 達 目 標	1. 保育所保育指針や子ども子育て支援新制度の背景と課題を説明できる。 2. 保育学の論文の読み方や作り方を身につけている。 3. 量的調査および質的調査の基本的な設計ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第1回	内容	あなた自身の問いを立てる	予習	シラバス及び教科書の目次を読む	
				復習	保育原理Ⅱを学ぶ理由を3つ書く	
	第2回	内容	保育所保育指針の概要：第1章	予習	保育所保育指針の第1章を読む	
				復習	保育所保育の特徴をまとめる	
	第3回	内容	保育所保育指針の概要：第2章	予習	保育所保育指針の第2章を読む	
				復習	養護の重要性についてまとめる	
	第4回	内容	保育所保育指針の概要：第3～5章	予習	保育所保育指針の第3～5章を読む	
				復習	事故防止・対策の原則についてまとめる	
	第5回	内容	保育所児童保育要録の概要と書き方	予習	保育所児童保育要録とは何か調べる	
				復習	幼稚園の要録との違いを調べる	
	第6回	内容	ドキュメンテーションの概要	予習	レジヨエミリアについて調べる	
				復習	レジヨアブローチについてまとめる	
	第7回	内容	ドキュメンテーションの活用方法	予習	保育所で活用している事例を調べる	
				復習	授業を踏まえて実際に自分で作る	
	第8回	内容	保育学における量的調査：方法論	予習	量的調査とは何か調べる	
				復習	多変量解析についてまとめる	
	第9回	内容	保育学における量的調査：事例分析	予習	量的調査を行った論文を調べる	
				復習	自分なりの量的調査を設計する	
	第10回	内容	保育学における質的調査：方法論	予習	質的調査とは何か調べる	
				復習	エスノメソドロジーについてまとめる	
	第11回	内容	保育学における質的調査：事例分析	予習	質的調査を行った論文を調べる	
				復習	自分なりの質的調査を設計する	
	第12回	内容	地域子育て支援拠点事業の概要	予習	地域子育て支援拠点事業とは何か調べる	
				復習	あなたが住んでいる地域の拠点施設を調べる	
	第13回	内容	利用者支援事業の概要	予習	利用者支援事業とは何か調べる	
				復習	利用者支援専門員に関する新聞記事を読む	
	第14回	内容	技術的熟達者と省察の実践者	予習	省察とは何か調べる	
				復習	自分なりの省察方法を考える	
	第15回	内容	保育学の今後の展望と課題	予習	第1回から第14回までのノートを見直す	
				復習	保育原理Ⅱから学んだことを書く	
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90％）、授業態度（10％）					
教科書	『活動の見える化で保育力アップ！ドキュメンテーションの作り方&活用術』（浅井拓久也、明治図書）					
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）					
注意事項	大学や大学院に進学を希望する等、保育学をより深く学びたい学生を対象とする。					

科 目 名	教育原理		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナンバリングコード	EDU12103		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	教育を受けることや学校に通えることは、あたりまえのことなのかという疑問から、「教育」や「学校」について考え直してみることを通して、単純に事象的そして経験的にのみとらえることなく、本質的に「教育」や「学校」を理解するために必要な基礎的知識や考え方を習得することを目的とする。また、未来を展望する教育のあり方や教育改革の方向性について、主体的に考えていく事例を提供していく。							
到 達 目 標	1. 人間にとっての「教育」の必要性を理解している。 2. 歴史的に女性や子どもがどのような立場であったかを説明できる。 3. 近代国民皆学校教育制度の成立やその限界について説明できる。 4. これからの未来を展望した教育のあり方を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 4, 5, 6 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	理解した内容を文章化しておく			
	第 2 回	内容	「教育」を受け「学校」に通えることについて考える	予習	自分の教育や学校体験を振り返りまとめておく			
				復習	疑問に思ったことを調べまとめておく			
	第 3 回	内容	教育の意義について考える	予習	人間についての特徴を調べまとめておく			
				復習	野生児についての事例を調べてまとめておく			
	第 4 回	内容	教育や学校の語義を通して考える	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく			
				復習	理解したことをまとめておく			
	第 5 回	内容	教育の可能性と限界について考える	予習	ルソーについて調べまとめておく			
				復習	教科書の該当箇所を熟読し、まとめておく			
	第 6 回	内容	学校の誕生とその歩みについて考える	予習	「学校」について調べる			
				復習	教科書の該当箇所を熟読し、まとめておく			
	第 7 回	内容	少年兵や児童労働について考える	予習	少年兵や児童労働について調べる			
				復習	他国の子どもの状況についてまとめておく			
	第 8 回	内容	子どもを取り巻くさまざまな環境について考える	予習	現代の子どもが置かれている状況について調べる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第 9 回	内容	近代国民皆学校教育制度について考える	予習	近代学校の成立と成立について調べる			
				復習	義務教育制度についてまとめておく			
	第 10 回	内容	教育と戦争について考える	予習	日本の戦前・戦中について調べておく			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第 11 回	内容	戦争と子どもについて考える	予習	世界の戦争や紛争について調べる			
				復習	戦時下の子どもについて詳しく調べておく			
	第 12 回	内容	幼稚園と保育所の誕生について学ぶ	予習	就学前教育の歴史について調べる			
				復習	幼稚園や保育所の歴史についてまとめる			
	第 13 回	内容	幼稚園と保育所の歩みについて学ぶ	予習	幼稚園や保育所の現状について調べる			
				復習	理解したことをまとめておく			
	第 14 回	内容	今後の教育のあり方について考える	予習	教育改革や方法について調べる			
				復習	興味をもった教育方法についてまとめておく			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	女性や子どもにとっての教育についてまとめる			
				復習	自分自身の教育観について考えてみる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	小エッセイや課題についてコメントを行い、予習・復習における留意点を示唆していく						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（25％）、授業態度（25％）						
	教科書	『教育原理』（林邦雄・谷田貝公昭〔監修〕、大沢 裕〔編集〕、一藝社）						
参考文献	授業中に適宜、プリント等を配布し、紹介する							
注意事項	主体的に文章を読み、書くことに慣れ親しむことや、積極的に調べる習慣をつけてほしい							

科 目 名	子ども家庭福祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	しのはら あみ 志濃 原 亜美	
ナソバ・リンク・コート	SWS12101		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	子ども家庭福祉の歴史の変遷と現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解する。そのうえで、子どもと家庭に関する福祉の制度や実施体系など具体的なことを学ぶ。 また、少子化・母子保健・児童虐待・社会的養護・障がいのある児童の対応などをはじめとする子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、特に子ども家庭福祉と保育の関連性や子どもの権利擁護などについて理解を深める。							
到 達 目 標	1. 子どもや家庭に関する法や施設など基本的なことが理解できている。 2. 子どもをとりまく問題についての理解を深めたうえで、それらの早期発見の方法や解決への道筋を知ることができる。 3. 子どもの権利擁護について理解できている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第 2 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律①（児童福祉法の概要）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法についてのおおまかな理解をする。			
	第 3 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律②（児童福祉法の具体的内容）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法の具体的な内容を理解する			
	第 4 回	内容	子どもに関する権利思想の流れ	予習	子どもの権利についてのプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	子どもの権利思想の流れを理解する			
	第 5 回	内容	子ども家庭福祉の歴史①（明治期）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	明治期における子ども家庭福祉の歴史を理解する			
	第 6 回	内容	子ども家庭福祉の歴史②（明治期から戦前）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	明治期から戦前にかけての子ども家庭福祉の歴史を理解する			
	第 7 回	内容	V T R（澤田美喜物語・・・福祉施設創設者の物語）課題感想文	予習	今まで習った子ども家庭福祉に関する法や歴史を概観する			
				復習	課題：感想文を書く			
	第 8 回	内容	福祉専門職としての保育士	予習	福祉専門職としての保育士のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法等に明記されている保育士について理解する			
	第 9 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要①（施設の種類）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉施設の種類を覚える			
	第 10 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要②（施設の目的）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉施設や里親の目的を理解する			
	第 11 回	内容	子ども家庭福祉の行政機関（児童相談所を中心に）	予習	児童相談所の業務や相談内容についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童相談所の業務や相談内容について理解する			
	第 12 回	内容	児童虐待①（児童虐待の種類、法制度）	予習	児童虐待の種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童虐待の種類や法制度を理解する			
	第 13 回	内容	児童虐待②（児童虐待の実際）	予習	児童虐待の実際についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童虐待の実際についてまとめる			
	第 14 回	内容	小テスト、V T R（子どもの貧困）	予習	小テストに向けての学習			
				復習	小テストで出題された個所の確認			
	第 15 回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	V T Rの感想文を書く			
				復習	子ども家庭福祉とはなにかをまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 55%）、レポート・課題（ 35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）						
教科書	『新 保育ライブラリ 子ども家庭福祉』（植木信一編著、北大路書房）							
参考文献	『最新保育資料集 2020』（ミネルヴァ書房）							
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して子ども家庭福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと							

科 目 名	社会福祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	し のはら あみ 志濃 原 亜美
ナソバ・リング・コート	SWS12102		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	この授業では、福祉専門職である保育士が学ぶべき社会福祉の基礎的な知識を習得することをねらいとする。子どもの福祉のみならず、現代社会のニーズに即したあらゆる人々のウェルビーイング（福祉）をいかに実現させるかという視点に立ち広い視野で社会福祉について学ぶ。						
到 達 目 標	1. 保育と社会福祉の関係がわかっている。 2. わが国の社会福祉の制度がわかっている 3. 現代の社会問題がわかっている						
学位授与方針	幼児教育学科（2， 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する		
	第 2 回	内容	保育と社会福祉（私たちが暮らす社会と保育をめぐる社会問題）	予習	社会問題、社会構造のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会問題、社会構造について理解をする。		
	第 3 回	内容	社会福祉の概念①（社会福祉の意味、定義）	予習	社会福祉の意味、定義のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会福祉意味や定義を理解する		
	第 4 回	内容	社会福祉の概念②（社会福祉の理念、社会福祉の構造等）	予習	社会福祉の理念、構造のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会福祉の理念等についての理解を深める		
	第 5 回	内容	社会保障の概念と体系（我が国における社会保障の概念）	予習	社会保障のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会保障の概念をしっかりと理解する		
	第 6 回	内容	社会保険①（社会保険制度の概要）	予習	社会保険制度のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会保障制度についての全体像を理解する		
	第 7 回	内容	社会保険②（医療保険、年金保険、介護保険、労働保険）	予習	社会保険のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	具体的な社会保険の種類や性格を理解する		
	第 8 回	内容	公的扶助①（公的扶助の概要、公的扶助と社会保険の違い）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	公的扶助の概要の理解及び前回の社会保険との違いを明確にする		
	第 9 回	内容	公的扶助②（生活保護の原理と原則、保護施設、その他の低所得者施策）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	公的扶助について具体的に理解する		
	第 10 回	内容	高齢者福祉	予習	高齢者福祉のプリントの穴埋めを完成させる 中間レポート提出準備		
				復習	高齢者福祉施策を理解する		
	第 11 回	内容	障がい者福祉	予習	障がい者福祉のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	障がい者福祉施策を理解する		
	第 12 回	内容	相談援助の意味と方法①（保育士に求められるソーシャルワーク、ソーシャルワークの意味と原則、）	予習	相談の意味と方法についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	相談援助を理解する		
	第 13 回	内容	相談援助の意味と方法②（ソーシャルワークの視点、ソーシャルワークに貢献した人）	予習	ソーシャルワークに関する穴埋めプリントを完成させる		
				復習	ソーシャルワークについて理解する		
	第 14 回	内容	小テスト、V T R（諸外国の福祉）、感想文	予習	小テストに向けての学習		
				復習	小テストで出題された個所の確認		
	第 15 回	内容	小テスト返却、まとめ	予習	V T Rの感想文を書く		
				復習	社会福祉とはなにかをまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						

課題へのフィードバック	小テストの返却と解説、レポートの返却を行います
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（55%）、レポート・課題（ 35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）
教科書	『みらい×子ども福祉ボックス 社会福祉』（志濃原亜美編著、(株)みらい）
参考文献	『最新保育資料集 2020』（ミネルヴァ書房）
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと

科 目 名	子ども家庭支援論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	さかきばら ひさこ 榊 原 久子	
ナンバリングコード	SWS12201		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	子どもとその家庭への理解を深め、子育て家庭の支援に関する保育士としての基本姿勢や支援の内容や、その支援を実践するための方法、技術等の獲得をねらいとし、子育て家庭への支援においては、社会的養護における家庭や保護者への支援についての知見を深めることを目的とする。							
到 達 目 標	1. 子ども家庭支援の必要性について理解している 2. 子ども子育ての現状と課題について理解し、課題解決の具体的方法・フローについて理解している 3. 虐待を始めとする特別なニーズを必要とする子ども家庭支援において連携必要な社会資源や関係機関について理解している 4. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援について、具体的な関わりや連携等の事項を理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ １・２・３・５ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・子ども家庭支援の意義と必要性	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	子ども家庭支援の必要性をまとめる			
	第 2 回	内容	子ども家庭支援の目的と機能	予習	育児に関する記事やニュースを調べてくる			
				復習	子ども家庭支援の機能をまとめる			
	第 3 回	内容	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	予習	次世代育成支援法を熟読してくる			
				復習	次世代育成支援の背景についてまとめる			
	第 4 回	内容	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	予習	居住地の子育て支援サービスを調べてくる			
				復習	子育て家庭のもつ社会資源についてまとめる			
	第 5 回	内容	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	予習	保育の専門性についてまとめてくる			
				復習	保育の専門性を活かす支援の意義をまとめる			
	第 6 回	内容	妊娠期からの切れ目ない支援とは	予習	昨今の妊娠・出産に関連する記事を見つけてくる			
				復習	妊娠出産を取り巻く現状についてまとめる			
	第 7 回	内容	保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	予習	地域子育て支援のガイドラインを読んでくる			
				復習	子育て家庭の自立支援についてまとめる			
	第 8 回	内容	保育士に求められる基本的態度	予習	バーステックの 7 原則について自分なりにまとめておく			
				復習	アセスメントのポイントについてまとめる			
	第 9 回	内容	家庭の状況に応じた支援	予習	外国籍家庭等のもつ課題について調べる			
				復習	外国籍家庭等への支援についてまとめる			
	第 10 回	内容	地域資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	予習	子ども家庭を取りまく地域資源について調べる			
				復習	関係機関との連携のポイントについてまとめる			
	第 11 回	内容	保育所等を利用する子ども家庭への支援	予習	保育所でおこなわれている支援について調べる			
				復習	保育者における具体的支援についてまとめる			
	第 12 回	内容	地域子育て家庭への支援	予習	自分の居住する街の地域子育て支援を調べる			
				復習	地域子育て支援における保育士の役割についてまとめる			
	第 13 回	内容	要保護児童及びその家庭に対する支援	予習	昨今の虐待に関する記事を調べてくる			
				復習	虐待発見時の対応、関係機関との連携についてまとめる			
	第 14 回	内容	特別なニーズを要する子どもとその家族への支援	予習	「特別なニーズ」の詳細について調べる			
				復習	保護者の障害受容についてまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	これまで学んできたことをレポートに記述する			
				復習	新たに獲得した知見をレポートに記述し提出			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	講義の始めに予習内容について意見交換する。講義毎の復習レポート（レスポンスシート）を添削する						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60％）、授業態度（40％）						
	教科書	「子ども家庭支援論」 公益財団法人児童協会 監修 松原康雄他 2 名 編集 中央法規						
参考文献	講義内で、随時提示します							
注意事項	子ども家庭支援における専門性となる「対話力」の養成を強化するため、ワークへの積極的参加を求めます。							

科 目 名	社会的養護 I		単 位 数	2	実務経験	担当教員	しのはら あみ 志濃 原 亜美
ナソバ・リンク・コート*	SWS12103		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	社会福祉、児童家庭福祉の中の社会的養護の位置を理解し、特に施設における日常生活援助、施設における専門職について学びを深める。また、施設保育士の専門性と特別な配慮を要する子どもや家庭への援助について学び、さらに施設の中で行われるリービングケア、アフターケアなどの現状についても学習する。						
到 達 目 標	1. 施設養護の体系や援助過程について理解できている 2. レジデンシャル・ソーシャルワークの視点から施設保育士の専門性、特別な配慮を要する子どもへの援助や保護者への相談の在り方など理解できている 3. 子どもの権利擁護について理解し、実践で役立てることができている。						
学位授与方針	幼児教育学科（2， 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する		
	第2回	内容	社会的養護の理念と意義	予習	社会的養護の理念のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会的養護の理念や意義についてのおおまかな理解をする。		
	第3回	内容	子どもの権利と社会的養護	予習	子どもの権利のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	子どもの権利の具体的な内容を理解する		
	第4回	内容	保育士の倫理・責務	予習	倫理・責務についてのプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	保育士の職務上の意倫理や責務について理解する		
	第5回	内容	社会的養護の制度と実施体系①（施設養護の制度）	予習	社会的養護の制度のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	施設養護の制度を理解する		
	第6回	内容	社会的養護の制度と実施体系②（移設養護の実施体系）	予習	社会的養護の実施体系のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	社会的養護の実施体系を理解する		
	第7回	内容	V T R（ぶどうの木・・・里親に関する内容）課題感想文	予習	今まで習った社会的養護の学びを概観する		
				復習	課題：感想文を書く		
	第8回	内容	施設養護にかかわる専門職士	予習	施設養護の専門職のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	施設養護の専門職について理解する		
	第9回	内容	施設養護の実際①（アドミッションケアとインケア）	予習	施設養護の実際のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	それぞれの用語について理解を深める		
	第10回	内容	施設養護の実際②（リービングケアとアフターインケア）	予習	施設養護の実際のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	それぞれの用語について理解を深める		
	第11回	内容	子育て困難家庭の実際と支援	予習	子育て困難家庭と支援についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	子育て困難家庭について知り、その支援を理解する		
	第12回	内容	DV ケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（DV ケース）	予習	DV の種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる		
				復習	DV の種類や法制度を理解する		
	第13回	内容	DV ケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（児童虐待ケース）	予習	児童虐待ケースについての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童虐待へのソーシャルワークについてまとめる		
	第14回	内容	小テスト、V T R（施設に関するもの）	予習	小テストに向けての学習		
				復習	小テストで出題された個所の確認		
	第15回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	V T Rの感想文を書く		
				復習	社会的養護の枠組みをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							

課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 55%）、レポート・課題（ 35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）
教科書	『よりそい支える社会的養護』（監修中山正雄/編著浦雅夫、教育情報出版）
参考文献	適宜紹介する
注意事項	特別なケアを要する子どもについての書籍等を積極的に読むこと

科 目 名	社会的養護Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	しのはら あみ 志濃 原 亜美	
ナンバリングコード	SWS12201			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	施設養護や里親など社会的養護の実際について学び、社会的養護における児童の権利擁護や保育士等社会福祉施設従事者の倫理について、また、ソーシャルワークの技術など専門的技術などを体系的に理解する。 さらに、個々に応じた支援計画の作成、記録の書き方、自己評価についても具体的に学ぶ。								
到 達 目 標	1. 今まで学んできた社会福祉関連の知識や施設実習で学んだ施設の実態などを話し合いや発表等の方法で表現できる。 2. 自ら考え、発表し、問題意識を持つことで、社会的養護に関わる人や施設利用者について総合的に考える力を身につけている。 3. 施設養護の体系や援助過程について理解できている								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの確認				
				復習	講義概要を理解する				
	第 2 回	内容	施設実習を振り返って	予習	施設実習の振り返りをする				
				復習	実習と授業を結びつける				
	第 3 回	内容	障がいを持つ人の生活実態（VTR）	予習	各種別の施設についての復習をする				
				復習	感想文を書く				
	第 4 回	内容	障がいを持つ人の生活実態のビデオ内容についてグループ討議	予習	感想文を振り返る				
				復習	グループ討議を振り返る				
	第 5 回	内容	グループ決め、およびディスカッション	予習	施設の種別を振り返る				
				復習	ディスカッションの内容をまとめる				
	第 6 回	内容	テーマ設定	予習	テーマ設定の材料の準備をする				
				復習	テーマの吟味をする				
	第 7 回	内容	グループレポート作成	予習	レポートの下書きをする				
				復習	レポートの清書をする				
	第 8 回	内容	グループ活動①（調査）	予習	テーマに応じた調査を開始する				
				復習	テーマに応じた調査を継続する				
	第 9 回	内容	グループ活動②（調査・制作）	予習	テーマに応じた調査の継続と制作の準備をする				
				復習	制作の準備をする				
	第 10 回	内容	中間報告	予習	中間報告の準備をする				
				復習	中間報告を踏まえた最終制作に取り掛かる				
	第 11 回	内容	グループ発表③（制作）	予習	制作の準備を進める				
				復習	最終確認				
	第 12 回	内容	発表レジメ提出	予習	発表レジメの下書きをする				
				復習	発表レジメの清書をする				
	第 13 回	内容	発表準備、確認、動画作成	予習	発表準備、及び動画の作成準備をする				
				復習	最終確認をする				
	第 14 回	内容	グループ発表①	予習	発表準備をする				
				復習	まとめをする				
	第 15 回	内容	グループ発表②、まとめ	予習	発表準備をする				
				復習	まとめをする				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出物の返却、発表の講評などによるフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（50%）、授業態度（20%）							
教科書	『社会的養護Ⅰ・Ⅱ』（谷口純世他編、光生館）								
参考文献	『保育福祉小六法 2020 年版』（保育福祉小六法編集委員会著、みらい）								
注意事項	演習を中心とする。普段から児童問題に関心を持ち、主体的に授業に参加すること。								

科 目 名	社会的養護Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	せき ゆいこ 関 維子	
ナンバリングコード	SWS12201			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	社会的養護Ⅰ及び実習での学びをふまえ、社会的養護の基礎となる理念や基本原理、実践について体系的に理解する。また、社会的養護を必要とする子ども一人ひとりのニーズや課題の評価と計画、日常生活や自立に向けた支援とモニタリングの実践について学ぶ。さらに、子どもの権利と保育士の専門職倫理について理解する。								
到 達 目 標	1. 社会的養護の基礎的な内容について説明できる。 2. 施設養護及び家庭養護における支援の実際と保育者の役割について理解している。 3. 社会的養護におけるアセスメントと支援計画・記録・評価の実際について理解し、説明できる。 4. 社会的養護にかかわる相談援助と家庭支援について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 3,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読む。				
			社会的養護の理念と定義、社会的養護の現状	復習	社会的養護の基本原理についてまとめる。				
	第2回	内容	社会的養護の動向と法制度	予習	社会的養護に関する新聞記事を調べる。				
				復習	新しい社会的養育ビジョンについてまとめる。				
	第3回	内容	子どもの権利と社会的養護、子どもの権利を守る仕組み （グループディスカッションと発表）	予習	「児童の権利に関する条約」を読む。				
				復習	子どもの権利擁護についてまとめる。				
	第4回	内容	保育士の倫理・責務（グループディスカッションと発表）	予習	「全国保育士会倫理綱領」を読む。				
				復習	「子どもの最善の利益」についてまとめる。				
	第5回	内容	社会的養護の実施体系①施設養護	予習	児童福祉施設について調べる。				
				復習	施設の形態と家庭の養護についてまとめる。				
	第6回	内容	社会的養護の実施体系②家庭養護	予習	家庭養護の形態について調べる。				
				復習	パーマネンシープランニングについてまとめる。				
	第7回	内容	施設養護における支援①アドミッションケアとインケア	予習	児童相談における「養護相談」について調べる。				
				復習	治療的支援についてまとめる。				
	第8回	内容	施設養護における支援②リビング・ケアとアフター・ケア	予習	児童養護施設における子どもの進学率を調べる。				
				復習	社会的養護自立支援事業についてまとめる。				
	第9回	内容	社会的養護にかかわる相談支援	予習	地域における相談機関について調べる。				
				復習	保護者支援プログラムについてまとめる。				
	第10回	内容	子どもと家庭を支える社会資源と多職種連携	予習	居住地域の社会資源について調べる。				
				復習	保育士が連携する専門職についてまとめる。				
	第11回	内容	社会的養護実践における記録	予習	ジェノグラム、エコマップについて調べる。				
				復習	ワークシート（記録）をまとめる。				
	第12回	内容	社会的養護実践におけるケースマネジメント①アセスメント （グループディスカッションと発表）	予習	PDCA サイクルについて調べる。				
				復習	ワークシート（アセスメント）をまとめる。				
	第13回	内容	社会的養護におけるケースマネジメント②支援計画と内容 （グループディスカッションと発表）	予習	支援計画の種類について調べる。				
				復習	ワークシート（支援計画）をまとめる。				
	第14回	内容	社会的養護関係施設における評価制度	予習	児童福祉施設に関する施設運営指針を読む。				
				復習	第三者評価についてまとめる。				
	第15回	内容	社会的養護における保育の課題と展望（グループディスカッションと発表）	予習	グループ発表の内容をまとめる。				
				復習	各グループの発表内容についてまとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	レポートについては、コメントを付して返却する。 発表については、発表後に講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40％）、作品・発表（20％）、授業態度（40％）							
教科書	なし								
参考文献	授業内で適宜、紹介する。								
注意事項	子どもと家庭を取り巻く環境や社会資源について関心を持ち、授業やグループでの協働的な学びに積極的に参加すること。								

科 目 名	保育者論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナンバリングコード	EDU12104		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	幼稚園教諭や保育士を目指す学生が実習前に最低限知っておくべき、幼稚園や保育所の役割や違い、また年齢による子どもたちの特徴や違いなどについて学ぶことを目的とする。また、保育者を目指すにあたっての態度形成や、保育者が担っている役割の範囲や負っている限界など、さらにその克服という問題について考えながら、自分なりの保育観や教育観を形成していくことを目的とする。							
到 達 目 標	1. 幼稚園や保育所の役割や違いについて理解している 2. 3歳・4歳・5歳についての特徴や違いを理解している 3. 保育者という仕事に対して要求される態度等について理解している 4. 「教師」という言葉につきまとう価値観について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	保育者を目指す目的について確認する			
				復習	もう一度自分の資質について見つめ直してみる			
	第2回	内容	幼稚園実習の様子を知る（1）	予習	実習に向けての心構えについてまとめる			
				復習	自分の弱点や克服すべき点についてまとめる			
	第3回	内容	幼稚園実習の様子を知る（2）	予習	前期・後期実習の違いを調べまとめておく			
				復習	前期・後期実習で何を学ぶかを明確にしておく			
	第4回	内容	幼稚園と保育所の違いについて学ぶ	予習	幼稚園や保育所の違いについて調べる			
				復習	理解した内容をまとめる			
	第5回	内容	幼稚園教諭の役割と仕事について学ぶ	予習	幼稚園について詳しく調べてみる			
				復習	学んだ内容についてまとめる			
	第6回	内容	保育所の役割と仕事について学ぶ	予習	保育所について詳しく調べてみる			
				復習	学んだ内容についてまとめる			
	第7回	内容	保育者という仕事の実態について学ぶ	予習	保育者の役割について詳しく調べる			
				復習	理解した内容をまとめる			
	第8回	内容	保育の安全について学ぶ	予習	保育上の安全について調べる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第9回	内容	保育の事故防止について学ぶ	予習	事故防止について詳しく調べる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第10回	内容	3歳児の特徴について学ぶ	予習	3歳児の特徴をいろいろな面から調べてみる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第11回	内容	4歳児の特徴について学ぶ	予習	4歳児の特徴をいろいろな面から調べてみる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第12回	内容	5歳児の特徴について学ぶ	予習	5歳児の特徴をいろいろな面から調べてみる			
				復習	理解した内容をまとめておく			
	第13回	内容	日本の教職の特質について学ぶ	予習	「教師」についてのイメージについて調べる			
				復習	学んだ内容をまとめる			
	第14回	内容	子どものしつけをめぐる問題を学ぶ	予習	しつけについて調べる			
				復習	学んだ内容をまとめる			
	第15回	内容	まとめ	予習	調べたこと学んだこと理解したことをまとめる			
				復習	自分の見解を発展させる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	小エッセイや小レポートに対してコメントを行い、予習・復習における留意点について示唆する						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50％）、レポート・課題（25％）、授業態度（25％）						
教科書	『小学校教員の常識67』（村越 晃[編]、一藝社）							
参考文献	授業中に適宜、プリント等を配布し、紹介する							
注意事項	主体的にいろいろなことに興味関心をもって調べ、積極的に授業に臨み、文章の読み書きに慣れてほしい。							

科 目 名	保育の心理学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおくま みかこ 大 熊 美佳子	
ナソバ・リング・コート®	EDP12101		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	子どもの心身の発達について、代表的な理論を踏まえ、発達の概念を理解し、具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように、学びを深めていくことを目的とします。							
到 達 目 標	1. 保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している 2. 子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている 3. 子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	子どもの発達の理解	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	子どもの発達の理解についてまとめる			
	第 2 回	内容	子どもの発達と環境	予習	遺伝と環境の影響について考えてくる			
				復習	発達に関わる遺伝と環境の考え方をまとめる			
	第 3 回	内容	発達観・子ども観と保育観	予習	自分自身の子ども観、保育観をまとめてくる			
				復習	発達に関する考え方の変遷をまとめる			
	第 4 回	内容	身体的機能と運動機能の発達	予習	乳幼児の身体・運動機能の発達について調べてくる			
				復習	乳幼児の身体・運動機能の発達について学んだことをまとめる			
	第 5 回	内容	社会情動的発達① (感情・情動の発達)	予習	感情・情動の発達について調べる			
				復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する			
	第 6 回	内容	社会情動的発達② (アタッチメント理論)	予習	アタッチメント理論について調べる			
				復習	アタッチメント理論について整理する			
	第 7 回	内容	社会情動的発達② (他者理解の発達)	予習	乳幼児の他者理解について調べる			
				復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する			
	第 8 回	内容	パーソナリティの発達	予習	フロイト・エリクソンについて調べる			
				復習	両者の理論を年齢ごとに整理する			
	第 9 回	内容	認知発達① (ピアジェの認知発達理論)	予習	ピアジェについて調べる			
				復習	ピアジェの認知発達理論を整理する			
	第 10 回	内容	認知発達② (ヴィゴツキーの認知発達理論)	予習	ヴィゴツキーについて調べる			
				復習	ヴィゴツキーの認知発達理論を整理する			
	第 11 回	内容	学習理論① (学習とは何か)	予習	心理学における学習の意味について調べる			
				復習	学習・条件づけについてまとめる			
	第 12 回	内容	学習理論② (社会的学習理論について)	予習	社会的学習理論とは何かについて調べる			
				復習	現場への応用の仕方について考える			
	第 13 回	内容	子どものやる気① (動機づけ理論について)	予習	子どものやる気について考える			
				復習	動機づけ理論についてまとめる			
	第 14 回	内容	子どものやる気② (褒めること・叱ること)	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える			
				復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる			
	第 15 回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える			
				復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内で小テストを実施し、テスト後、解説を行います。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度（20%）						
教科書	特になし							
参考文献	講義の中で適宜紹介します							
注意事項								

科 目 名	保育の心理学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	よしだ えり 吉田 恵理	
ナンバリングコード	EDP12101		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	子どもの心身の発達について代表的な理論を踏まえ、発達概念を理解するとともに具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように学びを深めていくことを目的とします。							
到 達 目 標	1. 保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している。 2. 子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている。 3. 子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 4, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・発達とは何か（遺伝と環境）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	発達の過程①（胎児期・新生児期）	予習	胎児期・新生児期の発達について調べる			
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる			
	第 3 回	内容	発達の過程②（乳児期・タドラー期）	予習	乳児期・タドラー期の発達について調べる			
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる			
	第 4 回	内容	発達の過程③（幼児期）	予習	幼児期の発達について調べる			
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる			
	第 5 回	内容	発達の過程④（児童期・思春期）	予習	児童期・思春期の発達について調べる			
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる			
	第 6 回	内容	発達の過程⑤（青年期・成人期・老年期）	予習	青年期から老年期までの発達について調べる			
				復習	生涯発達について理解したことをまとめる			
	第 7 回	内容	認知発達（ピアジェ・ヴィゴツキーの認知発達理論）	予習	ピアジェ・ヴィゴツキーについて調べる			
				復習	認知発達を年齢ごとに整理する			
	第 8 回	内容	人間関係の発達（アタッチメント理論と対人関係）	予習	アタッチメント理論について調べる			
				復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する			
	第 9 回	内容	感情・情動の発達	予習	感情・情動の発達について調べる			
				復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する			
	第 10 回	内容	パーソナリティの発達（フロイト・エリクソンの発達理論）	予習	フロイト・エリクソンについて調べる			
				復習	両者の理論を年齢ごとに整理する			
	第 11 回	内容	学習理論①（学習とは何か）	予習	心理学における学習の意味について調べる			
				復習	学習・条件づけについてまとめる			
	第 12 回	内容	学習理論②（社会的学習理論について）	予習	社会的学習理論とは何かについて調べる			
				復習	現場への応用の仕方について考える			
	第 13 回	内容	子どものやる気①（動機づけ理論について）	予習	子どものやる気について考える			
				復習	動機づけ理論についてまとめる			
	第 14 回	内容	子どものやる気②（褒めること・叱ること）	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える			
				復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる			
	第 15 回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える			
				復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	リアクションペーパーは次回授業時にフィードバックを行います。試験前後は解答を示し、解説と総まとめを行います。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60％）、レポート・課題（20％）、授業態度（20％）						
	教科書	なし						
	参考文献	講義の中で適宜紹介します。						
	注意事項	毎回授業中および授業終了後にリアクションペーパーの記入・提出を求め、評価に含めるものとします。						

科 目 名	子ども家庭支援の心理学	単 位 数	2	実務経験	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナパ・リングコート	EDP12102	授業形態	講義			
授 業 の 内 容	生涯発達心理学をベースにして、保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障害、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学んでいく。					
到 達 目 標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し初期経験の重要性、発達課題について理解している。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ② ⑤ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第1回	内容	発達心理学の概要をつかむ	予習	教科書の相当箇所を事前に読むこと	
				復習		
	第2回	内容	生涯発達とは何か	予習	教科書の生涯発達の箇所を事前に読むこと	
				復習	ライフサイクルとライフコースを整理する	
	第3回	内容	主要な発達理論の紹介	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと	
				復習	発達理論について整理してまとめる	
	第4回	内容	乳幼児期の発達	予習	教科書の幼児期の箇所を事前に読むこと	
				復習	未就学児の特徴をまとめる	
	第5回	内容	学童期前期にかけての発達	予習	教科書の学童期の箇所を事前に読むこと	
				復習	学童期の子どもの特徴をまとめる	
	第6回	内容	学童期後期から青年期にかけての発達	予習	教科書の青年期の箇所を事前に読むこと	
				復習	青年期の特徴をまとめる	
	第7回	内容	小テスト（1～6） 青年期の精神世界を見る	予習	1～6 回目の復習。	
				復習	テストの間違ったところを再学習する	
	第8回	内容	成人期における発達	予習	教科書の成人期の箇所を事前に読むこと	
				復習	成人期の特徴をまとめる	
	第9回	内容	老年期における発達	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと	
				復習	老年期の特徴をまとめる	
	第10回	内容	子育てを取り巻く社会的状況	予習	教科書の子育て環境の箇所を事前に読むこと	
				復習	現代の子育て環境について考える	
	第11回	内容	家族・家庭の意義、機能と親子関係・家族関係の理解	予習	教科書の家族の箇所を事前に読むこと	
				復習	家族機能について考える	
	第12回	内容	子育ての経験と親としての育ち、ライフコースと仕事・子育て	予習	教科書の子育ての箇所を事前に読むこと	
				復習	親の成長を考える	
	第13回	内容	多様な家庭形態とその理解 特別な配慮を要する家庭	予習	教科書の多様な家庭の箇所を事前に読むこと	
				復習	多様性について考える	
	第14回	内容	子どもの精神保健	予習	教科書の精神保健の箇所を事前に読むこと	
				復習	子どもの精神保健について整理する	
	第15回	内容	小テスト（7～14） 振り返り	予習	7～11 回目の復習。テスト勉強をする	
				復習	テストの間違ったところを再学習する	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	小テストの後に、答え合わせと解説を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 100%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）					
教科書	『子ども家庭支援の心理学』（青木喜久代編、みらい）					
参考文献						
注意事項						

科 目 名	子どもの理解と援助		単 位 数	1	実務経験	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナンバリングコード	EDP12201		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	幼児期の子どもの発達、遊び、生活の特徴と幼稚園教諭、保育者としての対応方法、保護者に対する支援・指導について事例を通してながら既習の知識や実習を通して得た経験を元に考える。							
到 達 目 標	1. 子どもの心身の発達と保育実践について理解を深め、現場で応用することができる。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解し、その過程で生じるつまずきなどに対応することができる。 3. 保育における観察力や評価方法を身につけて発達支援について自ら考えることができる。 4. 保護者や他の保育者とコミュニケーションをとりながら発達援助を行うことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（①②③④⑤）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション：幼児理解の意義	予習	既習の保育学・発達心理学の内容について確認			
				復習	振り返りの記録をつける			
	第2回	内容	子ども理解における発達の把握 集団討論	予習	事例1のプリントを読んで考えておく。			
				復習	振り返りの記録をつける。			
	第3回	内容	環境としての保育者と子どもの発達 子供に対するかわわりと共感的理解 集団討論	予習	事例2のプリントを読んで考えておく。			
				復習	共感的理解について整理する。			
	第4回	内容	子ども相互の関わりと関係作り 集団討論	予習	事例3のプリントを読んで考えておく。			
				復習	子どもの人間関係について整理しておく。			
	第5回	内容	アクティビティⅠ (様々なコミュニケーションと保育者の態度)	予習	コミュニケーションとは何かを考えておく。			
				復習	非言語コミュニケーションについて整理しておく			
	第6回	内容	自己主張と自己統制 葛藤やつまずき 集団討論	予習	事例4のプリントを読んで考えておく。			
				復習	子どもの葛藤場面をあげて対応を整理する。			
	第7回	内容	集団における経験と育ち：社会性の情緒発達 集団討論	予習	事例5のプリントを読んで考えておく。			
				復習	情緒発達と社会性との関係を整理しておく。			
	第8回	内容	子どもの生活や遊び そこからの学び 集団討論	予習	事例6のプリントを読んで考えておく。			
				復習	遊びと学びの関係を整理しておく。			
	第9回	内容	アクティビティⅡ （討論力を高める）	予習	配付する資料を事前に確認しておく。			
				復習	振り返りの記録をつける			
	第10回	内容	子ども理解のための観察・記録と省察・評価	予習	アセスメントについて調べる。			
				復習	実習での事例をふまえて省察しておく。			
	第11回	内容	子ども理解のための職員間の対話 集団討論	予習	事例7のプリントを読んで考えておく。			
				復習	職員間のコミュニケーションについて考えておく。			
	第12回	内容	発達の課題に応じた援助や関わり：子どもの個人差に配慮した保育 集団討論	予習	事例8のプリントを読んで考えておく。			
				復習	個人差の配慮について整理しておく。			
	第13回	内容	アクティビティⅢ（保育者の協力する力を高める）	予習	配付する資料を事前に確認しておく。			
				復習	協働することについて振り返りの記録をつける。			
	第14回	内容	現代社会における子どもの発達と保育の課題：家族支援 保護者との情報共有	予習	事例9のプリントを読んで考えておく。			
				復習	家族支援について整理しておく。			
	第15回	内容	特別な配慮を要する子供の理解と援助 集団討論	予習	事例10のプリントを読んで考えておく。			
				復習	特別な配慮をする場面を整理しておく。			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業のなかで、その都度講評を行っていく。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 80%）、作品・発表（ 20%）、実技（ ）、授業態度（ ）						
教科書	使用しない							
参考文献	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領							
注意事項	その他、特別教材(2回分)として別途600円を授業中に集金します。 授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。							

科 目 名	子どもの保健			単 位 数	2	実務経験	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥 海 弘子
ナンバリングコード	AHS12101			授業形態	講義			
授 業 の 内 容	子どもの心身の健康、身体発育・発達を理解する。 子どもの病気と対応、感染予防、慢性疾患、病児保育、母子保健、虐待、他職種との連携など組織としての健康支援を学び、保育者として必要な基礎知識を習得する。 様々なケースを DVD・動画・写真・スライドなどで紹介する。							
到 達 目 標	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解している。 2. 子どもの身体発育・発達と保健について理解している。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解している。 4. 子どもの疾病とその予防及び他職種間の連携・協働のもとの適切な対応について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 (2.4.5.6)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 子どもの健康と保健	予習	教科書 P2～17 を読む			
				復習	今後の授業の進め方を確認し、自分自身の学習計画を立てる			
	第 2 回	内容	地域における保健活動と子どもの虐待防止	予習	虐待の事例を調べる			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 3 回	内容	子どもの発育と保健① 子どもの身体発育と運動機能の発達	予習	教科書 P23～32 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 4 回	内容	子どもの発育と保健① 生理機能の発達と生活習慣	予習	教科書 P32～36 を読み、演習問題を行う			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 5 回	内容	子どもの健康状態の観察と把握	予習	子どもの健康状態の観察ポイントを考えよう			
				復習	子ども健康状態を部位別にノートにまとめる			
	第 6 回	内容	身体計測と評価及び健康診断	予習	教科書 P45～58 を読み、演習問題を行う			
				復習	自分自身の母子健康手帳を確認してみよう			
	第 7 回	内容	母子健康手帳と健康診査	予習	配布プリントを読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 8 回	内容	子どもの病気① 一般的にみられる症状と感染経路	予習	教科書 P59～63・65・66 を読む			
				復習	感染経路を図式化してみよう			
	第 9 回	内容	子どもの病気② 感染症の予防及び適切な対応	予習	今まで自分自身が罹った感染症をあげてみよう			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 10 回	内容	子どもの病気③ 予防接種	予習	自分自身の予防接種を確認する			
				復習	自分自身の予防接種の未接種への対応を検討する			
	第 11 回	内容	子どもの病気④ アレルギー疾患の特徴と適切な対応	予習	子どものアレルギーの事例を調べる			
				復習	アレルギー食品をあげてみよう			
	第 12 回	内容	子どもの病気⑤ 慢性疾患の特徴と適切な対応	予習	「慢性疾患とは」を調べてみよう			
				復習	保育所等の慢性疾患の事例をまとめる			
	第 13 回	内容	子どもの病気⑥ 精神疾患の特徴と適切な対応	予習	教科書 P88～102 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 14 回	内容	保護者との情報共有と家族の支援	予習	配布プリントを読む			
				復習	保育所等の家族支援事例をまとめる			
	第 15 回	内容	子どもの保健 総理解	予習	「保育者としての子どもの保健とは」を考察する（800字）提出 15回授業開始時提出			
				復習	1 回からの内容を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね 80 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね100分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（80％）、レポート・課題（10％）、授業態度（10％）							
教科書	『子どもの保健 健康と安全』 岩田 カ・細井 香 光生館							
参考文献	『保育所保育指針平成29年告示』厚生労働省 フレーベル館							
注意事項	配布プリントは1冊にファイリングする。（毎回の授業に持参すること）							

科 目 名	子どもの食と栄養		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ひらやま もとこ ほり みち 平 山 素子・堀 美稚
ナンバリングコード	EAH12101		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から学齢期の発育発達と栄養・食事との関係を理解する。子ども一人ひとりの心理状態や食事の摂取状況を観察し、適切な食事の提供と介助、さらには食生活のあり方について援助できる力を身につけることを目的とする。						
到 達 目 標	1. 子どもの発育・発達と食生活・栄養について理解している 2. 月年齢に見合った適切な食事提供と介助を行う力を身につけている 3. 自分自身の望ましい食生活の構築に取り組んでいる						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、調理室の使い方	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	子どもの発育・発達と栄養	予習	発育と発達の違いを調べる		
				復習	発育発達と栄養の関わりについてまとめる		
	第3回	内容	授乳期の栄養① 母乳栄養	予習	母乳栄養について調べる		
				復習	母乳栄養の利点と注意点をまとめる		
	第4回	内容	授乳期の栄養② 人工栄養	予習	人工栄養について調べる		
				復習	人工栄養の利点と注意点についてまとめる		
	第5回	内容	調理実習・・・授乳期①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第6回	内容	調理実習・・・授乳期②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	人工栄養と母乳についてレポートを作成する		
	第7回	内容	離乳の必要性について	予習	どうして離乳が必要なのかを考える		
				復習	離乳食導入方法とサポート方法をまとめる		
	第8回	内容	離乳期の栄養①（5,6 か月頃）	予習	教科書の「5,6 か月頃の離乳食」部分を読む		
				復習	「5,6 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第9回	内容	離乳期の栄養②（7,8 か月頃）	予習	教科書の「7,8 か月頃の離乳食」部分を読む		
				復習	「7,8 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第10回	内容	食物アレルギーについて	予習	食物アレルギーの原因となる食物を調べる		
				復習	事故防止、サポート方法をまとめる		
	第11回	内容	調理実習・・・離乳期①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第12回	内容	調理実習・・・離乳期②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食(5,6/7,8 か月)についてレポート作成		
	第13回	内容	離乳期の栄養③（9~11 か月頃）	予習	教科書の「9~11 か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「9~11 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第14回	内容	離乳期の栄養④（12~18 か月頃）	予習	教科書の「12~18 か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「12~18 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第15回	内容	調理実習・・・離乳期③（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第16回	内容	調理実習・・・離乳期④（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食(9~11/12~18 か月)のレポート作成		
	第17回	内容	保育現場における食事を考える	予習	保育現場で食事等を提供する機会を考える		
				復習	食事等の提供時の課題と解決法をまとめる		
	第18回	内容	幼児期の栄養①成長と食事・栄養について	予習	幼児期の食事について具体的に考えてみる		
				復習	幼児期の食事の特徴をまとめる		
	第19回	内容	幼児期の栄養②保育士・保護者の悩みを通して考える	予習	幼児期の食の問題について調べる		
				復習	幼児期の食の課題と解決方法をまとめる		
	第20回	内容	児童福祉施設の食事と栄養	予習	教科書の「児童福祉施設の食事」を読む		
				復習	児童福祉施設毎の食の特徴をまとめる		

	第 21 回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく
				復習	調理手順を理解する
	第 22 回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	幼児食、お弁当についてレポートを作成する
	第 23 回	内容	障がい児の食事と栄養	予習	教科書の「障害のある子どもの食事」を読む
				復習	障がいのある子どもの食の課題をまとめる
	第 24 回	内容	体調不良時の食事と栄養	予習	子どもの体調不良について調べる
				復習	体調に合わせた食事の摂り方をまとめる
	第 25 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく
				復習	調理手順を理解する
	第 26 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	行事と調理保育についてレポートを作成する
	第 27 回	内容	学童期の食事と栄養	予習	幼保卒園後の食の問題について考える
				復習	学童期の食とサポート方法をまとめる
	第 28 回	内容	妊娠・授乳期の食事と栄養	予習	妊娠・授乳期に生じる食の問題を考える
				復習	妊娠・授乳期の食とサポート方法をまとめる
	第 29 回	内容	食事のマナー・箸の使い方等について	予習	幼児期に習得すべきマナーについて調べる
				復習	箸使いの習得方法とサポート方法をまとめる
	第 30 回	内容	食べることの意義と栄養・食品の知識	予習	子どもの食で大切なことは何かを考える
				復習	自分の食生活を振り返り、改善方法をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（6 0 %）、授業態度（4 0 %）				
教科書	『改訂 子どもの食と栄養』（岡崎光子 編、光生館）				
参考文献	『新版 子どもの食生活-栄養・食育・保育-』（上田玲子 編、ななみ書房）				
注意事項	授業を通して、自分自身の望ましい食生活の構築にも取り組んで欲しい。				

科 目 名	臨床心理学			単 位 数	2	実務経験	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナンバリングコード	CLP12201			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	臨床心理学は応用心理学の一つである。心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。 現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようと試みたり、心の問題に向き合おうとするとき、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、保育者自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. 臨床心理学の基礎的知識を習得できる。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につける。 3. 学んだ知識を使って、子どもや保護者の心の問題理解と支援に役立てられる。								
学位授与方針	幼児教育学科（①⑤⑦） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	臨床心理学についての概要	予習	現代社会のこころの問題を考えてみる				
			現代社会のこころの問題を考えてみる	復習	現代社会のこころの問題を振り返る				
	第 2 回	内容	精神障害①	予習	抑うつ障害について調べる				
			抑うつ障害	復習	抑うつ障害について確認する				
	第 3 回	内容	精神障害②	予習	不安障害について調べる				
			不安障害	復習	不安障害について確認する				
	第 4 回	内容	精神障害③	予習	統合失調症について調べる				
			統合失調症	復習	統合失調症について確認する				
	第 5 回	内容	精神障害④	予習	PTSD について調べる				
			心的外傷後ストレス障害	復習	PTSD について確認する				
	第 6 回	内容	発達臨床心理学について	予習	既習の発達心理学の内容を確認する				
			発達初期のこころの問題について考えてみる	復習	既習の発達心理学の内容について確認する				
	第 7 回	内容	発達障害①	予習	知的障害について調べる				
			知的障害・自閉症スペクトラム	復習	知的障害について確認する				
	第 8 回	内容	発達障害②	予習	ADHD, LD について調べる				
			ADHD・LD	復習	ADHD, LD について確認する				
	第 9 回	内容	確認小テスト	予習	ここまでの内容について試験勉強する				
			フィードバック	復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する				
	第 10 回	内容	臨床心理学の理論と方法①	予習	精神分析について調べる				
			精神分析	復習	精神分析について確認する				
	第 11 回	内容	臨床心理学の理論と方法②	予習	ロジャースについて調べる				
			人間性心理学	復習	ロジャースの理論について確認する				
	第 12 回	内容	心理アセスメント	予習	心理テストについて調べる				
			知能テスト、パーソナリティテスト、質問紙法と投影法について	復習	心理アセスメントについて確認する				
	第 13 回	内容	身近なこころの問題	予習	身近な心の問題について考える				
				復習	授業で学んだことと照らし合わせ確認する				
	第 14 回	内容	確認小テスト	予習	ここまでの内容について試験勉強する				
			フィードバック	復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する				
	第 15 回	内容	現代社会と臨床心理学	予習	サブカルチャーと精神性について調べる				
			サブカルチャーの中にみられる臨床心理学的問題から考えてみる	復習	自分の考えをまとめてみる				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	2 回の小テストを実施し、その後に行う。 レポートについては意見レポートなのでずれていない限りは合格とし、不合格のものには個別に対応する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（100%）、レポート・課題（ ）%、作品・発表（ ）%、実技（ ）%、授業態度（ ）%							
教科書									
参考文献	『絶対役立つ臨床心理学 カウンセラーを目指さないあなたにも』（藤田哲也監修、ミネルヴァ書房）『書名』								
注意事項	授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。								

科 目 名	心理学特講		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおくま みかこ 大 熊 美佳子
ナバリングコード	EDP12202		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	心理学は、人間の心のメカニズムや行動を科学的に研究していく学問です。本講義では、自分自身の心の仕組みを探り、自己理解を深めるとともに、人間理解の観点から、人間の心と行動について理解を深めるために必要な心理学の基礎知識を学び、日常生活にその知見を生かすことを目的とします。						
到 達 目 標	1. 心理学の基礎知識を身につけている 2. 人の心のメカニズムと行動について理解している 3. 自分自身の望ましいライフコース構築に取り組んでいる						
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス：心理学を学ぶということ	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	心理学を学ぶ意義をまとめる		
	第 2 回	内容	自分自身を知る	予習	自分自身の性格について考える		
				復習	自分自身について理解を深める		
	第 3 回	内容	女性のライフコースの心理学	予習	女性のライフコースをテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	自分自身のライフコースを考える		
	第 4 回	内容	親子関係の心理学	予習	親子関係をテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	親子関係について自分の考えをまとめる		
	第 5 回	内容	子育ての心理学	予習	子育てに関連する情報を調べる		
				復習	子育てについて自分の考えをまとめる		
	第 6 回	内容	自己決定理論から考える動機づけ	予習	動機づけについて調べる		
				復習	自己決定理論について学んだことをまとめる		
	第 7 回	内容	実行機能の発達	予習	実行機能について調べる		
				復習	実行機能の発達についてまとめる		
	第 8 回	内容	対人関係の心理学	予習	対人関係をテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	対人関係についてまとめる		
	第 9 回	内容	社会的ジレンマ	予習	社会的ジレンマの事例を調べる		
				復習	社会的ジレンマについて学んだことをまとめる		
	第 10 回	内容	記憶の発達	予習	記憶について調べる		
				復習	記憶の発達について学んだことをまとめる		
	第 11 回	内容	感情・情動の発達	予習	感情・情動の発達について調べる		
				復習	感情・情動の発達について学んだことをまとめる		
	第 12 回	内容	道徳性の発達	予習	道徳性をテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	道徳性の発達について学んだことをまとめる		
	第 13 回	内容	色彩と心理学	予習	自分に似合う色について考える		
				復習	色彩が及ぼす影響についてまとめる		
	第 14 回	内容	レジリエンスとマインドフルネス	予習	自分自身がストレスを感じる状況について考える		
				復習	心の健康を保つ方法についてまとめる		
	第 15 回	内容	まとめ：日常に生かす心理学	予習	授業を通して学んだことを整理する		
				復習	学んだ知見の活用についてまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度（40%）						
教科書	特になし						
参考文献	講義の中で適宜紹介します						
注意事項							

科 目 名	保育・教育課程論		単 位 数	1	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松 永 静子
ナハ°リンク°コート°	EDU12201		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	・幼稚園教育要領及び保育所保育指針 及び幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づき保育・教育課程の基本的な知識として理解を深める。 保育・教育課程、保育計画の意義及び編成の方法について知る。幼稚園や保育所(園)の保育内容など の保育の基本を理解した上で、保育実践における指導日案、細案などの立案の仕方を身につける。						
到 達 目 標	１．教育・保育課程の全体の計画、指導計画の意義について学び、教育課程・保育課程の編成及び指導計画の作成について目的などを理解している。 ２．保育の基本及び子どもの発達の過程・特徴について理解し、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解している。 ３．実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（２・３・４・７）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	9/17	第1講：保育課程とは オリエンテーション	予習	幼稚園教育要領 保育所保育指針を読む		
				復習	配布のレジュメをもとにポイントを確認する		
	第 2 回	9/24	第1 講・第2 講 保育所保育指針と幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領について	予習	要領・指針を読む		
				復習	共通している内容と違いを確認する。		
	第 3 回	10/1	第2 講：保育所保育指針と保育課程	予習	保育所保育指針総則を読む		
				復習	保育課程とは、ポイントを復習しておく		
	第 4 回	10/8	第2 講：幼稚園教育要領と教育課程	予習	幼稚園教育要領を読んでおく。		
				復習	教育課程のポイントを復習しておく		
	第 5 回	10/ 29	第3/4 講：教育・保育課程の編成方法と編成のポイント (発達過程の理解を確認し編成について学ぶ)	予習	子どもの発達を予習しておく		
				復習	編成のポイントを復習しておく		
	第 6 回	11/5	第5講：教育・保育課程の編成方法と編成のポイント (保育内容領域を理解し総合的な実践について学ぶ)	予習	保育内容 5 領域を読んでおく		
				復習	編成のポイントを復習しておく		
	第 7 回	11/ 26	第8講：認定こども園 教育・保育要領と全体的な計画	予習	認定こども園教育・保育要領を読んでおく		
				復習	全体的な計画について復習しておく		
	第 8 回	11/ 30 土	4クラス合同講義： 認定こども園の保育の実際を学ぶ	予習	第 8 講を読んでおく		
				復習	保育の実際で学んだことをミニレポートに書く。		
	第 9 回	12/3	第6講：教育・保育課程から保育指導計画、作成とそのポイント	予習	3 歳未満児の発達を予習しておく		
				復習	作成のポイントを復習する		
	第 10 回	12/ 10	実習に向けて指導計画の立案・作成（部分案）	予習	参考書から主活動をきめる（図書館に行く）		
				復習	指導案の原案を書いてみる（箇条書きで書く）		
	第 11 回	12/ 17	実習に向けて指導計画の立案・作成（部分案）	予習	考えた活動で指導案の流れを考えておく		
				復習	指導案を完成させる（次週提出）		
	第 12 回	12/ 24	計画と評価（PDCA サイクル）※指導案提出・期限厳守 保育実践の省察と評価（記録の方法）	予習	保育評価について調べる		
				復習	省察と評価のポイントを復習する		
	第 13 回	1/7	多様な指導計画の実際（3 歳未満児・個別の指導計画）	予習	多様な計画について調べておく		
				復習	それぞれの特徴を復習する		
	第 14 回	1/14	保育指導計画の実際（小学校との接続カリキュラム他）	予習	幼小連携とは 調べておく。		
				復習	接続期カリキュラムを復習する。		
	第 15 回	1/21	授業のまとめ（授業内レポート）教科書のみ持ち込み可	予習	全体を復習し、授業内レポートの資料を読む		
				復習	この授業全体の復習		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 時 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	保育計画の立案を学ぶため 予習を行い、準備をして授業に臨む。						
成績評価	試験期間における定期試験（指導案）：実施（ ）する／（○）しない ただし授業内レポート実施、指導案提出により評価する。 成績評価の方法：試験（指導案を期限までに提出 授業内レポート 併せて 70%）、ミニレポート（10%）、授業態度・リアクションペーパー（20%）※第 10 回の授業に参考書などを持参必須。必ず事前に図書館などで調べて必要な参考書を用意すること						
教科書	『教育課程・保育課程論』（監修公益財団法人 児童育成協会 編集 千葉武夫・那須信樹）中央法規						

科 目 名	保育・教育課程論	単 位 数	2	実務経験	担当教員	き た の さだと 喜多濃 定人
ナンバリングコード	EDU12201	授業形態	講義			
授 業 の 内 容	各園において展開される保育は、様々な専門知識・技術、さらに豊かな感性と誠実な人間性を備えた専門家によって行われる専門的な営みである。その専門性の1つである保育の計画について学び、自ら保育の計画を立て実践できるようになる事を目指し、将来保育者になった時に身に付けておいて欲しい基本的な事柄を学びます。					
到 達 目 標	1. 教育課程、保育の全体的な計画、指導計画の意義について学び、作成について目的を理解する。 2. 保育の基本及び計画に必要な子ども理解について学び、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解する。 3. 実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解する。					
学位授与方針	幼児教育学科（ ○ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション・認定こども園とは	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	認定こども園の取り組みを理解する	
	第2回	内容	幼児期の子どもの育つ社会背景の現状理解	予習	社旗背景がどの様に変化していったか考える	
				復習	プリントを読み直し現状を理解する	
	第3回	内容	教育課程・保育課程、指導計画とは	予習	実習等で作成した計画・指導案を見なおす	
				復習	教育・保育課程、指導案の仕組みを理解する	
	第4回	内容	計画に必要な子ども理解	予習	自身の子ども間について考えをまとめる	
				復習	プリントを見直し子ども観に関して理解を深める	
	第5回	内容	幼稚園における教育課程と指導計画	予習	教育課程、指導計画について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第6回	内容	保育所の全体的な計画と指導計画	予習	保育所の全体的な計画について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第7回	内容	認定こども園における教育・保育課程と指導計画	予習	教育・保育課程と指導計画について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第8回	内容	愛着形成（アタッチメント）	予習	自分なりにアタッチメントについて考える	
				復習	愛着形成についてのレポートを作成し提出する	
	第9回	内容	0歳児の指導計画	予習	0歳児の指導計画について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第10回	内容	1～2歳児の指導計画	予習	1～2歳児の指導計画について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第11回	内容	3～5歳児の指導計画	予習	3～5歳児の指導計画について調べる	
				復習	この時期の3～5歳児の指導案を作成する	
	第12回	内容	小学校へのつながり	予習	接続期について調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第13回	内容	行事・様々な保育方針と教育・保育課程	予習	様々な保育とはどのような保育があるのか調べる	
				復習	プリントを見直し理解を深める	
	第14回	内容	保育の質を高める計画と評価	予習	評価とは何なのか調べる	
				復習	自己・関係者・第三者評価の違いを理解する	
	第15回	内容	まとめ	予習	今までのプリントを見直す	
				復習	自分なりの保育観を持ち指導案を立てる	
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40％）、リアクションペーパー（30％）、授業への取り組み（30％）					
教科書						
参考文献	『新版 教育・保育課程論』（谷田貝・石橋 監 高橋・大沢 編、一藝社） 『保育課程・教育課程総論』（柴崎・戸田・増田 編 ミネルバ書房） その他授業内で紹介していきます。					
注意事項	授業を通して、望ましい保育内容を考える機会として行ってください。					

科 目 名	保 育 内 容 総 論		単 位 数	1	実務経験	担当教員	いしかわ のぶまさ 石 河 信 雅
ナソバ [®] リング [®] コード [®]	EDU12202		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	保育内容は「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」そして「養護」の領域があり、専門的にはそれぞれの領域を別々に学んでいる。しかし、保育実践（教育）の場面ではそれらが当然のごとく、遊びや・生活の中で一体的に進められるのである。ですから、保育内容総論は実際の保育場面で、各領域が統合して行われる実際を理解し、保育実践にいかに臨むかを事例に基づきながら学んでいく。						
到 達 目 標	1. 保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園に関する基本事項を理解している。 2. 子どもの発達と保育内容との関連について理解している。 3. 各領域と教育・保育内容について理解し、実際の保育現場での在り方を理解している。 4. 教育・保育の実際を総合的に理解し、今後の学びへの目標設定を見直すことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（３・４・５・７）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：保育内容総論の学びの意義について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第 2 回	内容	幼稚園教育要領を概観し、「論」と「実践」の在り方について。	予習	幼稚園教育要領を読んでおく		
				復習	本時の学びを教育要領との関連でまとめる		
	第 3 回	内容	保育所保育指針を概観し、「論」と「実践」の在り方について	予習	保育所保育指針を読んでおく		
				復習	本時の学びを保育士との関連でまとめる		
	第 4 回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を概観し、「論」と「実践」の在り方について	予習	教育・保育要領を読んでおく		
				復習	本時の学びをまとめる		
	第 5 回	内容	各年齢層の保育を遊びを通して学ぶ	予習	子どもと遊びについて調べる		
				復習	幼児期の遊びの重要性についてまとめる		
	第 6 回	内容	幼児期の人間関係をコミュニケーションに着目して学ぶ	予習	コミュニケーションとは何か調べる		
				復習	コミュニケーション能力についてまとめる		
	第 7 回	内容	絵本・素話をグループワークを通して学ぶ 1	予習	素話の作成について素案の資料収集をする		
				復習	作成過程の素話について反省的に振り返る		
	第 8 回	内容	絵本・素話をグループワークを通して学ぶ 2	予習	素話の作成について素案の資料収集をする		
				復習	作成過程の素話について反省的に振り返る		
	第 9 回	内容	絵本・素話をグループワークを通して学ぶ・学びの成果を発表する 3	予習	発表方法より良い方法について調べる		
				復習	作成した素話・発表について振り返る		
	第 10 回	内容	望ましい保育者像について	予習	目指すべき保育者像につて文献等で調べる		
				復習	自己を振り返りまとめる		
	第 11 回	内容	保育をめぐる最近の動向について	予習	保育をめぐる最近の動向について調べる		
				復習	最近の動向についてまとめる		
	第 12 回	内容	多様性を重視した保育について	予習	発達障害等について調べる		
				復習	発達障害等早期対応についてまとめる		
	第 13 回	内容	幼児の発達について	予習	幼児の発達について調べる		
				復習	幼児の発達についてまとめる		
	第 14 回	内容	保幼小の連携について	予習	保幼小の連携について調べておく		
				復習	保幼施用の連携について実践方法をまとめる		
	第 15 回	内容	これからの保育に求められるものについて	予習	これからの保育について調べる		
				復習	これからの保育について考えをまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	日々の講義の中で、レポート等を作成しそのレポートについて個々の学生にコメントをし、総合的な内容について講義中に説明を加えたりする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50％）、レポート・課題（20％）、作品・発表（10％）、実技（ ）％、授業態度（20％）						
教科書	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
参考文献	講義の中で適宜提示する						
注意事項	授業を通して、保育内容の総体をイメージし自分自身の中に、あるべき保育活動の構築に取り組んでほしい。						

科 目 名	乳 児 保 育 I		単 位 数	2	実務経験	担当 教員	まつなが しずこ 松 永 静子
ナソバ®リンク®コード®	CHS12101		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を学ぶ 乳児が家庭と保育園を24時間行き来している生活をとらえ、保育者としてどのような援助やかかわりが必要であるかを考え、乳児の保育を学ぶ 乳児が主体的に遊び、生活する保育とはどういうことであるのか、その意味を考え学ぶ。						
到 達 目 標	1. 乳児の育つみちすじを理解し、保育としてのかかわりや援助の具体的な方法・内容を理解している。 2. 乳児が主体的に遊び生活する意味を考え、保育ではどのようなことを大切にするかを理解している。 3. 乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくためにどのような保護者へのはたらきかけはあるかを理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	授業ガイダンス 乳児保育とは？ 乳児保育の変遷	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	今日のまとめをする		
	第2回	内容	家庭での乳児の生活を知る・子育て支援の現状と課題	予習	自分を育てた養育者に聞いてみる		
				復習	子育て支援に関する記事を探してみる。		
	第3回	内容	乳児保育の様々な場と保育園の一日を知る	予習	地域にある乳児保育の施設を探してみる		
				復習	今日のまとめをする		
	第4回	内容	発達と保育 0歳児前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第5回	内容	発達と保育 0歳児前半の生活と遊び 1	予習	生活の援助の実践を調べていく。		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第6回	内容	発達と保育 0歳児前半の生活と遊び 2	予習	遊びの実践を調べておく。		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第7回	内容	発達と保育 0歳児後半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第8回	内容	発達と保育 0歳児後半の生活と遊び 1	予習	生活の援助を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第9回	内容	発達と保育 0歳児後半の生活と遊び 2	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第10回	内容	0歳児の復習・ミニテスト	予習	0歳児前半後半で学んだことを振り返る。		
				復習	テストでできなかったことを復讐する。		
	第11回	内容	発達と保育 1歳児前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第12回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び 1	予習	生活の援助を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第13回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び 2	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第14回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び 3	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第15回	内容	1歳児の復習・ミニテスト	予習	1歳児前半後半で学んだことを振り返る		
				復習	テストでできなかったことを復讐する		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフ ィードバック	毎回リアクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない ※授業内で適時試験をする。 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 20 %）、作品・発表（10 %）、実技（ %）、授業態度（10 %）						
教科書	初回配布するテキストを使用する						
参考文献	『012歳児担任のお仕事まるわかり 新保育指针对応』 学陽書房 2018 汐見稔幸・松永静子編著						

科 目 名	乳 児 保 育Ⅰ			単 位 数	2	実務経験	担当教員	おかもと よしこ 岡 本 良 子	
ナンバリングコード	CHS12101			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	子育て家庭への支援としての乳児保育の役割と保育の実践とを結びつけて理解できることを目的とする。 授業では、まず乳児保育の定義と意義、子育ての現状と課題について理解し、次に乳児期の成長発達と保育について基礎的知識を習得する。 その上で、子育て支援の連携の必要性について学ぶ。								
到 達 目 標	1. 乳児保育の意義や役割について説明できる。 2. 現在の子育て社会の問題を通して乳児保育の必要性を理解している。 3. 乳児期の子どもの成長発達を理解し保育内容を説明できる。 4. 子育て支援における様々な連携の必要性について説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ １・２・５ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション			予習	シラバスに目を通しておく		
			乳児保育の意義			復習	乳児保育の意義や役割を理解する		
	第 2 回	内容	乳児の子育ての現状と課題			予習	乳幼児の育ち子育てで気になることを考える		
						復習	現在の乳児保育の必要性についてまとめる		
	第 3 回	内容	乳児期の特徴と保育の基本			予習	乳児とはどんな存在なのか考える		
						復習	乳児期の特徴を踏まえた保育についてまとめる		
	第 4 回	内容	新生児の発達と保育① 発達の特徴			予習	新生児とはどんな存在か考える		
						復習	新生児の発達を整理する		
	第 5 回	内容	新生児の発達と保育② 保育の内容			予習	新生児への関わりで注意すべきことを考える		
						復習	新生児の保育について整理する		
	第 6 回	内容	1～4ヶ月児の発達と保育① 発達の特徴			予習	0歳児前半の発達を調べておく		
						復習	0歳児前半の発達について整理する		
	第 7 回	内容	1～4ヶ月児の発達と保育② 保育の内容			予習	0歳児前半の発達について整理する		
						復習	乳児の抱っこのポイントを知る		
	第 8 回	内容	5～12ヶ月児の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容			予習	寝返りできるとはどういうことか考える		
						復習	運動機能の発達についてまとめる		
	第 9 回	内容	5～12ヶ月児の発達と保育② 精神的発達と保育の内容			予習	人見知りとはどんな意味を持つか考える		
						復習	精神的発達について整理する		
	第 10 回	内容	1歳児の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容			予習	歩けるとは何を意味するのか考える		
						復習	運動機能の発達について整理する		
	第 11 回	内容	1歳児の保育と保育② 精神的発達と保育の内容			予習	言葉を話すことの意味を考える		
						復習	精神的発達について整理する		
	第 12 回	内容	2歳児以上の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容			予習	2歳児の運動機能の発達を調べる		
						復習	運動機能の発達と保育について整理する		
	第 13 回	内容	2歳児以上の発達と保育② 精神的発達（自我）と保育の内容			予習	自我の芽生えと自己主張について調べる		
						復習	2歳児の自立と依存について整理する		
	第 14 回	内容	2歳児以上の発達と保育③ 精神的発達（言葉）と保育の内容			予習	言葉と社会性の発達について考える		
						復習	言葉の発達について整理する		
	第 15 回	内容	様々な連携と乳児保育			予習	自身の育ちの中での人との関わりの存在を考える		
						復習	連携の必要性を理解する		
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	定期試験実施後、解答を示し、解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 70 %）、授業態度（ 30 %）							
教科書	なし								
参考文献	『乳児保育 基本保育シリーズ⑩』 寺田清美・大方美香・塩谷 香 編集 中央法規出版 『コンパクト版 保育者養成シリーズ 新版 乳児保育』高橋弥生・石橋優子 編著 一藝社								
注意事項	授業中の私語、携帯電話等の使用、飲食、化粧等講義に支障となる行為は禁止する。								

科 目 名	乳 児 保 育Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松 永 静子
ナソバ°リンク°コード°	CHS12201		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を実践的に学ぶ 乳児の生活をとらえ、実際に個々に応じた適切な援助やかかわりを実践的に学ぶ 乳児が主体的に遊び、生活する保育、そのための環境の工夫について学ぶ 乳児保育における計画と評価・記録について学ぶ						
到 達 目 標	1. 乳児の育つみちすじをふまえ、個別のかかわりや援助の方法を具体的に知っている 2. 乳児が主体的に遊び生活するためには、保育でどのようなことを大切にするか実践的に理解している 3. 乳児の育ちを保育者・保護者が連携して支えていくために保育者同士の連携・保育者と保護者のは連携について実践的に理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（2・3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	9/18 /19	授業ガイダンス 授業内容の説明 授業の評価について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	今日のまとめをする		
	第 2 回	9/25 /26	手指の機能の発達と保育	予習	身体の発達について調べてみる		
				復習	今日のまとめをする		
	第 3 回	10/2 /3	手指の機能の発達と玩具・手作り玩具	予習	手作り玩具の本を図書館で探してみる		
				復習	今日のまとめをする		
	第 4 回	10/9 /11	言葉の発達と保育	予習	精神的な発達について調べてみる		
				復習	今日のまとめをする		
	第 5 回	10/1 6/17	乳児の絵本について学ぶ（絵本を読む）	予習	乳児の絵本を図書館で借りておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第 6 回	10/2 3/24	保育の計画と評価（記録）	予習	教育・保育課程論の計画を読んでおく。		
				復習	今日のまとめをする。		
	第 7 回	10/3 0/31	乳児保育と連携	予習	保育者間の連携について調べておく		
				復習	今日のまとめをする		
	第 8 回	同 日 ②限	乳児保育の実践について学ぶ（外部講師） 合同授業	予習	乳児の発達を復習しておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第 9 回	11/6 /7	最低基準・乳児保育室と環境	予習	児童福祉法の最低基準を読んでおく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第 10 回	11/2 7/28	2 歳児の発達と保育・前半のまとめ（復習）	予習	乳児の発達と保育を復習しておく		
				復習	テストに備えて復習する		
	第 11 回	12/4 /5	復習テスト（持ち込み不可）	予習	テストに備えて復習する		
				復習	テストでできなかったところを復習する		
	第 12 回	12/1 1/12	乳児の遊び（手作り玩具制作について）	予習	玩具と遊び（手作り玩具の準備をする）		
				復習	手作り玩具を制作する		
	第 13 回	1/8/ 9	乳児の遊び（感触遊びの体験） 手作り玩具提出	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第 14 回	1/15 /16	乳児保育と保護者支援	予習	保護者支援について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第 15 回	1/22 /23	これからの乳児保育・まとめ	予習	全体の復習		
				復習	なし		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフ ィードバッ ク	毎回リアクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない ※授業内で適時試験をする。 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、作品提出（ 20 %）ミニレポート・リアクションペーパー（20%）、出欠・授業態度（10 %）						
教科書	初回配布のテキストを使用する						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『0 1 2 歳児担任のお仕事まるわかり 新保育指针对応』 学陽書房 2018 汐見稔幸・松永静子編著						

科 目 名	乳 児 保 育Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子	
ナバ [®] リング [®] コード [®]	CHS12201			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	乳児保育Ⅰの学習をもとに受着関係の必要性を理解し、３歳未満児の発育・発達の特徴や生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。 ビデオ視聴や保育現場での事例、演習を通して理解を深め、乳児保育に必要な知識と技術を身につける。 指導計画の作成について、グループワーク等で具体的に学ぶ。								
到 達 目 標	１．３歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりについて、基本的な考え方を理解している。 ２．３歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境構成について、具体的方法を身につけている。 ３．乳児保育における配慮について、具体的に説明できる。 ４．乳児保育における計画の作成について、具体的に理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（２，３，４，５，７）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第１回	内容	ガイダンス 乳児保育の基本① 子どもと保育士等との関係の重要性	予習	シラバスをよく読んでくる				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第２回	内容	乳児保育の基本② 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的関わり	予習	対人関係の発達について調べる				
				復習	個別対応の大切さを理解する				
	第３回	内容	乳児保育の基本③ 子どもの主体性の尊重と自己の育ち	予習	身体機能の発達について調べる				
				復習	主体性を尊重することの意味を理解する				
	第４回	内容	乳児保育の基本④ 子どもの体験と学びの芽生え	予習	乳児保育の現状と課題について調べる				
				復習	乳児保育の基本についてレポートをまとめる				
	第５回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの 実際①【演習】 子どもの一日の生活の流れと保育の環境	予習	保育所、乳児院、家庭的保育について調べる				
				復習	一日の流れで考えることの意味を理解する				
	第６回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの 実際②【演習】 子どもの生活や遊びを支える環境の構成	予習	３歳未満児の発育発達について調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返る				
	第７回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの 実際③【演習】 ３歳未満児の発育・発達を踏まえた遊び	予習	落ち着いて過ごせる環境とはどのようなものか調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返る				
	第８回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの 実際④【演習】 ３歳未満児の発育・発達を踏まえた生活	予習	基本的生活習慣とはどのような場合か調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返る				
	第９回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの 実際⑤【演習】 子ども同士の関わりと援助	予習	３歳未満児の子ども同士の関わりについて調べる				
				復習	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについてレポートをまとめる				
	第１０回	内容	乳児保育における配慮の実際①【演習】 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	予習	安全・安心のために必要な配慮について調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返る				
	第１１回	内容	乳児保育における配慮の実際②【演習】 集団での生活における配慮	予習	発達をふまえた援助とはどのようなものか調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返る				
	第１２回	内容	乳児保育における配慮の実際③【演習】 環境の変化や移行に関する配慮	予習	３歳以上児の保育に移行する時期の配慮について調べる				
				復習	乳児保育における配慮についてレポートをまとめる				
	第１３回	内容	乳児保育における計画の実際①【演習】 長期的な指導計画と短期的な指導計画	予習	全体的な計画と指導計画の関連性について調べる				
				復習	計画作成の意味・必要性を理解する				
	第１４回	内容	乳児保育における計画の実際②【演習】 個別的な指導計画と短期的な指導計画	予習	指導計画の評価・反省の方法について調べる				
				復習	乳児保育における計画についてレポートをまとめる				
	第１５回	内容	まとめ 乳児保育の総理解	予習	年間配布資料を読み込む				
				復習	乳児保育の意義と重要性を理解する				
	予習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成したレポートについては全体に説明を行う。 演習後の実技を通して、修得状況を確認する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ％）、レポート・課題（２０％）、作品・発表（１０％）、実技（５０％）、授業態度（２０％）							
教科書	『乳児の生活と保育 第３版 松本園子』ななみ書房								
参考文献	『幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（チャイルド社）								
注意事項	リアクションペーパーには、毎回学んだことや感想等を書いて提出すること。配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。								

科 目 名	子どもの健康と安全			単 位 数	1	実務経験	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
ナンバリングコード	AHS12201			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。「保育所における感染症対策ガイドライン」、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン」について具体的な対応方法を身につけることを目的とする。							
到 達 目 標	1． 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解している。 2． 子どもの体調不良等に対する適切な対応ついて、具体的に理解している。 3． 関連するガイドライン等を踏まえた保育における具体的な対応方法を身につけている。 4． 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画・評価について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2.4.5.6 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 子どもの健康と保育環境	予習	教科書 P1～11 を読む			
				復習	今後の授業の進め方を確認し自分自身の学習計画を立てる			
	第2回	内容	保育における健康及び安全の管理① 衛生管理	予習	教科書 P12～14 を読む			
				復習	保育所における感染症対策ガイドラインを読む			
	第3回	内容	保育における健康及び安全の管理② 事故防止及び安全対策	予習	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドラインを読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第4回	内容	保育における健康及び安全の管理③ 危機管理と災害の備え	予習	教科書 P21～26 を読む			
				復習	課題 1～12 までをノートにまとめる			
	第5回	内容	体調不良や傷害が発生した場合の対応と応急処置	予習	子どもの症状のポイントをノートにまとめる			
				復習	演習を振り返り具体的な対応方法を練習する			
	第6回	内容	危機管理と災害の備え	予習	「保育所保育指針」の災害の備えを読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第7回	内容	救命処置及び心肺蘇生法	予習	教科書 P46～50 を読む			
				復習	演習を振り返り再度練習をする			
	第8回	内容	感染症の集団発生の予防	予習	教科書 P59～66 を読む			
				復習	授業内容を「保育所における感染症対策ガイドライン」で再確認する			
	第9回	内容	感染症発生時の罹患後の対応	予習	P70～71 の課題 1・2・3・4 に取り組もう			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第10回	内容	保育における保健的対応の基本的な考え方	予習	「保健的対応とは」を考えてみよう			
				復習	保育活動における保健的視点をまとめる			
	第11回	内容	3歳未満児への対応	予習	「生活習慣とは」を考えてみよう			
				復習	3歳未満児の発育・発達をまとめる			
	第12回	内容	個別的な配慮を要する子どもへの対応	予習	教科書 P87～96 を読む			
				復習	「個別的配慮とは」をまとめる			
	第13回	内容	障害をもつ子どもへの対応	予習	「障害とは」を考えてみよう			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第14回	内容	保育における保健活動の計画及び評価	予習	教科書 P111～117 を読む			
				復習	「8月の保健だより」を書いてみよう			
	第15回	内容	保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携	予習	「職員間の連携とは」をまとめる			
				復習	「子どもの健康と安全とは」を考えてみよう			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 70 %）、実技（ 20 %）、授業態度（ 10 %）							
教科書	『授業で現場で役に立つ！ 子どもの健康と安全 演習ノート』 小林 美由紀、診断と治療社							
参考文献	『保育所保育指針』厚生労働省 フレーベル館 保育所における感染症対策ガイドライン・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン」厚生労働省							

注意事項	1. 演習時はエプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えること。 2. 演習の準備から片付けまで、積極的に行うこと。 3. 配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。
------	--

科 目 名	子どもの健康と安全		単 位 数	1	実務経験	担当教員 くまさか たかゆき 熊 坂 隆 行	
ナンバリングコード	AHS12201		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	乳幼児期の特徴と観察、身体計測技術、生理機能計測技術の学習や演習を行う。また、日常に必要な看護技術、日常に多い疾病と予防及び対処法、救急時の対応と事故防止、安全管理立案の方法なども学習する。						
到 達 目 標	1. 子どもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価を理解している。 2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整を理解している。 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応を身につけている。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	身体の計測と評価 講義	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	計測方法と評価を理解する		
	第 2 回	内容	身体の計測と評価 演習	予習	計測方法と評価を整理しておく		
				復習	計測方法と評価をまとめる		
	第 3 回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）」の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する		
				復習	観察項目をまとめる		
	第 4 回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）」の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する		
				復習	観察項目をまとめる		
	第 5 回	内容	日常の保育に必要な技術（抱っこ、おんぶ、食事、口腔内の清拭）	予習	抱っこ、おんぶ、食事等の技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第 6 回	内容	日常の保育に必要な技術（排泄の援助とトレーニング）	予習	排泄の援助とトレーニングの技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第 7 回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	沐浴、おむつの当て方等の技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第 8 回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	沐浴、おむつの当て方等の技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第 9 回	内容	あらゆる症状に対する看護（発熱、泣き方、咳等）	予習	発熱、泣き方、咳等に対する看護を理解する		
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる		
	第 10 回	内容	あらゆる症状に対する看護（頭痛、腹痛等）	予習	頭痛、腹痛等に対する看護を理解する		
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる		
	第 11 回	内容	あらゆる症状に対する看護（嘔吐、便秘、下痢等）	予習	嘔吐、便秘、下痢等に対する看護を理解する		
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる		
	第 12 回	内容	疾病の対応と予防（感染症、食中毒）	予習	感染症、食中毒の対応と予防を理解する		
				復習	疾病の対応と予防をまとめる		
	第 13 回	内容	疾病の対応と予防（手洗い）	予習	手洗いによる疾病の対応と予防を理解する		
				復習	疾病の対応と予防をまとめる		
	第 14 回	内容	応急処置（心肺蘇生法等）	予習	応急処置を理解する		
				復習	応急処置をまとめる		
	第 15 回	内容	子どもの保育環境と衛生管理	予習	子どもの保育環境と衛生管理を理解する		
				復習	子どもの保育環境と衛生管理をまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	講義・演習後は、講義・演習で配布される資料、参考文献を用いて復習をしてください。					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（10%）、実技（50%）、授業態度（40%）					
教科書	プリントを配布いたします。						
参考文献	適宜、紹介いたします。						
注意事項	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加してください。						

科 目 名	特別支援教育論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	せき ゆいこ 関 維子	
ナンバリングコード	SNE12201		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	障害者の権利条約と国内法の整備、教育制度の転換を踏まえて、インクルーシブ教育の理念と特別支援教育について体系的に学ぶ。また、障害のある子どもや特別な支援を要する子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の実践について学び、自立と社会参加に向けた教育的支援と合理的配慮について理解する。							
到 達 目 標	1. インクルーシブ教育システムの理念と取り組みについて説明できる。 2. 障害や特別なニーズのある子どもの評価の視点と、障害や困難さに応じた指導内容や指導方法について理解している。 3. 「個別の教育指導計画」「個別の支援計画」作成の意義と目的について説明できる。 4. 学校間や保護者、関係機関における連携について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読む。			
			特別支援教育の理念とインクルーシブ教育システム	復習	特別支援教育のキーワードについてまとめる。			
	第 2 回	内容	特殊教育から特別支援教育への転換	予習	特殊教育の特徴について調べる。			
			特別支援教育の現状と教育制度	復習	就学制度の改正についてまとめる。			
	第 3 回	内容	障害とは：ICF の理解	予習	障害とは何かについて自分の考えをまとめる。			
			障害のある子どもの教育を保障する法律・制度	復習	ICIDH から ICF への改訂についてまとめる。			
	第 4 回	内容	保育や教育における合理的配慮と基礎的環境整備	予習	障害者差別解消法について調べる。			
				復習	合理的配慮の具体例についてまとめる。			
	第 5 回	内容	障害の理解と教育① 視覚障害児・聴覚障害児の理解	予習	視覚障害、聴覚障害の定義について調べる。			
				復習	視覚障害、聴覚障害への配慮事項をまとめる。			
	第 6 回	内容	障害の理解と教育② 知的障害児・肢体不自由児・病弱児の理解	予習	「病弱」と「身体虚弱」について調べる。			
				復習	病弱児の復学に向けた支援についてまとめる。			
	第 7 回	内容	障害の理解と教育③ 特別なニーズを持つ児童の理解	予習	発達障害のある当事者の手記について調べる。			
				復習	発達障害のある当事者の手記についてまとめる。			
	第 8 回	内容	障害のある子どものアセスメント：意義と目的、方法（グループディスカッション）	予習	関連領域のアセスメントシートについて調べる。			
				復習	発達検査と知能検査についてまとめる。			
	第 9 回	内容	クラスの指導立案の作成、個別と集団への配慮（グループディスカッション）	予習	指導立案を作成するための事例を決める。			
				復習	指導立案の振り返りとまとめをする。			
	第 10 回	内容	「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」（グループディスカッション）	予習	特別支援教育における計画の種類を調べる。			
				復習	目標設定のポイントについてまとめる。			
	第 11 回	内容	障害のある子どもの保護者に対する理解と支援（グループディスカッション）	予習	障害のある子どもの保護者の手記を調べる。			
				復習	障害のある子どもの保護者の手記をまとめる。			
	第 12 回	内容	特別支援学校の教育	予習	近隣の特別支援学校について調べる。			
				復習	センター的機能についてまとめる。			
	第 13 回	内容	小学校・中学校における特別支援教育	予習	居住学区の特別支援学級の設置状況を調べる。			
				復習	交流及び共同学習についてまとめる。			
	第 14 回	内容	就学相談と就学に向けた移行支援	予習	居住地の教育センター等について調べる。			
				復習	就学決定の手続きについてまとめる。			
	第 15 回	内容	地域における機関連携（グループディスカッション）	予習	特別支援教育コーディネーターについて調べる。			
				復習	特別支援教育の展望についてまとめる。			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	レポートについては、コメントを付して返却する。 発表については、発表後に講評を行う。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（４０％）、作品・発表（２０％）、授業態度（４０％）						
教科書	なし							
参考文献	『特別支援教育の基礎・基本 新訂版』（国立特別支援教育総合研究所，ジアース教育新社） 『特別支援教育 重要用語の基礎知識』（小野隆行編，学芸みらい社）							
注意事項	教育に関する問題や取り組みに関心を持ち、授業やグループでの協働による学びに対して積極的に参加すること。							

科 目 名	特別支援教育論			単 位 数	2	実務経験	担当教員	さいとう しんいち 齋藤 新一	
ナソバ・リング・コート	SNE12201			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	特別支援教育とはどのようなものか、またその対象となる発達障害児や身体障害児等の障害特性・行動特性の理解、療育支援の実際、家族支援の在り方、円滑な学校教育への引き継ぎ、障害児療育に於ける関係機関との連携・協力の在り方等について学ぶ。また、幼児・児童等帰国子女や外国人幼児・児童等の日本語や生活上の困難に関する教育的ニーズへの支援や貧困問題、性的マイノリティの幼児・児童等の生活のしづらさの理解とその支援方法について学ぶ。授業には VTR 視聴も含める。								
到 達 目 標	1. 発達障害児・身体障害児等の特別な支援を必要とする幼児、児童等について、その障害特性とその障害特性に応じた指導法を理解している。 2. 特別な支援を必要とする幼児・児童等の問題行動の機能と具体的に問題行動解決に向けた支援方法立案を作成できる。 3. 障害児支援は、保育所と家族との一貫した支援が不可欠であり、より良い家庭環境の構築、及びその家族支援をどのように行っていくか、事例演習によりその具体的家族支援方法を立案できる。 4. 特別な支援を必要としている幼児、児童等の望ましい支援を行うために、保育所等が連携すべき関係機関についてその業務内容を学び、事例に応じて適切な関係機関の連携が選択できる。 5. 母国語や貧困、性的マイノリティ等の問題による幼児、児童等の生活上の困難さの理解と、その支援の対応法について理解できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	特別支援教育の理念と基本的な考え方の理解、障害児の種別と現在の障害児者問題の現状について学ぶ。	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	特別支援教育とは何かを整理する。				
	第 2 回	内容	障害児保育の仕組みと利用できる福祉サービス、乳幼児期に教えておくことについて学ぶ。	予習	障害児の通所。入所サービスについて調べる。				
				復習	福祉サービス利用の手続き方法を整理する。				
	第 3 回	内容	知的に遅れのある幼児、児童等の障害特性と行動特性等について学ぶ。	予習	知的発達症とはどのようなものかを調べる。				
				復習	知的発達症児の障害特性を整理する。				
	第 4 回	内容	障害児への基本的身近自立技能・コミュニケーション技術等習得の実際について学ぶ。	予習	コミュニケーションとは何かを調べる。				
				復習	言語・非言語コミュニケーションを整理する。				
	第 5 回	内容	自閉症スペクトラムの子どもたちの障害特性と行動特性について学ぶ。	予習	ASD の診断基準を調べる。				
				復習	ASD の具体的な行動特性を整理する。				
	第 6 回	内容	自閉症スペクトラムの子どもたちへの支援方法(応用行動分析学・構造化等)について学ぶ。	予習	TEACCH プログラムについて調べる。				
				復習	構造化の種類を整理する。				
	第 7 回	内容	ダウン症児・限局性学習症への特性の理解と支援方法について学ぶ。	予習	ダウン症の医学的診断について調べる。				
				復習	SLD 児に対する支援方法を整理する。				
	第 8 回	内容	注意欠如・多動症児への特性の理解と支援方法について学ぶ。	予習	ADHD の診断基準を調べる。				
				復習	ADHD 児に対する支援方法を整理する。				
	第 9 回	内容	身体障害児・聴覚障害児・視覚障害児・重複障害児等の障害特性の理解と支援方法について学ぶ。	予習	身体障害児等の生活上の困難について調べる。				
				復習	身体障害児等の支援方法について整理する。				
	第 10 回	内容	特別な支援を必要とする幼児、児童等の問題行動改善に向けた具体的な支援内容を応用行動分析学の手法を用いて立案方法を学ぶ。	予習	何故、問題行動を生起させるかについて考える。				
				復習	問題行動の 4 つの機能について整理する。				
	第 11 回	内容	就学に向けた学校教育との連携の在り方について学ぶ。	予習	特別支援学校・特別支援学級等について調べる。				
				復習	幼児教育から学校教育への引継ぎを整理する。				
	第 12 回	内容	特別支援学校の役割とその特別支援教育の内容について学ぶ。	予習	特別支援学校のカリキュラムについて調べる。				
				復習	特別支援学校の教育内容を整理する。				
	第 13 回	内容	福祉事務所、要保護児童対策協議会、児童発達支援センター、児童相談所等の関係機関との連携による支援体制を構築することの必要性について学ぶ。	予習	要保護児童対策協議会について調べる。				
				復習	保育所等の支援の限界性と関係機関との連携について整理する。				
	第 14 回	内容	帰国子女及び外国籍幼児・児童等の抱える問題による特别的教育的ニーズ、家庭貧困の要因、貧困による学力格差、貧困の連鎖等の現状について学ぶ。	予習	外国籍幼児等の抱える生活上の問題を調べる。				
				復習	外国籍幼児等及び貧困家庭の支援サービスを整理する。				
	第 15 回	内容	母国語や虐待、性的マイノリティ等による特別な支援を必要とする幼児・児童等への教育支援、及びその保護者等への家族支援について学ぶ	予習	性的マイノリティについて調べる。				
				復習	トランスジェンダー・Xジェンダーの幼児・児童への支援方法について整理する。				
	予習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える。 定期試験後に解答を示し解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（５０％）、レポート・課題（２０％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（３０％）							

教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）よくわかる障害児保育（尾崎康子他、ミネルヴェア書房）、発達障害白書（日本発達障害連盟）、保育白書（全国保育団体連絡会）、初めての応用行動分析（二弊社）、文科省・内閣府等の資料、大分大学清田晃生、障害児の保育・教育　小林徹　栗山宣夫　みらい、保育実習・教育実習　待井利江　福岡貞子　ミネルヴェア書房、乳幼児保育の理論と実践　寺見陽子　西垣吉之ミネルヴェア書房、その他の文献・資料等を参考・引用とする場合はその都度授業内で紹介していく。
注意事項	私語が多い学生については円滑な授業進行を図るために席替え等を行なう。

科 目 名	子育て支援		単 位 数	1	実務経験	担当教員	さかきばら ひさこ 榊 原 久子	
ナソバ・リンク・コート*	SWS12202		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	周産期から見通した子ども子育てを取り巻く社会的背景についての理解と認識を深めると共に、保育現場における具体的事例を通して、保育相談支援における保育士倫理と保育士の専門性を活かした子育て支援について認識を深める。併せて、子育て支援にかかる保育士の基本的態度と相談援助技術をロールプレイ等の演習を通して獲得することを目的とする。							
到 達 目 標	1. 子育て当事者である保護者（父親・母親）の状況や心情のイメージがもてる 2. 保護者相談支援に向かう専門的知識・技術を獲得している 3. 子ども子育てを取り巻く社会的背景、現状と課題について理解している 4. 子ども家庭支援に係る市区町村の支援体制、関係機関のもつ施設機能について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ １・２・３・５ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	子育て支援とは	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	子育て支援の基本的基盤について記述し提出			
	第 2 回	内容	子育て支援の意義	予習	昨今の子育て支援関連記事を見つけてくる			
				復習	子育て支援が求められる社会的背景について理解したことをまとめる			
	第 3 回	内容	子育て支援の基本的価値・倫理	予習	保育士倫理綱領を読んでくる			
				復習	子育て支援の基盤となる価値等についてまとめる			
	第 4 回	内容	子育て支援の基本姿勢	予習	保育所保育指針を読んでくる			
				復習	子育て支援の基本姿勢についてまとめる			
	第 5 回	内容	子育て支援の基本的技術	予習	テキストの事例を読んでくる			
				復習	子育て支援のプロセスについてまとめる			
	第 6 回	内容	園内・園外との連携と社会資源	予習	居住する地域の子育て資源を調べてくる			
				復習	子育て支援に活用できる社会資源をまとめる			
	第 7 回	内容	記録・評価・演習	予習	「アセスメント」について調べてくる			
				復習	自分を中心としたジェノグラムを作成する			
	第 8 回	内容	日常会話を活用した子育て支援	予習	保育で想定されるケガや事故について調べてくる			
				復習	トラブル時の対応方法についてまとめる			
	第 9 回	内容	文書を活用した子育て支援	予習	乳幼児期に罹患しやすい疾患について調べてくる			
				復習	演習シートの連絡帳を記載する			
	第 10 回	内容	行事などを活用した子育て支援	予習	保育園等でおこなう行事について調べてくる			
				復習	保護者の行事参加の意義についてまとめる			
	第 11 回	内容	環境を活用した子育て支援	予習	保育施設内の環境構成の特徴を調べてくる			
				復習	子育て支援を目的とした壁新聞を作成する			
	第 12 回	内容	地域子育て支援拠点における支援	予習	居住地の子育て支援拠点を調べてくる			
				復習	子育て支援拠点の機能と特徴をまとめる			
	第 13 回	内容	入所施設における子育て支援	予習	児童養護に関する施設について調べてくる			
				復習	児童養護施設の機能と特徴についてまとめる			
	第 14 回	内容	通所施設における子育て支援	予習	発達支援に関する施設を調べてくる			
				復習	発達支援事業の機能と特徴についてまとめる			
	第 15 回	内容	苦情・クレーム対応について	予習	昨今の保育・育児にかかるニュースを調べてくる			
				復習	苦情対応の基本姿勢についてまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	講義の始めに予習内容について意見交換する。講義毎の復習レポート（レスポンスシート）を添削する						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ 30 ）、実技（ ）、授業態度（ 20 ）						
	教科書	『子育て支援～15 のストーリーで学ぶワークブック～』（二宮祐子、萌文書林）						
参考文献	講義内において随時紹介する							
注意事項	子育て支援における専門性となる「対話力」の養成を強化するため、ワークへの積極的参加を求めます。							

科 目 名	保育指導方法Ⅰ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	とよいずみ なおみ 豊 泉 尚美	
ナバリングコード	CHS12202			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	3法令に基づき、総合的に保育実践できる知識や技術を習得する。その際、乳幼児期の発達を理解した上で、各年齢や時期に適した保育指導方法を学び、実践できるようにする。また、保育における環境構成や教材教具について考え、制作と発表を行うことによって、保育場面での適切な援助方法を学ぶ。								
到 達 目 標	1. 乳幼児期の発達を理解し、各年齢の発達段階、季節や行事に合わせた指導方法を計画することができる。 2. 様々な保育教材について学び、環境構成のあり方について理解した上で、それらを生かして実践できる。 3. 保育者として必要な生活態度と生活技術を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・③・④・5・6・⑦）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
	第1回	内容	オリエンテーション（授業の進め方や評価方法について）	予習	講義内容を読んでおく				
				復習	この科目の内容と到達目標を理解する				
	第2回	内容	3法令に基づいた保育指導方法のねらいや内容について	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針等を読む				
				復習	保育指導方法のねらいと内容をまとめる				
	第3回	内容	保育の環境構成について	予習	保育の環境構成について調べる				
				復習	保育の環境構成の望ましいあり方をまとめる				
	第4回	内容	児童文化財について（絵本・おもちゃ・パネルシアター等）	予習	児童文化財の種類を調べる				
				復習	児童文化財の内容をまとめる				
	第5回	内容	手遊び・絵本のよみかかせの模擬保育	予習	手遊びと絵本を選び、練習する				
				復習	各年齢に合った手遊びと絵本についてまとめる				
	第6回	内容	手遊び・紙芝居の模擬保育	予習	手遊びと紙芝居を選び、練習する				
				復習	手遊びと紙芝居の実践について振り返りまとめる				
	第7回	内容	パネルシアターについて	予習	パネルシアターの種類を調べる				
				復習	パネルシアターについてまとめる				
	第8回	内容	パネルシアター制作（1）	予習	制作したい題材を選ぶ				
				復習	制作の過程をまとめる				
	第9回	内容	パネルシアター制作(2)	予習	制作に必要なものを選び、用意する				
				復習	制作の過程をまとめ、次回に備える				
	第10回	内容	パネルシアター制作(3)	予習	制作に必要な情報（素材・しかけ等）を集める				
				復習	発表に必要な練習をする				
	第11回	内容	パネルシアター制作(4)	予習	制作の中で工夫すべき点について調べる				
				復習	発表に必要な練習をする				
	第12回	内容	パネルシアター制作(5)	予習	制作に必要な素材を準備し、制作方法を考える				
				復習	発表に必要な練習をする				
	第13回	内容	パネルシアターの発表	予習	発表に必要な練習をし、作品を完成させる				
				復習	発表の振り返りをまとめる				
	第14回	内容	保育における行事のありかたを考え、計画する	予習	自然に関わる行事について調べる				
				復習	保育における行事のありかたをまとめる				
	第15回	内容	行事に関する活動を実施する	予習	行事の活動に必要な情報収集をし、道具や素材を準備する				
				復習	発表の振り返りをまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	発表や課題に対してコメントを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ％）、レポート・課題（30 ％）、作品・発表（20 ％）、実技（20 ％）、授業態度（30 ％）							
教科書	『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園保育・教育要領』わかば社								
参考文献	なし								
注意事項	実技を行うため、忘れ物に注意すること。レポート・課題等の提出期限を守ること。 パネルシアター制作のため材料費を徴収する。（P ペーパー代800円） 30名定員。定員を超える場合抽選になります								

科 目 名	保育指導方法Ⅰ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美	
ナンバリングコード	CHS12202			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、身につけていく。								
到 達 目 標	1. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 2. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 3. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている								
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.3.4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	保育指導方法とは	予習	保育のねらいを調べる				
				復習	保育指導方法についてまとめる				
	第3回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針を確認する				
				復習	幼稚園教育要領・保育所保育指針のポイントをまとめる				
	第4回	内容	生活する力を育む保育方法	予習	保育所での子どもの生活を調べる				
				復習	生活する力とは何かを考える				
	第5回	内容	保育の環境構成について（事例検討・発表）	予習	保育の環境を調べる				
				復習	子どもに即した保育の環境をまとめる				
	第6回	内容	子どもと集団指導（グループワーク・発表）	予習	集団について調べる				
				復習	個と集団指導の関連性をまとめる				
	第7回	内容	子どもの発達と遊び	予習	子どもの遊びを調べる				
				復習	幼稚園や保育園での子どもの遊びをまとめる				
	第8回	内容	5歳児の保育の実践①教材研究（グループワーク）	予習	教材研究の留意点を調べる				
				復習	教材研究を行う				
	第9回	内容	5歳児の保育の実践②作業（グループワーク）	予習	グループ活動の意義を考える				
				復習	グループワークでの意見をまとめる				
	第10回	内容	5歳児の保育の実践③模擬保育（発表）	予習	模擬保育を行うための準備をする				
				復習	実践の振り返りをまとめる				
	第11回	内容	5歳児の保育の実践④まとめ	予習	今まで学んできたことを振り返る				
				復習	まとめ課題を仕上げる				
	第12回	内容	4歳児の保育の実践①保育活動（グループワーク）	予習	4歳児の発達と遊びを調べる				
				復習	保育活動の進行（計画）を仕上げる				
	第13回	内容	4歳児の保育の実践②模擬保育・まとめ	予習	模擬保育を行うための準備をする				
				復習	実践の振り返りをまとめる				
	第14回	内容	3歳児の保育の実践①保育活動（グループワーク）	予習	3歳児の発達と遊びを調べる				
				復習	保育活動の進行（計画）を仕上げる				
	第15回	内容	3歳児の保育の実践②模擬保育・まとめ	予習	模擬保育を行うための準備をする				
				復習	実践の振り返りをまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題返却後、説明をする。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（30%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『幼稚園・保育所・施設実習～子どもの育ちと安全を守る保育者を目指して～』（若井編著 大学図書出版）								
参考文献									
注意事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は継続した内容であることに留意し、履修すること								

科 目 名	保育指導方法Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美	
ナバリングコード	CHS12203			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、身につけていく。								
到 達 目 標	1. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 2. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている 3. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 4. 子どもへの援助の仕方を身につけ、それを表現できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（2.3.4.7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	子どもを捉える視点	予習	子どもを捉える視点を考える				
				復習	子どもを捉える視点をまとめる				
	第 3 回	内容	幼稚園の一日から子どもを捉える視点	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる①				
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする				
	第 4 回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（幼稚園）	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる②				
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする				
	第 5 回	内容	保育園の一日から子どもを捉える視点	予習	保育所で使われる保育用語を調べる①				
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする				
	第 6 回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（保育園）	予習	保育所で使われる保育用語を調べる②				
				復習	課題に沿って保育用語が説明できるようにする				
	第 7 回	内容	子どもと保育者との関わりから捉える保育方法	予習	子どもを取り巻く人間関係を調べる				
				復習	課題を仕上げる				
	第 8 回	内容	保育の計画について	予習	プリントを行う				
				復習	保育の計画と PDCA サイクルをまとめる				
	第 9 回	内容	保育の計画と実践①指導案の書き方	予習	課題プリントを読む				
				復習	指導案の書き方を理解する				
	第 10 回	内容	保育の計画と実践②部分実習指導計画案	予習	教材研究をする				
				復習	指導案作成し、仕上げる				
	第 11 回	内容	保育の計画と実践③模擬保育	予習	模擬保育の準備・イメージをする				
				復習	模擬保育の評価をする				
	第 12 回	内容	乳児の保育の実践①教材研究	予習	教材研究をする				
				復習	教材研究をする				
	第 13 回	内容	乳児の保育の実践②指導案作成	予習	指導案の書き方について確認する				
				復習	指導案を作成し、仕上げる				
	第 14 回	内容	乳児の保育の実践③模擬保育	予習	模擬保育の準備・イメージをする				
				復習	模擬保育の評価をする				
	第 15 回	内容	保育の計画と実践、評価	予習	PDCA サイクルを確認する				
				復習	保育方法を総括する				
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題作成後、解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（30%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『幼稚園・保育所・施設実習～子どもの育ちと安全を守る保育者を目指して～』（若井編著 大学図書出版）								
参考文献									
注意事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は継続した内容であることに留意し、履修すること								

科 目 名	健 康（指導法）			単 位 数	1	実務経験	担当教員	ひらやま もとこ きたほら せいいち 平 山 素子・北 洞 誠 一	
ナソバリングコート	CHS12204			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技能を身に付ける。 特に乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育・発達、運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導方法を身に付ける。								
到 達 目 標	1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解している 2. 乳幼児の幼児の発達や学びの家庭を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付けている								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育における健康とは - 幼稚園教育の基本と領域「健康」のねらい及び内容の理解	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	領域「健康」のねらいと内容についてまとめる				
	第 2 回	内容	基本的生活習慣の形成を支える援助 - 生活習慣の形成を支える環境構成と援助	予習	基本的生活習慣とは何かを調べる				
				復習	生活習慣形成を支える環境構成と援助をまとめる				
	第 3 回	内容	健康管理と安全管理能力を育む援助 - 健康指導、交通安全や避難訓練等の指導と援助	予習	健康管理と安全管理とはどのようなことか考える				
				復習	交通安全・避難訓練の指導と援助方法をまとめる				
	第 4 回	内容	健康な心と体を育む保育の構想（計画立案 1） - 保育場面での健康、安全に関する指導	予習	保育場面で行う健康、安全の指導について考える				
				復習	健康、安全に関する指導案の内容を考える				
	第 5 回	内容	健康な心と体を育む保育の構想（教材研究 1） - 健康指導、安全指導の実際	予習	健康、安全に関する指導案の概要をまとめる				
				復習	健康、安全に関する指導案を完成させる				
	第 6 回	内容	健康な心と体を育む保育の実践（模擬保育 1）	予習	指導案に沿って模擬保育の練習を行う				
				復習	模擬保育の内容を振り返る				
	第 7 回	内容	健康な心と体を育む保育の評価と改善 1 - 幼児理解と保育の視点を基盤とした評価	予習	模擬保育を振り返り指導案の内容を検討する				
				復習	模擬保育の評価から健康、安全の保育を再考する				
	第 8 回	内容	多様な動きの経験を促す援助 - 遊びや生活の中の動きの経験を促す環境構成と援助	予習	多様な動きにはどのようなものがあるのか考える				
				復習	遊びや生活の中で多様な動きを促す方法を考える				
	第 9 回	内容	心身の発達の特徴を踏まえた健康への配慮と環境構成と援助 - 気になる子への援助	予習	乳幼児の心身の発達の特徴についてまとめる				
				復習	心身の発達と健康への配慮・援助方法をまとめる				
	第 10 回	内容	健康な心と体を育む保育の構想（計画立案 2） - 保育場面で運動遊びを想定した指導	予習	保育場面で行う運動遊びの例について考えておく				
				復習	保育場面で行う運動遊びの指導案の内容を考える				
	第 11 回	内容	健康な心と体を育む保育の構想（教材研究 2） - 運動遊び指導の実際	予習	保育場面での運動遊びの指導案についてまとめる				
				復習	保育場面で行う運動遊びの指導案を完成させる				
	第 12 回	内容	健康な心と体を育む保育の実践（模擬保育 2）	予習	指導案に沿って模擬保育の練習を行う				
				復習	模擬保育の内容を振り返る				
	第 13 回	内容	健康な心と体を育む保育の評価と改善 2 - 幼児理解と保育の視点を基盤とした評価	予習	模擬保育を振り返り指導案の内容を検討する				
				復習	模擬保育の評価から運動遊びについて再考する				
	第 14 回	内容	幼児期に育まれる健康な心と体 - 「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」とは	予習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を調べる				
				復習	「健康な心と体」はどのようなものかをまとめる				
	第 15 回	内容	「健康」をめぐる課題と保育実践 - 現代的課題を踏まえた健康な心と体を育む活動	予習	「健康」をめぐる現代的課題の事例を考える				
				復習	健康な心と体を育むために必要な援助をまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成した課題に対してコメントを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題・発表（60％）、授業態度（40％）							
教科書	宮下恭子編『保育内容「健康」』大学図書出版								
参考文献	保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説								
注意事項	授業の中で模擬保育とそれに伴う計画立案、評価改善のためのディスカッションを行うので、積極的に参加して欲しい。 一部（平山 7・北洞 8） 二部（平山 5・北洞 10）								

科 目 名	人間関係（指導法）			単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美
ナバリングコード	CHS12205			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、子どもの姿と保育実践とを関連づけて理解を深める。 具体的な保育の構想と実践方法を身につける。							
到 達 目 標	1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 2. 保育所保育指針に示された領域「人間関係」の1歳以上3歳未満児に関わるねらい及び内容を理解している。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2.3.4.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	領域「人間関係」①ねらい、内容について	予習	講義内容を読んでおく			
				復習	領域「人間関係」のねらい・内容を確認しておく			
	第2回	内容	領域「人間関係」②全体像を理解する（ICT活用）	予習	1歳以上3歳未満児の領域「人間関係」を読む			
				復習	小テストの内容（範囲）を理解する			
	第3回	内容	自立心を育む援助（ICT活用）	予習	子どもの人間関係の発達を確認する			
				復習	事例を通して援助方法を考える			
	第4回	内容	遊びのなかで育つ人間関係①仲間関係の形成（ICT活用）	予習	子どもの発達を調べておく			
				復習	事例を理解し、まとめる			
	第5回	内容	遊びのなかで育つ人間関係②自己抑制	予習	3・4歳児の発達を調べておく			
				復習	事例①を理解し、まとめる			
	第6回	内容	遊びのなかで育つ人間関係③自己主張、思いやり	予習	5・6歳児の発達を調べておく			
				復習	事例②③を理解し、まとめる			
	第7回	内容	遊びのなかで育つ人間関係④いざこざ場面における援助（幼児）（ICT活用）	予習	事例プリントを読む			
				復習	保育者の子どもへの関わりを確認する			
	第8回	内容	ルールのある遊びと援助	予習	子どもの遊びを調べておく			
				復習	ルールの形成と遊びについてまとめる			
	第9回	内容	個と集団の相即的発展①活動内容・指導案作成	予習	PDCAサイクルを理解する			
				復習	教材研究をする①			
	第10回	内容	個と集団の相即的発展②指導案作成	予習	教材研究をする②			
				復習	指導案を作成する			
	第11回	内容	個と集団の相即的発展③模擬保育	予習	指導案を仕上げる			
				復習	模擬保育の反省、振り返りをする			
	第12回	内容	個と集団の相即的発展④振り返り（ディスカッション）	予習	PDCAサイクルを再確認する			
				復習	グループの意見をまとめる			
	第13回	内容	個と集団の相即的発展⑤改善・まとめ	予習	他の視点より考える			
				復習	個と集団の相即的発展を理解し、まとめる			
	第14回	内容	幼保・小の連携活動と小学校以降の生活や学習で活かされる力	予習	小学校学習指導要領を読む			
				復習	幼保小の連携をまとめる			
	第15回	内容	領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題・まとめ（ICT活用）	予習	「人間関係」の課題を考える			
				復習	「人間関係」をめぐる問題をまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題に対して、添削し解説を行う。また、発表に対しては、講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（30%）、発表（20%）、授業態度（20%）							
教科書	『幼稚園教育要領』（平成29年3月告示 文部科学省）『保育所保育指針』（平成29年3月告示 厚生労働省）							
参考文献	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省） 授業中に適宜資料を配布する							
注意事項								

科 目 名	人間関係（指導法）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	いまい ゆみ 今井 由美
ナバリングコード	CHS12205		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を学び、乳幼児期における人間関係を育てていくなかでの指導や援助のあり方を考えていく。実際の保育現場での様子や事例等を通して、具体的な保育の構想や方法を身につけることにより保育実践力の向上を目指す。						
到 達 目 標	1. 領域「人間関係」を理解している 2. 乳幼児期の人間関係の育ちのための役割や援助方法を身につけている 3. 領域「人間関係」に関わる指導場面を想定した保育を構想する力を身につけている						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 4 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	乳児保育に関わるねらい及び内容	予習	ねらい及び内容(乳児)を読んでおく		
				復習	乳児期の人間関係を理解する		
	第2回	内容	領域「人間関係」のねらいと内容(1,2歳児)	予習	領域「人間関係」(1,2歳児)を読んでおく		
				復習	2歳児までの領域「人間関係」を整理する		
	第3回	内容	領域「人間関係」のねらいと内容(3歳児以上)	予習	領域「人間関係」(3歳児以上) 幼稚園教育要領「人間関係」を読んでおく		
				復習	領域「人間関係」を理解する		
	第4回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割①仲間関係	予習	幼児の仲間作りでの援助方法を調べておく		
				復習	指導や援助のあり方を整理する		
	第5回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割② 自己主張・思いやり(グループワーク)	予習	幼児の自己主張や思いやりの場面をイメージする		
				復習	ディスカッションの内容を整理する		
	第6回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割③ 自己抑制・葛藤(グループワーク)	予習	幼児の自己抑制や葛藤の場面をイメージしておく		
				復習	ディスカッションの内容を整理する		
	第7回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割④ ルール・平等(グループワーク)	予習	保育のなかでのルールや平等について調べる		
				復習	ディスカッションの内容を整理する		
	第8回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割⑤いざこざ	予習	いざこざが起きた時の援助方法を調べる		
				復習	幼児の人間関係が育つ指導や援助方法を理解する		
	第9回	内容	領域「人間関係」と保育の関連① 指導案のポイント(3歳児未満)	予習	指導案(3歳児未満)を見ておく		
				復習	指導案(3歳児未満)が書けるように整理しておく		
	第10回	内容	領域「人間関係」と保育の関連② 指導案のポイント(3歳児以上)	予習	指導案(3歳児以上)を見ておく		
				復習	年齢別の指導案について整理する		
	第11回	内容	領域「人間関係」と保育の関連③ 指導案の作成(グループワーク)	予習	指導案作成のポイントを整理しておく		
				復習	自作の指導案を見直す		
	第12回	内容	領域「人間関係」と保育の関連④ 作成した指導案の振り返り・ディスカッション・検討	予習	指導案作成のポイントを踏まえ指導案を見直す		
				復習	ディスカッションの内容を整理する		
	第13回	内容	個性的な子・気になる子との人間関係	予習	今まで学んだ幼児の人間関係について整理する		
				復習	どの子にも対応できる人間関係の援助を理解する		
	第14回	内容	領域「人間関係」からみた小学校との連携	予習	保育と小学校との違いを調べておく		
				復習	小学校連携に向けた保育を整理しておく		
	第15回	内容	領域「人間関係」における今日的な課題	予習	これまでを振り返り自身の学びを確認しておく		
				復習	領域「人間関係」の理解を深める		
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	課題や小テストを返却し、説明やコメントをする					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 60 %）、授業態度（ 40 %）					
	教科書	なし					
	参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省）『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍）『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）					
	注意事項						

科 目 名	環境（指導法）			単 位 数	1	実務経験	担当教員	なかむら よういち 中 村 陽 一
ナソバ・リング・コート	CHS12206			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	「環境」で学んだ、幼児と環境とかかわりに関する学びの上に、実例に基づき、幼稚園教育要領に示されている領域「環境」の「目的」「ねらい」「内容」の理解を深める。さらに、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した指導方法を身につける。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。							
到 達 目 標	1. 「幼稚園教育要領」に示された「環境を通した保育」の意義と、保育者に求められる援助について、具体的な指導法を示すことができる。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、具体例を挙げて自分の考えを述べることができる。 3. 領域「環境」に関わる幼児の自然体験や社会体験と、小学校教育の生活科への連続性について理解している。 4. 子どもの自然体験を深めるための、子どもの発達を見据えた長期的計画の重要性を理解しており、大まかな計画を示すことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（2.4.5.6）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり。「環境」の復習。	予習	幼稚園教育要領 保育内容「環境」を読む。			
				復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認。			
	第 2 回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室）。グループ討論と発表。	予習	教科書 9 p の演習課題 1			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 3 回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（園舎）。グループ討論と発表。	予習	教科書 25 p の演習課題 2			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 4 回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。グループ討論と発表。	予習	教科書 41 p の演習課題 1			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 5 回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境グループ討論と発表。	予習	教科書 59 p の演習課題 1			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 6 回	内容	子どもの生活と自然環境②－季節感と取り入れた保育グループ討論と発表。	予習	教科書 59 p の演習課題 3			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 7 回	内容	子どもの生活と自然環境③－飼育動物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	実習で体験した動物飼育についてまとめる。			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 8 回	内容	子どもの生活と自然環境④－栽培植物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	教科書 41 p の演習課題 2			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 9 回	内容	子どもの生活と社会①－施設との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書 75 p の演習課題 3			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 10 回	内容	子どもの生活と社会環境②－伝統的な行事との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書 75 p の演習課題 2			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 11 回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数グループ討論と発表。	予習	実習で体験した子どもの数体験について。			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 12 回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と文字グループ討論と発表。	予習	教科書 91 p の演習課題 1			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 13 回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながりグループ討論と発表。	予習	教科書 75 p の演習課題 3			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 14 回	内容	小学校教育への連続性－「環境」と「生活科」「総合学習」グループ討論と発表。	予習	教科書 109 p の演習課題 2			
				復習	グループ討論のまとめをする。			
	第 15 回	内容	授業の振り返りとまとめ。グループ討論と発表	予習	教科書 109 p の演習課題 2			
				復習	学んだことのまとめ。			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、その後、解答の解説と振り返りを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ ）%、実技（ ）%、授業態度（20%）							
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）							
参考文献	なし							
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。							

科 目 名	言葉（指導法）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	たじま だいすけ 田島 大 輔	
ナバリングコート	CHS12207		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	乳幼児が言語を獲得していく過程を理解するとともに、保育実践を行う上で重要な要素を持つ子どもの言葉を実際の事例や発達に基づいて理解していく。幼稚園教育要領や保育所保育指針・認定子ども園教育保育要領において「経験したことや考えたこと等を自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」とされている。このようなことを保育の中でどのように実践し、具体化していくかについて、講義や演習を通して学び理解していく。							
到 達 目 標	１．乳幼児の言葉の獲得に関する発達過程を理解している。 ２．乳幼児が言葉を獲得するためには、具体的にどのような保育実践の在り方があるのかを理解している。 ３．保育を行う上で、領域「言葉」の理解とともに、ねらい内容に基づいた保育実践の在り方を習得している。 ４．保育における言葉使った教材や児童文化財の種類・方法を理解し習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ２ ３ ５ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・授業の進め方・参加の仕方について・保育内容言葉について学び	予習	領域「言葉」を読んでくる			
				復習	言葉の概念について復習する			
	第 2 回	内容	言葉の発達とは 乳幼児がどのように言葉を獲得していくか理解する	予習	乳幼児期の言葉について調べてくる			
				復習	乳幼児期の言葉について復習する。			
	第 3 回	内容	言葉の意義 言葉の持つ特性・機能・働き・システムについて理解する	予習	言葉の意義について調べてくる			
				復習	言葉の意義について復習する。			
	第 4 回	内容	言葉の発達① 生まれてから乳児期における言葉の発達	予習	言葉の発達（乳児）について調べてくる			
				復習	言葉の発達（乳児）について復習する。			
	第 5 回	内容	言葉の発達② 乳児から幼児期における言葉の発達	予習	言葉の発達（乳児から幼児）について調べてくる			
				復習	言葉の発達（乳児から幼児）について復習する。			
	第 6 回	内容	絵本について 児童文化としての絵本についての理解	予習	児童文化財について調べてくる			
				復習	絵本や紙芝居について復習する。			
	第 7 回	内容	言葉を育てる児童文化① 演習 絵本	予習	児童文化とは何かについて調べてくる			
				復習	児童文化（絵本）について復習する。			
	第 8 回	内容	言葉を育てる児童文化② 演習 絵本・紙芝居	予習	児童文化材（絵本以外）について調べてくる			
				復習	絵本・紙芝居の読み方について復習する。			
	第 9 回	内容	言葉を育てる児童文化③ 演習 二人語り・オスティナート・オノマトペ等を使った語り	予習	児童文化財（授業であつかっていないもの）について調べてくる			
				復習	二人語り・オノマトペ・素話について復習する。			
	第 10 回	内容	言葉を育てる児童文化④ 演習 みんなで発表① ※グループ	予習	発表内容について用意する。			
				復習	発表内容について省察する。			
	第 11 回	内容	言葉を育てる児童文化⑤ 演習 みんなで発表② ※グループ	予習	発表内容について用意する。			
				復習	発表内容について省察する。			
	第 12 回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定子ども園教育保育要領の領域言葉について① 総則・概要から	予習	3 法令について調べてくる			
				復習	3 法令について復習する。			
	第 13 回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定子ども園教育保育要領の領域言葉について② 領域、要領・指針の特性から	予習	領域について調べてくる			
				復習	領域について復習する。			
	第 14 回	内容	事例から考える言葉についての演習	予習	言葉の発達について調べてくる			
				復習	事例について復習する。			
	第 15 回	内容	まとめ 保育実践と言言葉がどのようにつながるか理解する	予習	今までの内容について調べてくる			
				復習	自分の理解していない部分を復習する。			
	予習に要する学習時間：概ね分 6 0 を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	評価の項目と返却する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（５０％）、レポート・課題（２５％）、作品・発表（２５％）、授業態度や授業参加、リアクションペーパーを加点材料とする						
教科書	『保育内容の理論と実践』（保育出版会 太田光洋・田島大輔著）							
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）							
注意事項	グループワークを行います。又授業への参加や授業後に記載するリアクションペーパーは加点になります。							

科 目 名	言葉（指導法）	単 位 数	1	実務経験		
ナンバリングコード	CHS12207	授業形態	演習		担当教員	中山 佳寿子
授 業 の 内 容	領域「言葉」の目標「経験したことや考えたことを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」及び幼児教育で育みたい「資質・能力」を理解する。幼児の言葉の発達に即した活動・遊びなどを構想する力を身に付けることを目標とする。					
到 達 目 標	1．乳幼児の言葉の発達を理解している 2．領域「言葉」のねらいや内容を理解している 3．子どもの豊かな言葉を育む活動や遊びを構想できる 4．児童の発達を促す児童文化財について理解している 5．具体的な保育を想定した指導案を作成できる					
学位授与方針	幼児教育学科（ 2 3 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第 1 回	オリエンテーション（授業の内容、紹介する遊びや活動について）／ 領域「言葉」を学ぶ意義	予習	シラバスに目を通しておく		
			復習	授業のノート・指針・要領を対応させて読み込む		
	第 2 回	言葉の発達を学ぶ①（0歳～1歳半） 活動「おなまえリレー」（グループワーク）	予習	前回のノートに目を通す		
			復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる		
	第 3 回	言葉の発達を学ぶ②（1歳半～3歳） 活動「たんたん連想ゲーム」（グループワーク）	予習	前回のノートに目を通す		
			復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる		
	第 4 回	言葉の発達を学ぶ③（3歳～6歳） 活動「ポーズでしりとり」	予習	前回のノートに目を通す		
			復習	言葉の発達について、ノートと教科書を見ながら理解を定着させる		
	第 5 回	言葉の発達を学ぶ④（まとめ） 討議：「早期幼児教育」のもたらす影響（グループワークの後、発表）	予習	前回までのノートに目を通す		
			復習	早期教育の問題点についてまとめる		
	第 6 回	話しことばと書きことば ～文字との出会い～ 活動「額縁の絵Ⅰ」（グループワークの後、発表）	予習	「文字を書きたくなる遊び」について考える		
			復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる／文字の習得の前提となる発達上の条件についてノートを見返しておく		
	第 7 回	一次的ことばと二次的ことば 活動「額縁の絵Ⅱ」（グループワークの後、発表）	予習	教科書第5章、6章に目を通しておく		
			復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる		
	第 8 回	ごっこ遊びの意義（教科書第7章） ごっこ遊びと劇遊び／活動「ももたろうのごっこあそび」（グループワークの後、発表）	予習	ごっこ遊びにはどんなものがあるか書きだしておく		
			復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる		
	第 9 回	子どもと絵本（絵本の種類など） 活動：絵本を友だちに紹介しよう（グループワークの後、発表） レポート：4・5歳児向けの絵本	予習	4、5歳児向け絵本を探して3冊持参する		
			復習	絵本を保育でどのように活用するかまとめる		
	第 10 回	絵本をもとにしたごっこあそびの構想①（手順と方法）／活動：「ごっこあそびを構想しよう」（グループワークの後、発表）	予習	前回のノートを読んでおく		
			復習	他のグループの発表内容もまとめておく		
	第 11 回	絵本をもとにしたごっこあそびの構想②（自分の選んだ絵本でごっこ遊びを構想する）～ごっこあそびの指導計画案作成～	予習	9回目授業の絵本のうち一冊をよく読んでおく		
			復習	指導計画案を完成させる		
	第 12 回	ごっこあそびの模擬保育（発表）	予習	模擬保育がスムーズに出来るようメモを作成する		
			復習	模擬保育で気付いたことを指導計画案に赤字で記入		
	第 13 回	ごっこあそびの指導案の作成	予習	領域「言葉」のねらいや内容を指針で確認しておく		
			復習	授業で学んだことをヒントに指導案を修正する		
	第 14 回	現代的課題と領域「言葉」（教科書第8章） 討議：「メディアによるバーチャル体験」と「ごっこ遊び」の違いについて考えよう（発表）	予習	教科書 P190～191 を読んでおく		
			復習	保育者として子どもの「感性」「創造性」「言葉の豊かさ」をどのように育むか、考察してまとめる		
	第 15 回	まとめ（学習内容と活動の振り返り）	予習	これまでのノートを見返しておく		
			復習	領域「言葉」と他領域の関連をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートにコメントを記入する。発表については具体的なアドバイスを行う。					
成 績 評 価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50％）、作品・発表（30％）、授業態度（20％）					

教科書	『新訂 事例で学ぶ保育内容 領域言葉』（無藤隆監修、出版社名 萌文書林）
参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』
注意事項	授業を通して保育者にふさわしい言葉の豊かさや表現力を身につけよう。

科 目 名	造形表現（指導法）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おぐち	すぐる	
ナソバ・リンク・コート*	CHS12208		授業形態	演習			小口	偉	
授 業 の 内 容	乳幼児期の造形的表現方法は、発達段階を踏まえ、適切な素材提供をすることが、活動に広がりとお行きをもたらす。子どもの活動をもとにした活動体験をすることから、「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通した表現について理解、関心を深める。								
到 達 目 標	1. 子どもたちの表現活動の意義を理解している。 2. 年齢やクラス編成ごとに変化する活動内容に応じた環境づくりができる。 3. 子どもたちと活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③④・5・6・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）								
授 業 計 画	第 1 回	内 容	素材体験 1 紙について 質感で遊ぶ	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む				
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく				
	第 2 回	内 容	素材体験 2 グループワーク 紙について 2 空間を使って遊ぶ	予習	遊ぶこととは何かノートに書き出し持参する。				
				復習	体験を通して空間を使って遊ぶこととは何か自分なりに考え、まとめる。				
	第 3 回	内 容	素材体験 3 クレヨン、パスについて	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 4 回	内 容	素材体験 4 グループワーク 粘土について	予習	参考書等の粘土に関する記述について読む。				
				復習	体験内容をノートにまとめる。				
	第 5 回	内 容	道具体験 1 ハサミについて	予習	参考書等のハサミに関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 6 回	内 容	道具体験 2 ステープラーについて	予習	参考書等のステープラーに関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 7 回	内 容	接着について	予習	参考書等の接着に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 8 回	内 容	応用 1 構成遊びについて 1 色画用紙での構成遊び	予習	構成遊びについて調べる。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 9 回	内 容	応用 2 構成遊びについて 2 与えられたきっかけから画面構成 1	予習	構成遊びについて調べる。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 10 回	内 容	応用 3 構成遊びについて 3 与えられたきっかけから画面構成 2 発表	予習	構成遊びについて調べ、まとめたノートを持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 11 回	内 容	応用 4 様々な技法遊び デカルコマニー/スクラッチ	予習	技法遊びについて5つの種類とその方法を調べ、まとめたものを持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 12 回	内 容	総合的な表現の探究 共同制作を体験する①紙立体	予習	参考書の紙立体に関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 13 回	内 容	総合的な表現の探究 共同制作を体験する②様々な素材の応用	予習	造形素材として使用できる可能性のあるものを集めておく。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 14 回	内 容	工作 1 動かして遊ぶ「紙工作」	予習	参考書の紙工作に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 15 回	内 容	振り返り ドキュメンテーション作成	予習	ドキュメンテーションについて調べ、まとめたノートを持参する。（60 分）				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。返却の際に保育現場での実践方法や注意点などをその都度伝える。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％）、レポート・課題（2 0 ％）、作品・発表（4 0 ％）、実技（ ）％）、授業態度（4 0 ％）							
教科書	『保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領』平成 29 年 3 月 31 日告示								
参考文献	『楽しい造形表現』（子ども造形表現研究会、圭文社）『保育園・幼稚園の造形あそび』（鮫島良一、馬場千晶、成美堂出版）								
注意事項	出来映えは重視しません。誠実に、積極的に取り組むこと。 ※ 作品制作に関わる道具、材料費は個人負担です。（1600 円）。								

科 目 名	音楽・身体表現（指導法）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおさき はせがわ しかと 塩 崎 ・ 長谷川 ・ 鹿 戸
ナソバ・リンク・コート	CHS12209		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。体の動き、音・リズムを工夫し、豊かな感性を育み、自らのイメージを広げて表現する楽しさについて理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。						
到 達 目 標	1. 幼児の心情、認識、思考、動きなどを視野にいたれた保育の構想の重要性を理解している。 2. 領域「表現」及び音楽・身体表現の特性と幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができている。 3. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができている。 4. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 5 音楽・身体表現の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができています。						
学位授与方針	幼児教育学科（3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	本授業の概要 音楽・身体表現のねらい、および内容について乳幼児期の発達を踏まえて理解する	予習	領域「表現」について教育要領等を読んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第 2 回	内容	指導案作成の構造を理解し、身体表現活動におけるねらいについて考え、具体的な題材について検討し、指導実践法について研究する。	予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめ、興味のある題材の一つに絞る		
	第 3 回	内容	豊かな感性を育み、イメージが広がり、工夫した動きを引き出す言葉がけ・問いかけについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用について考える。	予習	指導案のねらいを考え、ノートに記入しておく		
				復習	具体的な題材を決め、指導案を完成させてくる		
	第 4 回	内容	3歳未満児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、その振り返りを通して保育の改善点について考える。	予習	指導ノートの記入の仕方例を読み込んでくる		
				復習	指導案に沿った指導ノートを記入する		
	第 5 回	内容	3歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、その振り返りを通して保育の改善点について考える。	予習	指導のリハーサルを行う		
				復習	指導実践後の振り返りをノートにまとめる		
	第 6 回	内容	4歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	身体表現遊びのウォーミングアップについて考えてくる		
				復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる		
	第 7 回	内容	5歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	5歳児の題材について考えノートにまとめる		
				復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる		
	第 8 回	内容	身体表現遊びの意義についてディスカッションし、指導法において重要な点についてまとめる	予習	身体表現遊びの意義について自分なりの考えをノートにまとめる		
				復習	指導法についてノートにまとめる		
	第 9 回	内容	音楽教育の理論および保育における音楽指導の基礎を学び、その意義について理解を深める。	予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめ、保育における音楽表現の重要性について記述する		
	第 10 回	内容	音楽指導におけるねらいの観点を理解し、達成するための指導方法を学ぶ。	予習	音楽指導の意義をふまえ、どのようなねらいが設定できるか調べる		
				復習	本時の内容をノートにまとめ、音楽活動を想定してねらいを立ててみる		
	第 11 回	内容	音楽教育の意義と音楽指導のねらいをふまえ、幼児期の発達段階をふまえた指導を計画し、指導案を作成する。	予習	幼児期の発達段階について理解し、各年齢に即した題材を考える		
				復習	指導案を完成させ、シミュレーションをする		
	第 12 回	内容	指導案をもとに3歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	3歳児の音楽表現について理解しておく		
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、3歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
	第 13 回	内容	指導案をもとに4歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	4歳児の音楽表現について理解しておく		
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、4歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
	第 14 回	内容	指導案をもとに5歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	5歳児の音楽表現について理解しておく		
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、5歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
	第 15 回	内容	歌唱による鑑賞活動の模擬保育を行い、子どもに音楽表現を伝える技術について検討する。	予習	子どもの各年齢に適した歌唱による鑑賞教材を検討し、提示の仕方を考える		
				復習	模擬保育をふまえ、子どもへの歌唱表現の提示法の要点をノートにまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	発表において、発表後に講評を行う。 レポート、ノートについては集めた際にコメントを書き返却する						

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度（20%）
教科書	適宜授業内にてプリントを配布する
参考文献	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版
注意事項	身体表現の授業時は、学校指定のジャージを着用すること。 出席も評価の対象とする。（塩崎8・長谷川8・鹿戸0）

科 目 名	幼児の運動遊び			単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおさき 塩 崎 みづほ	
ナソバリングコート	CHS12210			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	子どもの生活は遊びが中心にあるといわれるくらい遊びによって成長し、生きていくのに必要なことを真似し学んでいきます。本講義では、子どもの発育発達の特徴を理解し、それに即した運動遊びについて学び、さらには指導法について実践的に学びます。そこでは、グループで決められた題材を用いて、ロールプレイを行います								
到 達 目 標	1. 子どもの発育発達に応じた運動遊びの意義とその内容を理解している。 2. 運動遊びの指導に必要な、ねらい、指導案の記入法、指導法について理解している。 3. 幼児教育者として自ら動ける身体づくりと、体力の維持・向上に努める力を習得している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	講義：履修上の注意事項 乳幼児期の運動遊びの意義	予習	シラバスを見て質問等を考える				
				復習	運動遊びの意義について自分の考えをまとめる				
	第 2 回	内容	鬼ごっこについて考えよう	予習	鬼ごっこの種類とルールをあげる				
				復習	鬼ごっこの意義とルールをまとめる				
	第 3 回	内容	米袋を使った遊び	予習	本時に使用する米袋を作成する				
				復習	米袋の遊びを、年齢ごとにまとめる				
	第 4 回	内容	フープを使った遊び	予習	フープの特性について教科書を読み考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにまとめる				
	第 5 回	内容	縄を使った遊び	予習	縄の特性について考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる				
	第 6 回	内容	マットを使った遊び	予習	マットを使った遊びについて考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる				
	第 7 回	内容	身近なものを使った遊び	予習	身近なものを集める				
				復習	自分で考えて身近な遊びについてまとめる				
	第 8 回	内容	ボールを使った遊び	予習	ボールの特性について読み深める				
				復習	ボール遊びの意義についてまとめる				
	第 9 回	内容	サーキット遊び	予習	サーキット遊びの意義について考えてくる				
				復習	自分なりのサーキットを作成する				
	第 10 回	内容	講義：運動遊びの指導について、指導案の書き方	予習	指示された箇所の教科書を読んでくる				
				復習	指導案の書き方を復習する				
	第 11 回	内容	運動遊びの指導案作成と指導言語を考える	予習	指導案を書き上げ、指導言語について考えてくる				
				復習	指導練習を行う				
	第 12 回	内容	模擬保育の実践とディスカッション① マットを使った遊び	予習	マット遊びの特性と指導法について復習する				
				復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
	第 13 回	内容	模擬保育の実践とディスカッション② ボールを使った遊び	予習	ボール遊びの特性と指導法について復習する				
				復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
	第 14 回	内容	模擬保育の実践とディスカッション③ 用具を使わない遊びや身近なものを使った遊び	予習	用具を使わない遊びの特性と指導法について復習する				
				復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
	第 15 回	内容	まとめ 幼児の運動遊びの指導における特徴と意義について考える グループ討議	予習	指導を行ってきたレポート課題を仕上げる				
				復習	本時のグループ討議を踏まえ考察をノートにまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	ノートの提出を行い、コメントを記入して返却する。 レポートはコメントして返却。発表は講評をする。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 課題（20％）、作品（10％）、発表（10％）実技（10％）、授業態度（30％）							
教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）								
注意事項	実技の際は、必ず指定のジャージを着用のこと								

科 目 名	健 康		単 位 数	1	実務経験	担当教員	ひらやま もとこ きたほら せいいち 平山 素子・北洞 誠一
ナンバリングコード	CHS12102		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と異なった特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。						
到 達 目 標	1. 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し、説明できる 2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し、説明できる 3. 安全な生活と怪我の特徴や病気の予防を理解し、説明できる 4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し、説明できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	健康の定義と乳幼児期の健康の意義について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	乳幼児期の健康の意義についてまとめる		
	第 2 回	内容	乳幼児期の健康課題について	予習	乳幼児期にはどんな健康課題があるか考える		
				復習	乳幼児期の健康課題とサポート方法を考える		
	第 3 回	内容	乳幼児期の運動発達について	予習	乳幼児期の運動発達について調べる		
				復習	乳幼児期の運動発達についてまとめる		
	第 4 回	内容	乳幼児の体の発達の特徴について	予習	乳幼児の体はどのように発達するのか考える		
				復習	乳幼児の身体的発達の特徴についてまとめる		
	第 5 回	内容	基本的な生活習慣の形成とその意義について	予習	基本的な生活習慣とは何か調べる		
				復習	基本的な生活習慣形成の意義をまとめる		
	第 6 回	内容	基本的な生活習慣の形成のための援助について	予習	基本的な生活習慣の形成に必要な事項を考える		
				復習	基本的な生活習慣形成の援助方法をまとめる		
	第 7 回	内容	乳幼児期の危険と安全教育について	予習	乳幼児期にはどのような危険があるか考える		
				復習	乳幼児への安全教育の方法をまとめる		
	第 8 回	内容	健康管理や安全への意識や態度を育むことの重要性について	予習	乳幼児の健康管理とはどのようなことか考える		
				復習	健康や安全の意識や態度を育む方法をまとめる		
	第 9 回	内容	乳幼児期の怪我や事故の特徴	予習	乳幼児期の怪我や事故について調べる		
				復習	乳幼児の怪我や事故を防ぐ方法をまとめる		
	第 10 回	内容	乳幼児期の怪我の応急処置の基礎	予習	乳幼児が怪我を負う状況について考える		
				復習	乳幼児の怪我の応急処置についてまとめる		
	第 11 回	内容	乳幼児期の病気の予防	予習	乳幼児が罹りやすい病気について調べる		
				復習	乳幼児期の病気予防の方法をまとめる		
	第 12 回	内容	乳幼児期の運動発達の特徴 － 運動コントロール能力と「多様な動き」について	予習	第 3 回授業内容のまとめに目を通しておく		
				復習	「多様な動き」を実践してみる		
	第 13 回	内容	多様な運動経験の意義 － 多様な動きを獲得することの意義について	予習	「多様な動き」を実践した気付きをまとめる		
				復習	多様な動きと多様な運動経験についてまとめる		
	第 14 回	内容	日常生活における運動 － 生活の中で行う動きの経験と配慮について	予習	生活の中で行う動きと運動を探す		
				復習	生活の中で多様な動きを実践する方法を考える		
	第 15 回	内容	遊びとしての運動 － 遊びの中で行う運動の在り方と配慮について	予習	遊びの中で運動を行う際の配慮を考える		
				復習	運動を取り入れた遊びの保育活動をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成した課題に対してコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60％）、授業態度（40％）						
教科書	宮下恭子編『保育内容「健康」』大学図書出版						
参考文献	保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説						
注意事項	授業の中で随時ディスカッションを行うので、積極的に参加して欲しい。						

科 目 名	人間関係			単 位 数	1	実務経験	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美	
ナンバリングコード	CHS12103			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となる基礎理論として関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係のなかで人と関わる力が育つことを理解する。								
到 達 目 標	1. 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。 2. 園生活における幼児期の人間関係の発達について理解している。 3. 遊びのなかで育つ人との関わりの発達について、乳幼児との関係、保育者との関係、集団のなかでの育ちを観点として説明できる。 4. 自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、それぞれの育ちについて子どもの発達の姿と合わせて説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（2.3.4.5. ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、現代社会と幼児の人間関係①幼児期の生活経験 と現代の幼児の生活	予習	講義内容を読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	現代社会と子どもの人間関係②ディスカッション（ICT の活用）	予習	子どもの定義を考える				
				復習	人間関係の広義を理解する				
	第 3 回	内容	3歳未満児の人間関係の発達①0歳児	予習	保育の基本とは何かを確認しておく				
				復習	0 歳児の関わりの発達をまとめる				
	第 4 回	内容	3 歳未満児の人間関係の発達②1・2 歳児	予習	1.2 歳児の発達を調べておく				
				復習	1.2 歳児の人との関わりの発達をまとめる 小テストの内容を確認する①				
	第 5 回	内容	3 歳以上児の人間関係の発達①3 歳児	予習	3 歳児の発達を調べておく				
				復習	小テストの内容を復習する①				
	第 6 回	内容	3 歳以上児の人間関係の発達②4・5 歳児	予習	4.5 歳児の発達を調べておく				
				復習	小テストの内容を確認する②				
	第 7 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係①乳幼児と遊び	予習	子どもの遊びを調べる				
				復習	小テストの内容を復習する②				
	第 8 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係②個の育ち	予習	事例プリントを読む				
				復習	小テストの内容を確認する③				
	第 9 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係③集団での育ち	予習	集団の形成について調べる				
				復習	小テストの内容を復習する③				
	第 10 回	内容	乳幼児期の自立心の育ち（ICT 活用）	予習	子どもの心の発達を調べる				
				復習	小テストの内容を確認する④				
	第 11 回	内容	幼児期の共同性の育ち	予習	プリントを読んでおく				
				復習	小テストの内容を復習する④				
	第 12 回	内容	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと育ち	予習	自身の事例をあげる				
				復習	小テストの内容を確認する⑤				
	第 13 回	内容	乳幼児を取り巻く人間関係（家庭・地域など）の関わりと育 ち	予習	身の周り（地域・家族）の事例を考える				
				復習	小テストの内容を復習する⑤				
	第 14 回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	予習	幼稚園教育要領第 1 章第 2 を読んでおく				
				復習	幼児期までに育って欲しい 10 の姿をまとめる				
	第 15 回	内容	幼児期に育みたい資質・能力と人間関係（ICT 活用）	予習	実習を通して子どもの人間関係と育みたい資質を 考える				
				復習	幼児期に育みたい資質・能力をまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。								
	課題へのフィ ードバック	課題や小テスト採点後返却し、説明を行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（40%）、課題（20%）、小テスト（20%）、授業態度（20%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』・解説書、プリント資料、								
参考文献	必要に応じてビデオ視聴を取り入れ、資料・プリントを配布しながら進める								
注意事項									

科 目 名	人間関係		単 位 数	1	実務経験	担当教員	いまい ゆみ 今井 由美	
ナンバリングコード	CHS12103		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	現代社会における諸課題を踏まえ、乳幼児の人間関係の育ちの基本や目的について理解し、乳幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。また、領域「人間関係」の指導基盤となるよう関係論的発達過程について学び、他者や集団との関係のなかで人と関わる力が育つことを理解する。							
到 達 目 標	1. 乳幼児期における人間関係をめぐる現代的課題を理解している 2. 乳幼児における人間関係の発達について理解している 3. 乳幼児の人間関係を育てるための知識を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（2,3,5）地域保育学科（）文化表現学科（）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション / 現代社会における保育と人間関係	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	保育における人間関係を把握する			
	第2回	内容	乳幼児教育の基本・目的	予習	乳幼児の生活をイメージしておく			
				復習	人間関係を学ぶ目的を理解する			
	第3回	内容	人間関係からみる発達過程①0歳児	予習	0歳児の発達を調べておく			
				復習	乳児の発達過程を整理する			
	第4回	内容	人間関係からみる発達過程②1,2歳児	予習	1,2歳児の発達を調べておく			
				復習	2歳児までの発達を整理する			
	第5回	内容	人間関係からみる発達過程③3歳児	予習	3歳児の発達を調べておく			
				復習	3歳児までの発達を整理する			
	第6回	内容	人間関係からみる発達過程④4,5歳児	予習	4,5歳児の発達を調べておく			
				復習	乳幼児の発達を整理、理解する			
	第7回	内容	遊びのなかでの人との関わり①遊びと育ち(グループワーク)	予習	乳幼児の遊びをイメージしておく			
				復習	遊びを通して学ぶことがあると理解する			
	第8回	内容	遊びのなかでの人との関わり②遊びと人間関係	予習	遊びから生まれる人間関係を考える			
				復習	遊びを通しての人間関係について整理する			
	第9回	内容	遊びのなかでの人との関わり③遊びの広がり	予習	人間関係が広がるような遊びを考えておく			
				復習	遊びを通しての人間関係の育ちを理解する			
	第10回	内容	人との関わりの基盤①自立心の育ち	予習	幼児にとっての自立を調べておく			
				復習	人間関係のなかで自立心が育つことを理解する			
	第11回	内容	人との関わりの基盤②協同性の育ち(グループワーク)	予習	幼児にとっての協同を調べておく			
				復習	ディスカッションの内容を整理する			
	第12回	内容	人との関わりの基盤③道徳性・規範意識	予習	幼児にとっての道徳性や規範意識を調べておく			
				復習	人間関係を通しての幼児の育ちを整理する			
	第13回	内容	生活を通して育つ人間関係(事例検討・グループワーク)	予習	乳幼児の生活や周囲との関わりを調べておく			
				復習	乳幼児の生活から学ぶ人間関係を理解する			
	第14回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	予習	幼児期の終わりまでの育って欲しい姿を調べる			
				復習	授業を踏まえ指針や要領改訂ポイントを整理する			
	第15回	内容	幼児期に育みたい資質・能力と人間関係	予習	幼児期に育みたい資質・能力を調べておく			
				復習	授業を踏まえ指針や要領改訂の意味を理解する			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題や小テストを返却し、説明やコメントをする						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 60 %）、授業態度（ 40 %）						
教科書	なし							
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省）『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍）『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）							
注意事項								

科 目 名	環境		単 位 数	1	実務経験	担当教員 なかむら よういち 中 村 陽 一	
ナンバリングコード	CHS12104		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	子どもは家庭・保育所・幼稚園・地域社会などの「環境」の中で生活し、その体験を通じて、人格形成の基礎となる豊かな心情、思考力や想像力、意欲や態度などが培われる。本講義は、子どもの成長にとって望ましい「環境」を、主に「物的環境」「自然環境」「社会環境」の面から捉え、保育者に求められる援助について理解することを目的とする。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。						
到 達 目 標	1. 子どもの成長にとって望ましい自然体験と保育者の適切な援助方法について理解している。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、自分の考えを述べることができる。 3. 自然と生命を尊重する態度を身に付け、子どもに伝えることができる。 4. 保育内容「環境」と小学校「生活科」の連続性について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（2.4.5.6）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり	予習	幼稚園教育要領 第1章を読む。		
				復習	教科書 9 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第2回	内容	領域「環境」のねらいと内容－「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」。	予習	教科書 1～8p を読む。		
				復習	教科書 9 p の演習課題 1 に取り組む。		
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室、園舎）。	予習	教科書 11～15p を読む。		
				復習	教科書 25 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。	予習	教科書 27～31p を読む。		
				復習	教科書 25 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境	予習	教科書 45～47p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 1 に取り組む。		
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－自然環境と保育実践（自然への気づき・季節感）	予習	教科書 47～54p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－動物との関わり、飼育動物の特徴と配慮	予習	教科書 54～57p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－植物の関わり、栽培植物の特徴と配慮、実践例	予習	教科書 57～58p を読む。		
				復習	教科書 41 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－社会環境と地域性、情報化と保育	予習	教科書 61～67p を読む。		
				復習	教科書 75 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－情報と生活、伝統的な行事との関わり、地域や施設との関わり	予習	教科書 67～75p を読む。		
				復習	教科書 75 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数、子どもの生活と文字	予習	教科書 77～84p を読む。		
				復習	教科書 91 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり	予習	教科書 84～91p を読む。		
				復習	教科書 91 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第13回	内容	小学校教育への連続性－保育内容「環境」と小学校教育の「生活科」「総合学習」への連続性	予習	教科書 93～99p を読む。		
				復習	教科書 108 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第14回	内容	保育内容「環境」に関わる教育思想の変遷－ペスタロッチ・フレーベル・オウエン・倉橋惣三など。	予習	配布された資料を読む		
				復習	環境を通した保育思想についてまとめる。		
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	教科書 123～126p を読む。		
				復習	教科書 126 p の演習課題 1 に取り組む。		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、その後、解答の解説と振り返りを行う。					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（20%）					
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）						
参考文献	なし						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。						

科 目 名	言葉	単 位 数	1	実務経験	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永 修
ナンバリングコード	CHS12105	授業形態	演習			
授 業 の 内 容	人が社会の中で生活するために必要な言葉の意義や機能、乳幼児の言葉の発達過程、言葉の楽しさや美しさなどを映像や事例を通して具体的に学ぶ。また、保育の中で効果的に活用できるように、児童文化財についての教材研究を行い、また、実際に演じることで保育への活かし方について体験的に学ぶ。					
到 達 目 標	1. 「言葉」の意義や機能について理解している 2. 乳幼児の言葉の発達過程について理解している 3. 領域「言葉」のねらいや内容に基づく保育内容について理解している 4. それぞれの児童文化財の特徴を理解し保育への取り入れ方が身についている					
学位授与方針	幼児教育学科（ ２・３ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 幼児教育の捉え方について理解する	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得できる内容について理解する	
	第 2 回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、資質能力を育む学び、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る	
	第 3 回	内容	0から2歳児の保育における視点と領域及び幼児期にふさわしい教育について理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る	
	第 4 回	内容	環境を通しての教育について及び幼児期にふさわしい生活の展開について理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る	
	第 5 回	内容	保育者の様々な役割についての理解を深める	予習	保育者の仕事や果たす役割についてまとめておく	
				復習	授業の内容を踏まえテキストの該当箇所を読み返し、理解の定着を図る	
	第 6 回	内容	乳幼児期の発達とことば① からだで感じる世界と自分で広げる世界	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	映像視聴及び記録をもとにテキストの該当箇所と併せて振り返りを行う	
	第 7 回	内容	乳幼児期の発達とことば② 広がる活動世界	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	映像視聴及び記録をもとにテキストの該当箇所と併せて振り返りを行う	
	第 8 回	内容	人間にとっての言葉とは何か、言葉の意義と機能について理解する	予習	言葉の意義や機能についてについてまとめておく	
				復習	言葉の意義や機能について理解し日常の言葉に対して意識的に向き合う	
	第 9 回	内容	美しい言葉、楽しさを感じる言葉を通して自らの言語感覚について理解する	予習	美しい言葉、楽しさを感じる言葉について自分の考えをまとめておく	
				復習	授業の内容を受け、日常生活において意識して言葉を使用する	
	第 10 回	内容	日本語の特徴や魅力についての理解する	予習	日本語の特徴や魅力について自分なりにまとめておく	
				復習	魅力的な言葉を用いた声かけについてまとめる	
	第 11 回	内容	言葉と文化の関係性を理解し言葉の働きや役割を体験的に学ぶ	予習	言葉と文化について下調べをしておく	
				復習	体験学習を通して理解した言葉の働きや役割についてまとめる	
	第 12 回	内容	オノマトペについて理解し、オノマトペの持つ機能について体験的に学ぶ	予習	オノマトペについて事前学習をしておく	
				復習	保育におけるオノマトペの効果的な取り入れ方について考える	
	第 13 回	内容	様々な児童文化財について理解を深める	予習	児童文化財についての下調べをしておく	
				復習	それぞれの児童文化財の特徴や魅力をまとめる	
	第 14 回	内容	絵本の読み聞かせを通して、絵本についての理解を深める	予習	絵本を準備し、読み聞かせの練習しておく	
				復習	絵本の読み聞かせの方法と絵本についての知識のまとめを行う	
	第 15 回	内容	領域「言葉」のねらいと内容に基づいた保育内容について理解を深める	予習	要領、指針の領域「言葉」のねらい及び内容について再確認しておく	
				復習	ねらいや内容に基づいた保育内容についてまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（70％）、授業参加度（30％）					

教科書	『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林
参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
注意事項	本授業は演習授業のため、積極的に授業に参加することを望みます。

科 目 名	造形表現		単 位 数	1	実務経験	担当教員	とよいずみ なおみ 豊 泉 尚美	
ナパリングコート®	CHS12106		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	幼児の造形表現について、その発達の姿と重要性を理解し、幼児の感性や創造性を豊かに育むための表現遊びや環境構成などの専門的な知識・技能を学ぶ。また、幼児の表現を支えるために自身の感性も大切にしながら表現力を身につける。							
到 達 目 標	1. 幼児期に特徴的な造形的表現について理解し、それを受け止めて共感したうえで造形活動の指導計画が立案できる。 2. 様々な表現の基礎的知識・技能を活かし、幼児の造形表現活動に展開できる。 3. 自然と生命を大切にすることをもち、それを子どもに伝えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ②③⑥⑦ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園保育教育要領における領域「表現」について・授業の進め方	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園保育教育要領における領域「表現」の項を読んでくる。			
				復習	授業で示された「表現」の学習方法についてまとめる。			
	第 2 回	内容	幼児画と造形活動の発達について～保育事例の映像を通して～（ICT 活用）	予習	幼児画について調べる。			
				復習	造形活動の発達と幼児画についてまとめる。			
	第 3 回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う。 ①自然の色・自然の美しさ（ICT 活用）	予習	自然の色や美しさを見つけてくる。			
				復習	実践した造形表現活動についてまとめる。			
	第 4 回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う。 ②自然素材でスタンピング	予習	造形活動に適した自然素材を見つける。			
				復習	授業で行った造形活動をまとめる。			
	第 5 回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う。 ③自然素材を使った描画	予習	造形活動に適した自然素材を見つける。			
				復習	実践した造形表現活動についてまとめる。			
	第 6 回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う。 ④自然素材でコラージュ（ICT 活用）	予習	モダンアートの造形技法を調べる。			
				復習	実践した造形表現活動についてまとめる。			
	第 7 回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う。 ⑤自然素材と描画材を組み合わせる。	予習	幼児が使う描画材を調べ、準備する。			
				復習	実践した造形表現活動をまとめ、振り返る。			
	第 8 回	内容	季節と自然に関わる伝承遊びや行事を学び、季節をテーマにした制作を行う。 ①春～夏 編	予習	季節に関わる行事を調べる。			
				復習	春から夏の季節に関する制作についてまとめる。			
	第 9 回	内容	季節と自然に関わる伝承遊びや行事を学び、季節をテーマにした制作を行う。 ②秋～冬編	予習	自然に関わる伝承遊びを調べる。			
				復習	秋から冬の季節に関する制作についてまとめる。			
	第 10 回	内容	造形表現活動を支える環境構成について ～レッジョ・エミリアの幼児教育から～（ICT 活用）	予習	レッジョ・エミリアについて調べる。			
				復習	レッジョ・エミリアの幼児教育の特徴をまとめる。			
	第 11 回	内容	造形表現のプロジェクト活動について ～共同制作のテーマを決める～	予習	レッジョ・エミリアでのプロジェクトについて調べる。			
				復習	所属するグループのプロジェクトをまとめる。			
	第 12 回	内容	プロジェクトのテーマに沿った制作の準備と制作	予習	制作に必要な素材と道具を準備する。			
				復習	制作したプロセスをまとめ、次回への準備をする。			
	第 13 回	内容	テーマに沿った制作を完成する。	予習	グループ制作にあたっての工夫点を考える。			
				復習	作品完成後の振り返りをまとめる。			
	第 14 回	内容	プロジェクトのドキュメンテーションを作成する。	予習	ドキュメンテーション作成に必要な情報を集める。			
				復習	ドキュメンテーション完成に必要な作業をする。			
	第 15 回	内容	グループで作品とドキュメンテーションの発表を行う。	予習	所属するグループの作品発表の練習をする。			
				復習	発表後の振り返りを行い、問題点をまとめる。			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題・発表・ドキュメンテーション作成の過程で、また制作後に講評する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、実技（ %）、授業態度（30 %）						
	教科書	『地球市民を育てる～子どもと自然をむすぶ～』森下英美子、豊泉尚美 著・主文社）						
	参考文献	『センス・オブ・ワンダー』レイチェル・カーソン著・新潮社 『子どもたちの 100 の言葉』レッジョ・チルドレン編・学習研究社						
	注意事項							

科 目 名	音楽・身体表現			単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおぎき はせがわ しかと 塩 崎 ・ 長谷川 ・ 鹿 戸
ナソバ・リンク・コート	CHS12107			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	領域「表現」における音楽・身体表現に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境について実践的に学ぶ。また、音楽表現および身体表現を応用し、総合的な表現を検討・実践することで、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。							
到 達 目 標	1. 見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3、7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	「表現とは」 領域「表現」のねらい及び内容について理解する	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第 2 回	内容	身体表現 1：音楽やリズムを手掛かりとして	予習	教科書の身体表現遊びの項を読んでくる。			
				復習	本時の動き、授業内容をノートにまとめる			
	第 3 回	内容	身体表現 2：架空の表現遊びから作品へ	予習	身体表現遊びの題材について一つ以上考えてくる			
				復習	架空の表現遊びの流れについてノートにまとめる			
	第 4 回	内容	身体表現 3：絵本を題材に、生活の中から題材に	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる			
				復習	本時の内容をノートにまとめる			
	第 5 回	内容	音楽表現 1：わらべうた遊びの活動をもとに、保育における遊びと音楽の関係性について、発達もふまえながら理解する	予習	第 1 回の授業を確認しておく			
				復習	本時の内容についてノートにまとめ、遊びと音楽の関わり的重要性を理解する			
	第 6 回	内容	音楽表現 2：身体を使って音楽表現したり、イメージから想起する音や環境の音を楽器や廃材を使って創作したりする	予習	身の回りの音に耳を傾けて音集めをしたり、音の質感について考えたりしてくる			
				復習	保育において音の質感を聞き取ることや音を創作して表現することの意義をノートにまとめる			
	第 7 回	内容	音楽表現 3：海外の音楽教育理論をふまえ、オスティナートを応用して器楽合奏を作成する術を理解する	予習	事前に配布した資料を読んでくる			
				復習	授業内容をふまえ、音楽教育理論をもとに音楽表現の応用を考えることの意義を理解してノートにまとめる			
	第 8 回	内容	総合的な表現 1：発表の方法を理解し、テーマとする童謡を選択する。	予習	第 1 回から第 7 回までの授業内容を確認する			
				復習	発表方法をノートにまとめ、テーマとした童謡の旋律や歌詞を確認する			
	第 9 回	内容	総合的な表現 2：テーマとする童謡の歌詞が示す表現をもとに発表内容の概要を計画し、使用する楽器や大道具を想定する。	予習	テーマとした童謡の旋律を理解し、歌詞を読み込む			
				復習	授業内の話し合いをふまえ、発表内容の概要をノートにまとめる			
	第 10 回	内容	総合的な表現 3：発表内容に合わせ、身体表現（ダンス、フォーメーション）や音楽表現（歌唱、オスティナートによる合奏や効果音の作成）を工夫し、全体の流れを動画で記録する（ICT の活用）。	予習	発表内容の概要をふまえ、身体表現や音楽表現の案を考えたり、関連する楽曲を調べたりする			
				復習	動画を確認し、身体表現や音楽表現の方法をノートにまとめ、動画を活用しながら練習する（ICT の活用）			
	第 11 回	内容	総合的な表現 4：発表のリハーサルを行い、表現内容の修正点などについて検討する。	予習	前時までの決定事項を確認し、発表の進行について理解を深める			
				復習	表現内容の修正点とその理由をノートにまとめる			
	第 12 回	内容	総合的な表現 5：リハーサルによる表現内容の修正点をふまえ、表現を再検討する。	予習	前時までの授業内容を確認し、表現内容の修正案を考える			
				復習	再検討した表現をノートにまとめる			
	第 13 回	内容	総合的な表現 6：表現の再検討をふまえ、発表内容をブラッシュアップして最終案を検討する。	予習	再検討した表現をふまえ、発表内容の進行を確認する			
				復習	ブラッシュアップした発表内容を、最終案としてノートにまとめる			
	第 14 回	内容	総合的な表現 7：発表し、振り返りを行う。	予習	最終案を確認し、自分の役割を覚える			
				復習	発表の振り返りをふまえ、総合的な表現の要点をノートにまとめる			
	第 15 回	内容	保育における音楽および身体表現の意義と、総合的な表現の意義について、グループ討議する。	予習	前時までのノートを確認し、音楽および身体表現、総合的な表現についてまとめておく			
				復習	グループ討議をふまえ、音楽および身体表現、総合的な表現の意義について、ノートにまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない							

	成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（30%）
教科書	後日連絡する
参考文献	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版
注意事項	出欠も評価の対象とする。身体表現の実技の際は、指定のジャージを着用のこと。授業内容はノートに記録し、配布資料を貼るなどしてまとめること。（塩崎 8 ・長谷川 8 ・鹿戸 0）

科 目 名	音楽Ⅰ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一 範 他	
ナンバリングコード	E D S12101		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽の基礎的な知識や理論（楽典）、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。							
到 達 目 標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2 3 7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 授業内容、進め方について	予習	事前にシラバスを読んでおく			
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく			
	第2回	内容	ハ長調の和音・分散和音の伴奏形① 教本 No.1～8	予習	教本 No.1～8 の予習			
				復習	教本 No.1～8 の復習			
	第3回	内容	分散和音の伴奏形②・③ 教本 No.9～16	予習	教本 No.9～16 の予習			
				復習	教本 No.9～16 の復習			
	第4回	内容	分散和音の伴奏形④ 4分音符と8分音符 教本 No.17～24	予習	教本 No.17～24 の予習			
				復習	教本 No.17～24 の復習			
	第5回	内容	ハ長調の下属和音 教本 No.25～26	予習	教本 No.25～26 の予習			
				復習	教本 No.25～26 の復習			
	第6回	内容	ヘ長調の主和音・下属和音・属和音 教本 No.27～32	予習	教本 No.27～32 の予習			
				復習	教本 No.27～32 の復習			
	第7回	内容	ト長調の主和音・下属和音・属和音 教本 No.33～38	予習	教本 No.33～38 の予習			
				復習	教本 No.33～38 の復習			
	第8回	内容	いろいろな伴奏形①・②・③・④ 教本 No.39～42	予習	教本 No.39～42 の予習			
				復習	教本 No.39～42 の復習			
	第9回	内容	高い音の練習 教本 No.43～46	予習	教本 No.43～46 の予習			
				復習	教本 No.43～46 の復習			
	第10回	内容	3/8拍子と6/8拍子 教本 No.47～48 生活のうたの弾き歌い①	予習	教本 No.47～48 他の予習			
				復習	教本 No.47～48 他の復習			
	第11回	内容	付点4分音符を用いたリズム 教本 No.49～54 生活のうたの弾き歌い②	予習	教本 No.49～54 他の予習			
				復習	教本 No.49～54 他の復習			
	第12回	内容	ハ長調の音階 教本 No.55～58 生活のうたの弾き歌い③	予習	教本 No.55～58 他の予習			
				復習	教本 No.55～58 他の復習			
	第13回	内容	ヘ長調の音階 教本 No.59～61 生活のうたの弾き歌い④	予習	教本 No.59～61 他の予習			
				復習	教本 No.59～61 他の復習			
	第14回	内容	ト長調の音階 教本 No.62～67 生活のうたの弾き歌い⑤	予習	教本 No.62～67 他の予習			
				復習	教本 No.62～67 他の復習			
	第15回	内容	これまでの授業のまとめと発表	予習	発表曲の予習			
				復習	指導を受けた点を復習する			
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（10%）、作品・発表（30%）、実技（50%）、授業態度（10%）						
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項	各15回（鹿戸・有賀・阿部・加畑・木住野・河野・櫻澤・諏訪・高尾・高橋・辻・土屋・綱川・長島・横田）							

科 目 名	音楽Ⅱ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	しかと かずのり 鹿 戸 一 範 他
ナンバリングコード	EDS12102	授業形態	演習			
授 業 の 内 容	音楽Ⅰに引き続き、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽の基礎的な知識や理論（楽典）、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。					
到 達 目 標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（ 2 3 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第1回	内容	臨時記号と半音階 教本 No.68～69 季節のうた（春）弾き歌い①	予習	教本 No.68～69 他の予習	
				復習	教本 No.68～69 他の復習	
	第2回	内容	16分音符を用いたリズム 教本 No.70～72 季節のうた（春）弾き歌い②	予習	教本 No.70～72 他の予習	
				復習	教本 No.70～72 他の復習	
	第3回	内容	イ短調の主要三和音 教本 No.73～76 季節のうた（春）弾き歌い③	予習	教本 No.73～76 他の予習	
				復習	教本 No.73～76 他の予習	
	第4回	内容	6度・3度の重音 教本 No.77～78 季節のうた（夏）弾き歌い①	予習	教本 No.77～78 他の予習	
				復習	教本 No.77～78 他の復習	
	第5回	内容	3連符 教本 No.79～80 季節のうた（夏）弾き歌い②	予習	教本 No.79～80 他の予習	
				復習	教本 No.79～80 他の復習	
	第6回	内容	へ長調よりハ長調への転調 教本 No.81 季節のうた（夏）弾き歌い③	予習	教本 No.81 他の予習	
				復習	教本 No.81 他の復習	
	第7回	内容	3度の重音と8度の跳躍 教本 No.82 季節のうた（秋）弾き歌い①	予習	教本 No.82 他の予習	
				復習	教本 No.82 他の復習	
	第8回	内容	弱起の曲 教本 No.83～84 季節のうた（秋）弾き歌い②	予習	教本 No.83～84 他の予習	
				復習	教本 No.83～84 他の復習	
	第9回	内容	ニ長調とニ短調の主要三和音 教本 No.85～86 季節のうた（秋）弾き歌い③	予習	教本 No.85～86 他の予習	
				復習	教本 No.85～86 他の復習	
	第10回	内容	装飾音 教本 No.87～90 季節のうた（冬）弾き歌い①	予習	教本 No.87～90 他の予習	
				復習	教本 No.87～90 他の復習	
	第11回	内容	複付点音符 教本 No.91 季節のうた（冬）弾き歌い②	予習	教本 No.91 他の予習	
				復習	教本 No.91 他の復習	
	第12回	内容	教本 No.92～94 季節のうた（冬）弾き歌い③	予習	教本 No.92～94 他の予習	
				復習	教本 No.92～94 他の復習	
	第13回	内容	マーチ、その他① 教本 No.95～98	予習	マーチ曲（教本 No.95～98）他の予習	
				復習	マーチ曲（教本 No.95～98）他の復習	
	第14回	内容	マーチ、その他② 教本 No.99～102	予習	マーチ曲（教本 No.99～102）他の予習	
				復習	マーチ曲（教本 No.99～102）他の復習	
	第15回	内容	マーチ、その他③ 教本 No.103～107	予習	教本 No.103～107 他の予習	
				復習	教本 No.103～107 他の復習	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（10%）、作品・発表（30%）、実技（50%）、授業態度（10%）					
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）					
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。					
注意事項	各15回（鹿戸・有賀・阿部・加畑・木住野・河野・櫻澤・諏訪・高尾・高橋・辻・土屋・綱川・長島・横田）					

科 目 名	音楽Ⅲ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一 範 他	
ナンバリングコード	E D S 12201		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	音楽Ⅰ、音楽Ⅱで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。							
到 達 目 標	1. 音楽Ⅰ、音楽Ⅱで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2 3 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	事前にシラバスを読んでおく			
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく			
	第2回	内容	園生活のうた 弾き歌い① 「おはよう」「おはようのうた」他	予習	「おはよう」「おはようのうた」の予習			
				復習	「おはよう」「おはようのうた」を復習			
	第3回	内容	園生活のうた 弾き歌い② 「おべんとう」「おかえりのうた」他	予習	「おべんとう」「おかえりのうた」の予習			
				復習	「おべんとう」「おかえりのうた」の復習			
	第4回	内容	園生活のうた 弾き歌い③ 「さよならのうた」他	予習	「さよならのうた」の予習			
				復習	「さよならのうた」の復習			
	第5回	内容	季節のうた 4月① 他 「あくしゅでこんにちは」「せんせいとおともだち」	予習	「あくしゅでこんにちは」他の予習			
				復習	「せんせいとおともだち」他の復習			
	第6回	内容	季節のうた 4月② 「チューリップ」「ちょうちょう」「めだかの学校」他	予習	「チューリップ」「ちょうちょう」他の予習			
				復習	「ちょうちょう」「めだかの学校」他の復習			
	第7回	内容	季節のうた 5月① 「手をたたきましよう」「こいのぼり」他	予習	「手をたたきましよう」「こいのぼり」他の予習			
				復習	「手をたたきましよう」「こいのぼり」他の復習			
	第8回	内容	季節のうた 5月② 「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他	予習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の予習			
				復習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の復習			
	第9回	内容	季節のうた 6月① 「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」他	予習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の予習			
				復習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の復習			
	第10回	内容	季節のうた 6月② 「とけいのうた」「すてきなパパ」他	予習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の予習			
				復習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の復習			
	第11回	内容	季節のうた 7・8月① 「たなばたさま」「うみ」他	予習	「たなばたさま」「うみ」の予習			
				復習	「たなばたさま」「うみ」の復習			
	第12回	内容	季節のうた 7・8月② 「おばけなんてないさ」「シャボン玉」他	予習	「おばけなんてないさ」「シャボン玉」他の予習			
				復習	「おばけなんてないさ」「シャボン玉」他の復習			
	第13回	内容	あそびのうた① 「グーチョキパーでなにつくろう」他	予習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の予習			
				復習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の復習			
	第14回	内容	あそびのうた② 「とんとんとんとんひげじいさん」他	予習	「とんとんとんとんひげじいさん」他の予習			
				復習	「とんとんとんとんひげじいさん」他の復習			
	第15回	内容	あそびのうた③ 「むすんでひらいて」「こぶたぬきつねこ」他	予習	「むすんでひらいて」他の予習			
				復習	「こぶたぬきつねこ」他の復習			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 30 %）、実技（ 50 %）、授業態度（ 20 %）						
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項	各 15 回（鹿戸・有賀・阿部・加畑・木住野・河野・櫻澤・諏訪・高尾・高橋・辻・土屋・綱川・長島・横田）							

科 目 名	音 楽Ⅳ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	しかと かずのり 鹿 戸 一 範 他	
ナンバリングコード	E D S 12202			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	音楽Ⅰ～Ⅲで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。								
到 達 目 標	1. 音楽Ⅰ～Ⅲで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2 3 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	季節のうた 9月①	予習	「とんぼのめがね」「つき」他の予習				
			「とんぼのめがね」「つき」他	復習	「とんぼのめがね」「つき」他の復習				
	第2回	内容	季節のうた 9月②	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習				
			「きらきら星」「どんぐりころころ」他	復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習				
	第3回	内容	季節のうた 10月①	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習				
			「やきいもグーチャーパー」「きのこ」他	復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習				
	第4回	内容	季節のうた 10月②	予習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の予習				
			「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」他	復習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の復習				
	第5回	内容	季節のうた 11月①	予習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の予習				
			「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」他	復習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の復習				
	第6回	内容	季節のうた 11月②	予習	「タヤけこやけ」「たきび」他の予習				
			「タヤけこやけ」「たきび」他	復習	「タヤけこやけ」「たきび」他の復習				
	第7回	内容	季節のうた 12月①	予習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の予習				
			「あわてんぼうのサンタクロース」他	復習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の復習				
	第8回	内容	季節のうた 12月②	予習	「ジングルベル」他の予習				
			「ジングルベル」他	復習	「ジングルベル」他の復習				
	第9回	内容	季節のうた 1月①	予習	「お正月」「雪」他の予習				
			「お正月」「雪」他	復習	「お正月」「雪」他の復習				
	第10回	内容	季節のうた 1月②	予習	「雪のこぼうず」「雪のぺんきやさん」他の予習				
			「雪のこぼうず」「雪のぺんきやさん」他	復習	「雪のこぼうず」「雪のぺんきやさん」他の復習				
	第11回	内容	季節のうた 2月①	予習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の予習				
			「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他	復習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の復習				
	第12回	内容	季節のうた 2月②	予習	「春がきた」「どこかで春が」他の予習				
			「春がきた」「どこかで春が」他	復習	「春がきた」「どこかで春が」他の復習				
	第13回	内容	季節のうた 3月①	予習	「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他の予習				
			「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他	復習	「思い出のアルバム」他の復習				
	第14回	内容	季節のうた 3月②	予習	「一年生になったら」他の予習				
			「さよならぼくたちのほいくえん」「一年生になったら」他	復習	「さよならぼくたちのほいくえん」他の復習				
	第15回	内容	コードネームを用いた伴奏づけ	予習	コードネームについての予習				
				復習	コードネームを用いた伴奏の練習				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。㍻							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 30 %）、実技（ 50 %）、授業態度（ 20 %）							
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）								
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。								
注意事項	各 15 回（鹿戸・有賀・阿部・加畑・木住野・河野・櫻澤・諏訪・高尾・高橋・辻・土屋・綱川・長島・横田）								

科 目 名	教 育 社 会 学			単 位 数	2	実務経験	担当教員	のぶた り な 信田 理奈	
ナンバリングコード	SOE12101			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	AI や IoT による第四次産業革命が加速するなか、プログラミング学習などを取り入れた教育改革が進められようとしている。しかしその一方で、いじめ、不登校、引きこもり、ネット依存、ブラック校則、教育格差、ワンオペ育児、セクシュアリティなどの問題が後を絶たない。授業では、グローバル化や ICT により変動する社会との関係から教育事象を捉え、いかなる社会的要因が教育問題の発生や増減に影響しているかを考える。								
到 達 目 標	1. 現代の教育事象について社会学的視点から説明できる。 2. 子どもを取り巻く環境と教育的課題について理解している。 3. 保育や教育の現場で適用可能な社会学的思考力を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 4,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、教育事象を捉える視角	予習	教育に関する最新の動きを調べる				
				復習	教育社会的思考とは何かを理解する				
	第 2 回	内容	家族の機能と子どもの社会化	予習	子どものしつけの実態について調べる				
				復習	家庭の教育力低下の要因について理解する				
	第 3 回	内容	成育環境としての地域とコミュニティ	予習	地域の変容と子どもの遊びについて調べる				
				復習	地域の教育力低下の要因について理解する				
	第 4 回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応① いじめ	予習	いじめ増加の背景に何があるかを調べる				
				復習	いじめ問題の社会的アプローチを理解する				
	第 5 回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応② 不登校	予習	不登校増加の背景に何があるかを調べる				
				復習	不登校への対応についてノートにまとめる				
	第 6 回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応③ ブラック校則	予習	校則の教育的意義とは何かを考える				
				復習	管理教育の動きと問題点について理解する				
	第 7 回	内容	子ども・若者の貧困と居場所づくり	予習	子ども・若者にとって居場所とは何かを考える				
				復習	子ども食堂の機能と課題について理解する				
	第 8 回	内容	グローバリゼーションと教育格差① 途上国の子どもたち	予習	途上国の就学率と識字率について調べる				
				復習	貧困による負の連鎖についてノートにまとめる				
	第 9 回	内容	グローバリゼーションと教育格差② 先進国の子どもたち	予習	子どもの幸福度は何に影響されるかを考える				
				復習	世帯収入と学力との関係について理解する				
	第 10 回	内容	ICT と教育の情報化① プログラミング教育	予習	PISA に基づく学力観について調べる				
				復習	ICT 教育推進の課題についてノートにまとめる				
	第 11 回	内容	ICT と教育の情報化② スマホ育児、ネット依存	予習	ネット社会の負の側面について調べる				
				復習	情報活用能力について理解する				
	第 12 回	内容	教育・子育てとジェンダー① 隠れたカリキュラム	予習	隠れたカリキュラムの事例について調べる				
				復習	ジェンダー秩序の再生産について理解する				
	第 13 回	内容	教育・子育てとジェンダー② ワンオペ育児	予習	ワンオペ育児の背景と要因について調べる				
				復習	ワーク・ライフ・バランスについて理解する				
	第 14 回	内容	教育・子育てとジェンダー③ 人権としての LGBT 教育	予習	LGBT の子どもへの対応について考える				
				復習	多様な性と人権について理解する				
	第 15 回	内容	持続可能な社会と教育、多様性の尊重に向けて	予習	持続可能な開発目標（SDGs）について調べる				
				復習	持続可能な社会と教育の役割を理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを付して返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 70 %）、授業態度（ 30 %）							
教科書	なし								
参考文献	『シリーズ現代の教職 7 新しい時代の教育社会学』（加野芳正・越智康詞、ミネルヴァ書房） 『新版 教育の社会学』（荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗、有斐閣アルマ）								
注意事項	日頃から教育に関する最新のニュースに目を通し、問題意識をもって授業に臨むこと。								

科 目 名	教育方法・技術論		単 位 数	1	実務経験	担当教員	あさい　たくや 浅井　拓久也
ナソバ・リンク・コート	EDU12203	授業形態	演習				
授 業 の 内 容	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育むために、保育者として必要な教育方法や教育技術、情報機器を用いた教材作成・活用方法を学ぶ。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。						
到 達 目 標	1. 3 法令の原理や原則を理解している。 2. 幼児教育に必要な理論的な知識や、実践的な技術を身につけている。 3. 情報機器を用いた教材の作成や活用ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（　　　　　）文化表現学科（　　　　　）						
授 業 計 画	第1回	内容	教育方法・技術論の目的	予習	シラバス及び教科書の目次を読む		
				復習	本講座から学びたいことを3つ書く		
	第2回	内容	幼稚園教育要領の概要：幼稚園教育の目的と特徴	予習	幼稚園教育要領の第1章を読む		
				復習	社会に開かれた教育課程についてまとめる		
	第3回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要：認定子ども園の目的と特徴	予習	教育・保育要領の第1章を読む		
				復習	要領と教育・保育要領との違いをまとめる		
	第4回	内容	情報機器を活用した幼児教育	予習	なぜ情報機器を幼児教育で活用するか考える		
				復習	情報機器を活用した幼児教育を調べる		
	第5回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：情報機器の基本的な使い方	予習	情報機器の活用に関する倫理をまとめる		
				復習	情報機器の基本的な操作を一覧表にまとめる		
	第6回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：部分実習指導案の作成	予習	部分実習指導案を考える		
				復習	情報機器を活用して指導案を作る		
	第7回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：園と保護者をつなぐ多様なツール	予習	なぜ園だよりが必要か考える		
				復習	保護者支援についてまとめる		
	第8回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：実際の園だよりの作成	予習	見本となる園だよりを準備する		
				復習	情報機器を活用して園だよりを作る		
	第9回	内容	ドキュメンテーションを通じた子どもたちの主体的で対話的な学びの実現	予習	ドキュメンテーションとは何か調べる		
				復習	ドキュメンテーションを作る		
	第10回	内容	幼児教育における児童文化財とその活用方法	予習	なぜ幼児教育に絵本が必要か考える		
				復習	物語完結型の紙芝居を3つ調べる		
	第11回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：絵本や紙芝居の構成	予習	絵本と紙芝居の違いを調べる		
				復習	なぜ紙芝居には舞台が必要かまとめる		
	第12回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：グループワークでストーリー作成	予習	どのようなストーリーにするか考える		
				復習	なぜストーリーが重要かまとめる		
	第13回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：デザインや写真の作成	予習	パワーポイントの基本的な使い方を調べる		
				復習	アニメーションの使い方を一覧表にまとめる		
	第14回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：自分の作品の発表	予習	発表する作品を事前に読んでおく		
				復習	紙芝居の基本的な演じ方をまとめる		
	第15回	内容	これからの時代の教育方法・技術論	予習	第1回から第14回までのノートを見直す		
				復習	本講座から学んだことを書く		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（　）しない 成績評価の方法：筆記試験（40％）、作品・発表（50％）、授業態度（10％）						
教科書	『マンガでわかる！幼稚園教育要領　2017年告示対応版』（浅井拓久也、中央法規出版）						
参考文献	『保育所保育指針〈平成29年告示〉』（厚生労働省、フレーベル館）、『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』（文部科学省、フレーベル館）						
注意事項	PC 教室の利用可否によって、授業計画を変更することがある。						

科 目 名	教育相談		単 位 数	2	実務経験	担当教員	みよし ちから いう あきよし 三好 力・伊藤 明芳
ナソパリングコード	EDP12203		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	教育相談は、子どもを多面的に理解し、保護者に対しては、家庭や園における子どもの問題について、プラスの方向にもっていくアドバイス等を行う実践活動である。本講義では、現場で役に立ち、かつ子どもと保護者の気持ちに寄り添う教育相談の実践力を身に付ける。						
到 達 目 標	1. 教育相談の基本を習得している。 2. 保護者が元気に子育てできるようなアドバイス等を習得している。 3. 子どもの気持ちに寄り添うセンスや工夫を習得している。 4. カウンセリングの諸技法の理論・スキルを習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	オリエンテーション・教育相談とは何か	予 習	シラバスからキーワードを調べレポートにまとめる		
				復 習	この科目で習得すべき内容をノートにまとめる		
	第 2 回	内 容	親になるということ① 妊娠期	予 習	妊娠期の気持ちについて調べノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 3 回	内 容	親になるということ② 出産	予 習	出産時の気持ちについて調べノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 4 回	内 容	保護者の信頼を得る文章作成方法 ～保育者・教員に必要な資質～	予 習	アカデミックライティングについて調べノートにまとめる		
				復 習	自分のノートの文法のミス等を赤で訂正する		
	第 5 回	内 容	第一子の子育ての意味合い ～多面的理解～	予 習	保護者に子育てについての感想を聞いてノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 6 回	内 容	発達の凸凹のある子どもの子育て～アセスメント～	予 習	発達の凸凹について調べノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 7 回	内 容	障がいのある子どもの子育て ～コンサルテーション～	予 習	障がいについて調べノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 8 回	内 容	難しい親への対応 ～チーム対応～	予 習	難しい親への対応について調べノートにまとめる		
				復 習	保育者として心がける点をノートにまとめる		
	第 9 回	内 容	教育相談で心がけること ～発達心理学・臨床心理学の視点～	予 習	保育者として面談等で心がける点をノートにまとめる		
				復 習	学んだことをレポートにまとめる		
	第 10 回	内 容	学習到達確認課題	予 習	今までのノート・資料を読んでおく		
				復 習	シラバスと照らし合わせ自分の学びの状況を振り返る		
	第 11 回	内 容	教育相談の支援内容	予 習	実習で出会った難しい事例をノートにまとめる		
				復 習	保育者として心がける点をノートにまとめる		
	第 12 回	内 容	グループワーク① 親を元気にする支援方法	予 習	保護者を元気にする言葉をリストアップする		
				復 習	他の学習者から得た言葉をノートにまとめる		
	第 13 回	内 容	グループワーク② 子どもを元気にする支援方法	予 習	子どもを元気にする言葉をリストアップする		
				復 習	他の学習者から得た言葉をノートにまとめる		
	第 14 回	内 容	グループワーク③ 親子を元気にする支援方法	予 習	親子を元気にする言葉をリストアップする		
				復 習	他の学習者から得た言葉をノートにまとめる		
	第 15 回	内 容	振り返りとまとめ	予 習	自分の学びを振り返ってまとめる		
				復 習	講師・他の学習者の視点をノートにまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	コメントを添えて返却する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 25%）、作品・発表（25 %）、実技（ %）、授業態度（50 %）						
教科書	出版後指示する。それまでは適宜資料を配布する。						

参考文献	『子どものこころを育てる「ひとこと」探し』（菅野 純、ほんの森出版） 『子どもの問題と「いまできること」探し』（菅野 純、ほんの森出版）
注意事項	1. 積極的に自分の感じ考えたことを発言することを期待する。 2. 体験学習も行うので「楽しみながら」取り組むことを期待する。

科 目 名	保育・教職実践演習 (幼稚園)		単 位 数	2	実務経験	担当教員	とよいずみ　まるはし　おおくま 豊 泉・丸 橋・大 熊
ナバリングコード	EDU12204		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	これまでの教育に関する科目および教職に関する科目の学修や実習経験を踏まえ、保育士・幼稚園教諭として必要な学びを振り返り、将来の教職生活のために自己課題を見つける。 尚、学生が主体的に学ぶことを基本とし、これまで履修してきた科目や実習とのつながりを理解し、保育を総合的に捉えることができるよう演習を展開する。						
到 達 目 標	幼児教育学科のディプロマポリシーに照らして、本演習を通して保育士・幼稚園教諭として必要な以下の資質能力を身につける。 1. 幼児教育学・保育学の知識と技能をしっかりと習得している。 2. 自分で積極的に課題を見つけて考えることができる。 3. 他の人たちと対話を重ね、互いの良さを生かして協働する姿勢を身につけている。 4. 子どもを取り巻く環境や、子どもを巡る様々な社会問題の理解を通して、多様なものの見方ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（①②③④⑤⑥⑦）地域保育学科（　　　　　）文化表現学科（　　　　　）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育・教職実践演習の授業の進め方について	予習	この授業についてシラバスを読んでおく。		
				復習	授業の概要をまとめる。		
	第 2 回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (1) 講義・レポート	予習	保育者の役割・職務内容について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 3 回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (2) グループ討論	予習	グループ討論に必要な情報をまとめる。		
				復習	グループ討論の内容をまとめる。		
	第 4 回	内容	学級経営、学級経営案の作成について（講義・レポート）	予習	学級経営について調べてくる。		
				復習	授業内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 5 回	内容	幼児の理解について（講義・レポート）	予習	幼児を理解するための方法について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 6 回	内容	組織の一員としての自覚（講義・レポート）	予習	組織で協働することについて調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 7 回	内容	子どもを取り巻く環境、子育てに関する社会問題について （講義・レポート）	予習	子どもを巡る社会問題について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 8 回	内容	感性と認識についてのフィールドワーク（自然保育実習）	予習	幼児の感性について調べる。		
				復習	自然保育実習を振り返り、レポートを書く。		
	第 9 回	内容	各種実習の振り返り（講義・ポスター作成のガイダンス）	予習	各種実習について振り返る。		
				復習	講義内容を振り返り、まとめる。		
	第 10 回	内容	各種実習についてのポスター作成 (1) グループワーク	予習	ポスター作成に必要な資料を集める。		
				復習	グループの話し合いを振り返り、まとめる。		
	第 11 回	内容	各種実習についてポスター作成 (2) グループワーク	予習	ポスターの完成に必要な資料を準備する。		
				復習	ポスターを作成する。		
	第 12 回	内容	保育における活動を計画する。(1) グループワーク	予習	保育における様々な活動を調べる。		
				復習	話し合った計画についてまとめる。		
	第 13 回	内容	保育における活動を実践する。(2) ロールプレイ	予習	グループでの計画を実践するための材料を準備し、方法を調べる。		
				復習	実践してみたことを振り返り、まとめる。		
	第 14 回	内容	各種実習に関するポスター発表・グループワークの結果発表	予習	ポスター発表とグループワークの結果発表の準備・練習をする。		
				復習	発表の振り返りを行い、まとめる。		
	第 15 回	内容	授業全体の振り返り・資質能力の確認	予習	学科のディプロマポリシーを読み、自己課題を考える。		
				復習	授業全体を振り返り、自己課題をまとめる。		
	予習に要する学習時間：概ね　20 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 25　分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	課題への取り組み・ドキュメンテーション作成の過程で、また発表後に講評を行う。					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（　○　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　％）、レポート・課題（　30　％）、作品・発表（　40　％）、実技（　　％）、授業態度（　30　％）					
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	グループワークに積極的に参加すること。						

科 目 名	保育所実習 I	単 位 数	2	実務経験	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナンバリングコード	CHS12108	授業形態	実習	有		
授 業 の 内 容	これまでで講義、演習で学んだ内容を基礎として、保育所保育、保育所の機能・役割、保育士の職務内容について、実際の保育の場で観察・参加実習をすることで理解を深める。実習中は課題を明確にし、日誌へ記録し考察をする。 保育所実習のうち保育所実習 I は前期実習となる。					
到 達 目 標	1. 保育所の 1 日の流れを理解している。 2. 保育所の役割や機能について理解している。 3. 保育士の職務内容を理解している。 4. 観察、参加実習や子どもとの関わりを通して子どもを理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（ 1 2 3 4 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	第 1 回 実習施設について理解する 第 2 回 保育所における一日の流れを学ぶ 第 3 回 観察と記録により子どもを理解する 第 4 回 子どもの生活と遊びについて学ぶ 第 5 回 子どもの発達過程を理解し援助や関わり方を学ぶ 第 6 回 保育計画や発達過程に応じた保育内容を学ぶ 第 7 回 保育の環境について学ぶ 第 8 回 安全への配慮について学ぶ 第 9 回 保育者の個々の子どもへの対応について学ぶ 第 10 回 保育士の業務内容や役割分担、連携方法について学ぶ 第 11 回 保育士の役割と職業倫理について学ぶ 第 12 回 反省会を通し実習を振り返る					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 実習先評価（50%）、実習記録（30%）、実習課題（20%）					
教科書						
参考文献						
注意事項	※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。					

科 目 名	施設実習	単 位 数	2	実務経験	担当教員	し のはら あ み みよし ちから 志濃 原 亜美・三好 力
ナンバリングコード	SWS12203	授業形態	実習	有		
授 業 の 内 容	施設実習を通して、施設の役割や機能、日々の生活の展開、利用者の理解と関係の形成、保育者としての職務内容等について实际的に学習する。 保育士証を取得するため、保育実習（必修）の中に施設実習を行なうことが定められており、保育に関する講義や演習で学んできた内容を児童福祉施設、障害者支援施設等で実践するものである。					
到 達 目 標	1. 居住型及び通所型児童福祉施設等の利用者の生活を理解している。 2. 居住型及び通所型児童福祉施設等の保育士の役割について理解できている。 3. 居住型及び通所型児童福祉施設等の機能を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	1．実習施設の目的・機能の理解①（一日の生活の理解） 2．実習施設の目的・機能の理解②（利用児・者についての理解） 3．実習施設の人的・物的環境の理解①（施設職員の役割・協働について） 4．実習施設の人的・物的環境の理解②（施設の物的環境について） 5．施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得①（利用者の生活実態の把握） 6．施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得②（利用者への援助） 7．施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得③（利用者への援助のための間接業務） 8．保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解①（施設で働く保育士の役割） 9．保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解②（保育士と他職種との連携） 10．施設と地域・家庭・関係機関等との連携についての理解 11．反省会・まとめ① 12．実習施設の役割の理解 13．実習施設の社会的機能の理解 14．これからの施設の在り方への考察 15．反省会・まとめ②					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 実習（80%）、レポート・課題（ 10%）、日誌等書類作成（ 10%）					
教科書	『保育福祉小六法2020年版』（保育福祉小六法編集委員会編、みらい）					
参考文献	施設種別毎の「実習園資料」（本学実習資料室のもの）等を、数多く参照すること。					
注意事項	「福祉施設実習研究」で履修した内容を理解して実践すると同時に、施設の指導を受け、実習生としてふさわしい言動がとれるように、十分に留意すること。 また、実習関係報告書類の提出遅延、実習中の怠惰、非行等があった場合は、本学の「実習派遣規制基準」によって、実習の停止、中止等が行なわれる場合があり、保育士証取得ができないことになるので注意すること。 ※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。					

科 目 名	保育所実習Ⅱ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	あさい たくや 浅井 拓久也
ナソパリングコート°	CHS12210	授業形態	実習	有		
授 業 の 内 容	実習施設での具体的な実践を通して、保育所の役割や機能、保育の理解を深める。また、保育実習Ⅰ等での学びを踏まえ、子どもの保育や子育て支援、保育の計画や記録等について実際に取り組み、理解を深める。さらに、保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解したり、実習における自己の課題を明確化したりする。					
到 達 目 標	1. 現代社会での保育所の役割や機能について総合的に理解する。 2. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践・事例とともに理解する。 3. 保育の計画を適切に作成することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（１、２、３、４、５、７）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	実習施設での具体的な実践を通して、以下を学ぶ。 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 （１）養護と教育が一体となって行われる保育 （２）保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育理解 （１）子どもの心身の状態や活動の観察 （２）保育士等の援助や関わり （３）保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 （１）環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解 （２）入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 （３）関係機関や地域社会との連携・協働 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 （１）全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 （２）作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 （１）多様な保育の展開と保育士の業務 （２）多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実習施設による評価（５０％）、実習日誌の評価（３０％）、個別面談等（２０％）					
教科書	なし					
参考文献	『保育所保育指針〈平成２９年告示〉』（厚生労働省、フレーベル館）、『保育所保育指針解説 平成３０年３月』（厚生労働省、フレーベル館）』					
注意事項	※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。					

科 目 名	保育所実習指導Ⅰ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おぐち　　すぐる　　とりうみ　　ひろこ 小口　　偉　・鳥海　　弘子	
ナソバ・リング・コート®	CHS12109		授業形態	演習				
授 業 の 内 容	保育所実習に並行して行われる授業である。保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続書類の作成等について指導を行う。実習に対する課題を立て、事後の学習目標を明確にしていくことで実習に対する意欲を高める。							
到 達 目 標	1 保育所実習の意義・目的・内容を理解している。 2. 実習の計画、実践、観察、評価の方法について理解し実践できる。 3. 事前準備として実習課題を明確にし、取り組むことができる。 4. 事後指導の実習の統括と自己評価から、課題と目標を明確にしている。							
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（　　　　　）文化表現学科（　　　　　）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育所実習の意義・目的	予習	「保育施設とは」ノートにまとめる			
				復習	授業内容を振り返り、ノートにまとめる			
	第 2 回	内容	保育所実習の目的理解	予習	保育所実習の目的を考える			
				復習	授業内容を踏まえて、自分自身の実習の目的を考える			
	第 3 回	内容	前期実習の目的（参加、観察実習）	予習	事前に配布する資料を読む			
				復習	前期実習の目的を考えノートにまとめる			
	第 4 回	内容	前期実習参加の心得	予習	実習での注意事項を考える			
				復習	前期実習の心得をノートにまとめる			
	第 5 回	内容	実習手続き書類の作成指導（配当資料について）	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	清書をする（次回授業提出）			
	第 6 回	内容	実習手続き書類の作成指導（調査書について）	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	清書する（次回授業提出）			
	第 7 回	内容	参加、観察実習の留意点	予習	実習の手引　P17～19 読む			
				復習	留意点をノートにまとめる			
	第 8 回	内容	保育園の一日の流れ、実習中の注意事項	予習	実習の手引　P25～26 読む			
				復習	実習中の注意事項をまとめる			
	第 9 回	内容	実習日誌の作成指導①	予習	日誌の書き方をノートにまとめる			
				復習	授業内容を踏まえて事例を日誌に書いてみる			
	第 10 回	内容	実習日誌の作成指導②	予習	保育実習の日誌の項目を確認する			
				復習	それぞれのポイントをノートにまとめる			
	第 11 回	内容	オリエンテーションについて	予習	オリエンテーションで確認事項を考える			
				復習	電話対応の練習をする			
	第 12 回	内容	実習課題についての説明	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	自分自身の実習課題を考える			
	第 13 回	内容	部分実習指導計画案作成指導	予習	部分実習で行う、手遊びを考える			
				復習	部分実習　指導案を書く			
	第 14 回	内容	持ち物、身だしなみについて	予習	実習生としての身だしなみを考える			
				復習	持ち物、身だしなみをノートにまとめる			
	第 15 回	内容	実習の総括と自己評価	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	自己評価を書き提出する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	評価面談を実施する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　実習課題（２０％）、実習日誌（３０％）、施設による評価（５０％）						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』・解説書 後期にテキストを指定する							
参考文献	必要があれば授業内で紹介							
注意事項	1. 実習について必要な注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。 2. 実習提出書類の遅延、授業態度の怠惰等は、「実習派遣規制」によって禁じられており、実習派遣ができなくなる　ので十分に留意すること。							

科 目 名	施設実習指導		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しのはら あみ みよし ちから 志濃 原 亜美・三好 力
ナンバリングコード	SWS12204		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	この授業は、施設実習の前後に行なわれるものである。事前授業では実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。 実習後授業は、実習報告会の参加、実習報告書と実習アンケートの作成等を通して、自己の適性を見直し、保育者としての使命感や人権意識等を考え今後の学習課題を設定する。						
到 達 目 標	1. 実習施設について理解を深めることができている 2. 実習課題を設定できている 3. 自己の適性を知ることができている						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2、5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（履修上の諸注意）	予習	シラバスを確認する		
				復習	履修上の諸注意を確認する		
	第 2 回	内容	施設実習の意義の理解	予習	実習の手引きを一読する		
				復習	実習の手引きを確認しながら理解を深める		
	第 3 回	内容	実習施設の配当発表及び各実習施設の理解	予習	配当の確認をする		
				復習	配当の施設について調べる		
	第 4 回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（乳児院）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする		
				復習	感想文を書く		
	第 5 回	内容	実習生調書の作成 1	予習	実習生調書下書き		
				復習	実習生調書を直す		
	第 6 回	内容	実習生調書の作成 2	予習	実習生調書下書き		
				復習	実習生調書清書		
	第 7 回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（児童養護施設）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする		
				復習	感想文を書く		
	第 8 回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害児関連施設）	予習	障害児への知識を確認する		
				復習	感想文を書く		
	第 9 回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害者関連施設）	予習	障がい者福祉の知識を確認する		
				復習	感想文を書く		
	第 10 回	内容	各施設への実習前訪問と諸注意	予習	実習先の概要を確認する		
				復習	実習先への交通経路等の確認をする		
	第 11 回	内容	外部講師の話	予習	実習への心構えを考えておく		
				復習	感想文を書く		
	第 12 回	内容	実習日誌の書き方 1	予習	実習日誌を一読する		
				復習	日誌の記入方法等を確認する		
	第 13 回	内容	実習日誌の書き方 2	予習	実習日誌の部分的に書くことのできる箇所に記入する		
				復習	日誌の記入方法等を確認する		
	第 14 回	内容	実習の各種手続き 1（細菌検査等）	予習	実習に向けての準備を整える		
				復習	細菌検査の日程などを確認する		
	第 15 回	内容	実習に各種手続き 2（巡回指導の方法）	予習	実習に向けての準備を整える		
				復習	巡回指導の書類の確認、担当教員へあいさつをする		
	第 16 回	内容	実習課題の作成とレポートの内容説明	予習	実習課題の下書きをする		
				復習	実習課題をたてる		
	第 17 回	内容	実習に向けての諸注意	予習	実習に向けて準備を整える		
				復習	諸注意の確認をする		
	第 18 回	内容	実習概要報告書の作成 1（書き方の説明）	予習	報告書の下書きをする		
				復習	報告書の作成		
	第 19 回	内容	実習概要報告書の作成 2	予習	報告書の作成		

				復習	報告書の作成、提出
	第 20 回	内容	実習報告会について	予習	実習を振り返る
				復習	実習報告会の資料作成準備
	第 21 回	内容	実習報告会の資料作成	予習	実習報告会の資料作成
				復習	実習報告会の準備
	第 22 回	内容	提出物の確認と書類の整理	予習	実習に関わる提出物の用意
				復習	提出物・書類の確認
	第 23 回	内容	評価面談 1	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 24 回	内容	評価面談 2	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 25 回	内容	評価面談 3	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 26 回	内容	評価面談 4	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 27 回	内容	評価面談 5	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 28 回	内容	評価面談 6	予習	実習の振り返りと自己評価
				復習	自己評価と省察
	第 29 回	内容	実習を振り返って	予習	グループごとの実習の振り返り
				復習	感想文を書く
	第 30 回	内容	まとめ、日誌の返却、講評	予習	自己評価を考察する
				復習	実習全体を総括する
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	実習の評価面談、及び反省を通して、フィードバックする				
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（ 30%）、レポート（ 20%）、授業態度（ 50%）				
教科書	『保育・教育・施設実習』（福田真奈他著者、大学図書出版）				
参考文献	『保育福祉小六法 2020 年版』（保育福祉小六法編集委員会編、みらい）				
注意事項	各実習園に対する注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。また、実習提出書類の遅延、非行・怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられているので十分に留意すること。 ◎派遣施設が決まったら、自主的にその施設機能や利用者について予備学習を行うこと。				

科 目 名	保育所実習指導Ⅱ			単 位 数	1	実務経験	担当教員	あさいたくや 浅井 拓久也
ナンバリングコード	CHS12211			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	保育実習Ⅱに必要な知識や技術を学ぶ。特に、指導実習での指導計画や実習日誌の考え方や書き方について重点を置く。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。また、現役保育士によるゲスト講義も行う。							
到 達 目 標	1. 保育実習Ⅱの意義と目的を理解し、保育を総合的に理解する。 2. 指導実習での指導計画の基本的な考え方や書き方を身につける 3. 実習日誌を適切に作成することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（1、2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	保育所実習研究Ⅱの目的と概要	予習	シラバスの目次を読む			
				復習	保育所実習研究Ⅱを学ぶ理由を3つ書く			
	第2回	内容	保育実習Ⅱにおける心構えとマナー	予習	なぜ保育実習にマナーが必要か考える			
				復習	保育実習Ⅰと保育実習Ⅱの違いをまとめる			
	第3回	内容	保育実習Ⅱに必要な書類の準備	予習	どのような書類が必要になるか調べる			
				復習	個人情報とは何かまとめる			
	第4回	内容	指導実習での指導計画の書き方：ねらいの書き方	予習	保育所保育指針の第2章を読む			
				復習	ねらいの書き方をまとめる			
	第5回	内容	指導実習での指導計画の書き方：援助や配慮の書き方	予習	援助と配慮とは何か考える			
				復習	援助と配慮の違いをまとめる			
	第6回	内容	指導実習での指導計画の書き方：乳児クラスの指導計画	予習	乳児の発達の特徴を調べる			
				復習	乳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第7回	内容	指導実習での指導計画の書き方：1歳児クラスの指導計画	予習	1歳児の発達の特徴を調べる			
				復習	1歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第8回	内容	指導実習での指導計画の書き方：2歳児クラスの指導計画	予習	2歳児の発達の特徴を調べる			
				復習	2歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第9回	内容	指導実習での指導計画の書き方：3歳児クラスの指導計画	予習	3歳児の発達の特徴を調べる			
				復習	3歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第10回	内容	指導実習での指導計画の書き方：4歳児クラスの指導計画	予習	4歳児の発達の特徴を調べる			
				復習	4歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第11回	内容	指導実習での指導計画の書き方：5歳児クラスの指導計画	予習	5歳児の発達の特徴を調べる			
				復習	5歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
	第12回	内容	実習日誌の書き方：目的と概要	予習	なぜ実習日誌が必要か考える			
				復習	なぜ実習課題が必要か考える			
	第13回	内容	実習日誌の書き方：エピソードの選び方と書き方	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
				復習	考察の書き方をまとめる			
	第14回	内容	実習日誌の書き方：乳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
				復習	乳児クラスのエピソードを調べる			
	第15回	内容	実習日誌の書き方：2歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
				復習	2歳児クラスのエピソードを調べる			
	第16回	内容	実習日誌の書き方：3歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
				復習	3歳児クラスのエピソードを調べる			
	第17回	内容	実習日誌の書き方：5歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
				復習	5歳児クラスのエピソードを調べる			
	第18回	内容	実習日誌の書き方：他者の日誌を添削する	予習	第12回から第17回までのノートを見直す			
				復習	保育実習Ⅰの日誌を添削する			
	第19回	内容	訪問指導の意義と目的	予習	なぜ訪問指導が必要か考える			
				復習	訪問指導時に質問すべきことをまとめる			
	第20回	内容	保育所実習研究Ⅱでの学びを振り返る	予習	第1回から第19回までのノートを見直す			
				復習	保育所実習研究Ⅱから学んだことを書く			

	第 21 回	内容		予習		
				復習		
	第 22 回	内容		予習		
				復習		
	第 23 回	内容		予習		
				復習		
	第 24 回	内容		予習		
				復習		
	第 25 回	内容		予習		
				復習		
	第 26 回	内容		予習		
				復習		
	第 27 回	内容		予習		
				復習		
	第 28 回	内容		予習		
				復習		
	第 29 回	内容		予習		
				復習		
	第 30 回	内容		予習		
				復習		
	予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。					
	課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（6 0 %）、作品・発表（2 0 %）、授業態度（2 0 %）					
教科書	なし。					
参考文献	『保育所保育指針〈平成 2 9 年告示〉』（厚生労働省、フレーベル館）、『保育所保育指針解説 平成 3 0 年 3 月』（厚生労働省、フレーベル館）』					
注意事項	幼児教育研究の授業内容や各種実習時期等の関係で、授業計画を変更することがある。					

科 目 名	教育実習 I	単 位 数	2	実務経験	担当教員	はせがわ きょうこ きたざわ あきこ 長谷川 恭 子 ・ 北 澤 明 子
ナンバリングコード	EDU12107	授業形態	実習	有		
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。教育実習 I（前期教育実習）では、保育活動に直接参加する前段階として、子どもや保育者の活動を見学・観察し、客観的に記録する見学・観察実習と、保育活動に加わり、体験を通して保育の営みについて学ぶ参加実習を行う。					
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができている。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができている。					
学位授与方針	幼児教育学科（ １ ・ ２ ・ ３ ・ ４ ・ ７ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	○前期教育実習：見学・観察・参加実習 幼稚園で生活する子どもや保育者の日々の営みについて、見学・観察をする。また、子どもの実態や保育内容、保育者の職務等について理解を深める。具体的には、以下の 5 つのねらいを持ち 10 日間の実習を行う。 （1）一日の保育の流れを理解する。 （2）子どもの生活実態と活動の様子を理解する。 （3）保育者の職務内容や保育活動について理解する。 （4）保育者としての自覚・態度を確認する。 （5）今後の学習の目標や自己課題について確認する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 実習園による評価（50％）、実習日誌評価（50％）					
教科書						
参考文献						
注意事項	※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。					

科 目 名	教育実習Ⅱ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおくま み か こ いざわ えいしゅう 大 熊 美佳子 ・伊澤 永 修
ナンバリングコード	EDU12205	授業形態	実習	有		
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。前期実習での学びを通し、後期実習では、幼稚園での子どもの生活や保育者の日々の営みについてさらに理解を深め、幼稚園教諭（保育者）として必要な技術を習得していく。					
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができている。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができている。					
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 4, 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）					
授 業 計 画	○後期教育実習：参加・指導実習 前期実習での体験、大学で学んだ理論や技術を基に、幼稚園教育の場を統合的に理解する。また、実習生が主体となって指導する実践体験を積み重ねることにより、保育者論や指導技術の向上を図る。具体的には以下の3つのねらいを持ち、10日間の実習を行う。 （1）幼稚園の機能や活動内容を理解する。 （2）大学で学んだ理論や技術と実践との関連性を確認する。 （3）社会人としてのマナー、保育者としての使命感等を認識する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習園による評価（50%）、実習日誌評価（50%）					
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）					
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）					
注意事項	1. 「幼児教育研究Ⅱ」を履修し、準備をすると同時に実習生としてふさわしい言動を心がけること。 2. 実習関係書類の提出期限は厳守すること。 3. 「実習派遣規制」に基づき、実習の停止、中止等が行われる場合があるため注意すること。 ※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。					

科 目 名	教育実習指導 I		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おおくま み か こ 大 熊 美佳子
ナンバリングコード	EDU12108		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	教育実習と並行して行われる授業であり、教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。前期教育実習の各段階における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。						
到 達 目 標	1. 前期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2. 前期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 前期教育実習の事前事後指導を通し、後期教育実習に向けて必要な、保育者としての資質・能力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・3・4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	幼稚園教育の意義の理解	予習	幼稚園教育要領を読んでおく		
				復習	配布資料を読み返す		
	第 2 回	内容	教育実習の目的の理解	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	教育実習の目的についてまとめる		
	第 3 回	内容	前期教育実習の目的の理解	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	実習の手引きと配布資料を読み復習する		
	第 4 回	内容	前期教育実習参加の心得	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	手引き・配布資料をみながら復習をする		
	第 5 回	内容	実習配当資料作成指導① 配当資料について	予習	自分の住んでいる地域の幼稚園について調べる		
				復習	授業での説明を基に、幼稚園を調べる		
	第 6 回	内容	実習配当資料作成指導② 配当資料の作成	予習	先輩の報告書を読み、自分の行きたい園を考える		
				復習	配当資料の作成を行う		
	第 7 回	内容	実習内容指導① 幼稚園の一日の流れ	予習	配当資料に記入した園のディリープログラムを調べる		
				復習	配布資料と自分の調べたディリープログラムを見直し幼稚園の一日の流れについて理解を深める		
	第 8 回	内容	実習内容指導② 参加・観察実習の留意点	予習	実習の手引きの教育実習部分を読み直しておく		
				復習	配布資料と手引きを読み返す		
	第 9 回	内容	実習内容指導③ 実習中の心構え	予習	実習の手引きの該当部分を読んでくる		
				復習	配布資料・手引きをみて自分の心構えをまとめる		
	第 10 回	内容	実習内容指導④ 実習中のマナー・身支度	予習	実習中のマナーや身支度について考えまとめておく		
				復習	配布資料を読み返し、今から実施できることを箇条書きにまとめる		
	第 11 回	内容	実習内容指導⑤ 守秘義務について	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	実習の手引きを読み返し守秘義務について理解する		
	第 12 回	内容	実習生調査書作成指導① 記入上の注意	予習	自分の長所・短所を箇条書きにしてくる		
				復習	記入上の注意を読み返す		
	第 13 回	内容	実習生調査書作成指導② 自己評価・資格・健康状態棟	予習	自分の持つ資格などを確認しておく		
				復習	実習生調査書（下書き）の抱負以外を記入する		
	第 14 回	内容	実習生調査書作成指導③ 抱負	予習	実習への心構えや想いを整理してくる		
				復習	実習への抱負を文章にしてみる		
	第 15 回	内容	実習生調査書作成指導④ 作成・提出	予習	実習生調査書（下書き）の抱負の見直しを行う		
				復習	作成したものの見直しを行う		
	第 16 回	内容	実習配当発表と今後の流れについて	予習	前期の内容を復習する		
				復習	自分の配当先を確認し実習園の概要を調べる		
	第 17 回	内容	オリエンテーションについて	予習	実習園の概要の見直し、場所などを確認しておく		
				復習	オリエンテーションへの準備を行う		
	第 18 回	内容	教育実習日誌の作成指導① 教育実習日誌とは	予習	実習園の概要などをまとめたものに目を通しておく		
				復習	配布資料を読み返す		
	第 19 回	内容	教育実習日誌の作成指導② 実習園の概況・環境等	予習	実習日誌の書式全体に目を通す		
				復習	実習園の概況など記入できる部分を記入する		
	第 20 回	内容	教育実習日誌の作成指導③	予習	前期教育実習において学びたいことを箇条書きにしておく		

			実習課題とは	復習	実習課題をまとめる
	第 21 回	内容	実習報告会	予習	先輩への質問を箇条書きにしておく
				復習	報告会の振り返りを記入する
	第 22 回	内容	教育実習日誌の作成指導④ 保育の記録：一日の流れ	予習	幼稚園の一日についての配布資料を読み返す
				復習	一日の流れについての出された課題を行う
	第 23 回	内容	教育実習日誌の作成指導⑤ 保育の記録：振り返り	予習	振り返りの書式（日誌）に目を通しておく
				復習	配布資料を読み返す
	第 24 回	内容	部分実習指導案の作成指導	予習	前期教育実習の段階について手引きや配布資料を見返しておく
				復習	部分実習指導案を作成する
	第 25 回	内容	直前指導・最終確認	予習	日誌の必要な部分を記入する
				復習	最終チェックの項目を自分で確認し実習への準備を進める
	第 26 回	内容	前期教育実習の振り返り：自己評価	予習	実習日誌を完成し実習園への提出などを行う
				復習	自分自身の評価を記入する
	第 27 回	内容	前期教育実習の振り返り：グループワーク	予習	実習の振り返りを自分の言葉でまとめておく
				復習	振り返りを共有した感想などをまとめる
	第 28 回	内容	前期教育実習評価	予習	評価面談にむけて実習の振り返りを行う
				復習	園からの評価を受け、後期への課題を考える
	第 29 回	内容	前期教育実習の総括	予習	学校への日誌提出に向け、最終確認する
				復習	これまでの振り返りを行う
	第 30 回	内容	後期教育実習に向けて	予習	後期実習に向けて主活動の内容を調べてくる
				復習	後期実習に向けて春休みの課題を行う
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	評価面談にて実習の評価を伝え、後期実習につなげていく。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 40 %）				
教科書	『実習の手引き』（秋草学園短期大学・実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）				
注意事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明、提出書類の作成を行うので、原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延、授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており、実習派遣できなくなるので十分に留意すること。 3. 必要な資料は授業内で適宜、配布するので、ファイルを作り毎週持参すること。				

科 目 名	教育実習指導Ⅱ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おおくま み か こ いざわ えいしゅう 大 熊 美佳子 ・伊澤 永 修
ナンバリングコード	EDU12206		授業形態	演習			
授 業 の 内 容	教育実習Ⅱと並行して行われる授業であり、後期教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、後期教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。後期実習における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。						
到 達 目 標	1. 後期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2. 後期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 実習の事前事後指導を通し、保育者としての資質・能力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	後期実習の目的・心得の理解	予習	「実習の手引き」の後期実習の目的・心得を読んでおく		
				復習	後期実習の目的・心得について、まとめる		
	第2回	内容	後期実習手続き書類の作成指導 調査書について	予習	調査書記入内容について考えてくる		
				復習	調査書を完成させる		
	第3回	内容	オリエンテーションについて	予習	前期実習のオリエンテーションの反省点を書きだしておく		
				復習	後期実習のオリエンテーションに必要なことをまとめる		
	第4回	内容	実習中のマナーについて	予習	実習生のマナーについて確認する		
				復習	実習生として必要吾マナーについて理解を深める		
	第5回	内容	部分実習の留意点	予習	部分実習の内容について考えてくる		
				復習	部分実習の内容をまとめる		
	第6回	内容	責任実習の留意点	予習	責任実習の内容について考えてくる		
				復習	責任実習の内容をまとめる		
	第7回	内容	後期実習日誌の作成指導① 実習課題について	予習	後期実習に必要な視点について考えてくる		
				復習	後期実習に必要な視点について、まとめる		
	第8回	内容	後期実習日誌の作成指導③ 保育の記録・振り返り	予習	前期実習の保育の記録で指摘された点について確認してくる		
				復習	保育の記録記入の留意点をまとめる		
	第9回	内容	指導計画案の作成指導① 指導案とは	予習	指導案について調べてくる		
				復習	指導案を作成する目的について理解を深める		
	第10回	内容	指導計画案の作成指導② 指導案作成の留意点	予習	指導案作成の留意点について考えてくる		
				復習	指導案作成の留意点についてまとめる		
	第11回	内容	指導計画案の作成指導③ 部分指導案作成（主活動：制作）	予習	指導案を作成する制作活動を調べてくる		
				復習	制作の指導案を完成させる		
	第12回	内容	指導計画案の作成指導④ 部分指導案作成（主活動：ゲーム）	予習	指導案を作成するゲームを調べてくる		
				復習	ゲームの指導案を完成させる		
	第13回	内容	指導計画案の作成指導⑤ 日案作成（デイリー）	予習	日案作成に必要な情報を調べてくる		
				復習	日案の主活動以外の部分を完成させる		
	第14回	内容	指導計画案の作成指導⑥ 日案作成	予習	日案作成に必要な材料をそろえてくる		
				復習	デイリーと主活動を合わせて、日案を完成させる		
	第15回	内容	直前指導・まとめ	予習	これまで学んだ内容を復習してくる		
				復習	後期実習の準備が整っているか確認する		
	第16回	内容	実習概要報告書の作成	予習	概要報告書に記入する内容をまとめてくる		
				復習	概要報告書を完成させる		
	第17回	内容	実習の総括① 後期実習の振り返り：責任実習について（自己評価）	予習	後期実習の責任実習の振り返りをしてくる		
				復習	後期実習の責任実習で学んだことをまとめる		
	第18回	内容	実習の総括② 後期実習の振り返り：責任実習について（グループワーク）	予習	後期実習の責任実習から学んだことをワークシートに記入しておく		
				復習	グループワークから見えてきたことをまとめる		
	第19回	内容	実習の総括③ 後期実習の振り返り：課題について（自己評価）	予習	後期実習の課題の振り返りをしてくる		
				復習	後期実習の課題で達成できたことをまとめる		
	第20回	内容	実習の総括④	予習	後期実習から学んだことをワークシートに記入しておく		

			後期実習の振り返り：課題について（グループワーク）	復習	グループワークから見えてきたことをまとめる
	第 21 回	内容	実習の総括⑤ 前期実習との比較から振り返り（自己評価）	予習	前期実習との違いを考えてくる
				復習	前期実習と比較して、成長した点、今後学ぶべき点等をまとめる
	第 22 回	内容	実習の総括⑥ 前期実習との比較から振り返り（グループワーク）	予習	前期実習との違いを発表できるように準備する
				復習	グループワークから見えてきたことをまとめる
	第 23 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する。
	第 24 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する。
	第 25 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する。
	第 26 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する。
	第 27 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する。
	第 28 回	内容	成果報告①	予習	成果報告の準備をする
				復習	成果報告をまとめる
	第 29 回	内容	成果報告②	予習	成果報告の準備をする
				復習	成果報告をまとめる
	第 30 回	内容	成果報告③	予習	成果報告の準備をする
				復習	成果報告をまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	個別面談にて実習に関する評価を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度（40%）				
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）				
注意事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明，提出書類の作成を行うので，原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延，授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており，実習派遣できなくなるので十分に留意すること。				

【幼児教育学科第一部・二部】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/yk_syllabus_2020.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口偉	90
2	施設実習	2	実習	志濃原亜美・三好力	91
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	浅井拓久也	92
4	教育実習Ⅰ	2	実習	長谷川恭子・北澤明子	98
5	教育実習Ⅱ	2	実習	大熊美佳子・伊澤永修	99
計		10			

(シラバスリンク：旧カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/yk_syllabus_2020_old.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口偉	本年度配当無し
2	施設実習	2	実習	志濃原亜美・三好力	24
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	浅井拓久也	25
4	教育実習	4	実習	大熊美佳子	20
計		10			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。